

http://www.apfl.or.jp

プラチナスポンサー



ゴールドスポンサー





シルバースポンサー













第九回全国高校生金融経済クイズ選手権 エコノミクス甲子園 報告書



特定非常利活動法人 金融知力普及協会

主催:認定NPO法人金融知力普及協会 エコノミクス甲子園実行委員会

第九回エコノミクス甲子園大会を終えて

エコバクス甲子園 実行委員長金融 金融知力普及協会 理事長 金子



全国高校生金融経済クイズ選手権 エコノミクス甲子園 第九回大 会も無事に終了いたしました。参加した全国の高校生の皆様、各地方大 会を主催していただいた金融機関の皆様、様々なご支援を頂いた協賛・ 協力企業の皆様、後援名義を許可頂いた内閣府、金融庁、文科省の皆 様、この大会に関わったすべての皆様に御礼を申し上げます。

本当にありがとうございました。

2006年に25校99名の高校生の参加を得て始まったこの大会も、第九 回を無事終わり全国で401校2268名が参加する大規模なものになりま した。ついに通算の参加者が1万名を超えました。現在の高校のカリキュ ラムではなかなか学ぶことの無い金融経済についてこれほどの人数の学 生が学ぶ機会を提供できたことは、我々の誇りとするところでございます。

我々が伝えたい知識は、ただお金儲けのための物ではありません。夢 を実現し、人生を豊かにするために、お金という道具を使いこなすための 力を身につけて頂きたいのです。多くの高校生がこの大会に参加するこ とで、何かしらの知見を得、その後の人生に大いに活かしてくれると信じ ております。

第十回大会では、より多くの金融機関の皆様のお力を得、さらにたくさ んの生徒に参加していただけるよう、スタッフ一同努力してまいります。ぜ ひ、引き続き皆様のご指導とご協力をよろしくお願いいたします。

*

参加者アンケート

事前学習教材

全国大会出場者感想

ご挨拶

概要

全国大会

エコノミクス甲子園はこんな大会です

各地方大会+参加高校一覧



メディア掲載実績



Special Thanks







協賛社紹介

XX エコノミクス甲子園はこんな大会です!





ポスターや学校の先生に教えられて 出場を決意!

・ネットや携帯電話から応募

·参加は無料!





金融知力普及協会から送られてくる 事前学習教材で経済を勉強

・今日から役に立つ経済の読み方と投資の基礎 ・・・・・ 寄贈:シティバンク銀行

・ビギナーズのためのファイナンス入門・・・・・・・ 寄贈:金融広報中央委員会

・これであなたもひとり立ち・・・・・・・・・・・ 寄贈:金融広報中央委員会

・ライフステージで学ぶ銀行 ・・・・・・・・・ 寄贈:全国銀行協会

・ローン&クレジットのABC ・・・・・・・・・ 寄贈:全国銀行協会

・そんぽのホントフレッシャーズガイド・・・・・・ 寄贈:日本損害保険協会

・株式会社制度と証券市場のしくみ・・・・・・・・・ 寄贈:日本証券業協会

・ほけんのキホン・・・・・・・・・・・・・・・・・ 寄贈:生命保険文化センター

初めてのJリート・・・・・・・・・・ 寄贈:不動産証券化協会

・もっと知りたい税のこと・・・・・・・・・・・・ 寄贈:財務省 ・基礎から学べる金融ガイド・・・・・・・・・・・・・ 寄贈:金融庁

・みらいの保険を描いてみよう!・・・・・・・・・・・ 寄贈:日本少額短期保険協会

地方大会に参加

・地方大会は各地の地方銀行など 金融機関が地域貢献として開催

生活していく上で是非知っておいて欲しい経済の

基礎知識や地元経済などについての問題

・筆記問題(50問)と早押しクイズで競う

・地方大会で優勝したチームは全国大会に出場







XX エコノミクス甲子園はこんな大会です!

日本全国の高校生達に 金融経済を学ぶ機会を提供! 将来の日本をリードする人材の育成!





優勝チームはニューヨーク研修旅行にご招待

・現地で活躍する様々な方々へのインタビューや 経済に関する様々な場所を見学



全国大会に参加

・経済用語をわかりやすく説明するスピーチクイズや 他チームと協力したプレゼンクイズなど、

より深い知識や理解が求められる形式の様々なクイズに挑む







HOKKAIDO

Тоноки

HOKURIKU





- 11月2日(日)開催

名 趣	称旨	第九回: 社会に 「自分の
期	日	•全国大

全国高校生金融経済クイズ選手権 『エコノミクス甲子園』 羽ばたく前に高校生に、世の中がどのような金融経済の仕組みで動いているか理解して読み解き、 Dライフデザイン」や「自分とお金の関わり方」をクイズを通して考えてもらうきっかけとするために開催する。 2015/2/15(日)開催10時00分~16時30分 金融知力普及協会

云会予選 2014/11/2(日)開催 •北海道 渡島•檜山地区予選大会

渡島信用金庫・江差信用金庫・函館商工信用組合 2014/11/8(土)開催 十勝地区予選大会

带広信用金庫•十勝信用組合 2014/11/9(日)開催

•北海道 石狩•空知•後志•胆振•日高地区予選大会 札幌信用金庫·北央信用組合·札幌中央信用組合

上川・宗谷・留萌・オホーツク地区予選大会 旭川信用金庫•北星信用金庫•留萌信用金庫

•北海道 釧路•根室地区予選大会

釧路信用金庫・大地みらい信用金庫 2014/11/9(日)開催 •地方大会 •東京大会 りそな銀行 ·山口大会 山口銀行 2014/11/16(日)開催 •広島大会 もみじ銀行

•愛媛大会 伊予銀行 •高知大会 四国銀行 2014/11/23(日)開催 •埼玉大会 埼玉りそな銀行 2014/11/24(月)開催 ・インターネット大会 住信SBIネット銀行 2014/11/29(土)開催 •鳥取大会 山陰合同銀行

2014/11/30(日)開催 •島根大会 山陰合同銀行 •宮崎大会 宮崎銀行•宮崎太陽銀行

•北海道大会 北海道銀行 •福島大会 東邦銀行 •富山大会 北陸銀行 八十二銀行 •長野大会 •愛知大会 愛知銀行 •三重大会 百五銀行

•香川大会 百十四銀行 •長崎大会 十八銀行 2014/12/13(土)開催 •秋田大会 秋田銀行 2014/12/14(日)開催 青森大会 みちのく銀行

七十七銀行 •宮城大会 ·山形大会 山形銀行 •茨城大会 筑波銀行 •栃木大会 足利銀行 群馬大会 群馬銀行

·千葉大会 千葉銀行•千葉興業銀行 •神奈川大会 横浜銀行

•新潟大会 **笋四銀行** 石川大会 北國銀行 •福井大会 北陸銀行 ·岐阜大会 十六銀行

•静岡大会 静岡銀行 •大阪大会 りそな銀行・近畿大阪銀行

•奈良大会 南都銀行 ·岡山大会 中国銀行 •徳島大会 阿波銀行 ·福岡大会 西日本シティ銀行

•沖縄大会 沖縄銀行 2014/12/21(日)開催 山梨大会 山梨中央銀行 •鹿児島大会 鹿児島銀行

認定NPO法人 金融知力普及協会

2014/12/7(日)開催

各地の金融機関有志 内閣府、文部科学省、金融广 マニュライフ生命保険株式会社

シティバンク銀行株式会社、ピットクル一株式会社

パインブリッジ・インベストメンツ株式会社、I-Oウェルス・アドバイザーズ株式会社、 株式会社一休、ラッセル・インベストメント・グループ、ファイブスター投信投資顧問株式会社 日本ファイナンシャルアカデミー株式会社、一般社団法人全国銀行協会、日本証券業協会、

金融広報中央委員会、一般社団法人日本損害保険協会、公益財団法人生命保険文化センター 一般社団法人不動産証券化協会、財務省、一般社団法人日本少額短期保険協会、金融庁

第一ラウンド第二ラウンド 地方大会内容 筆記クイズ 早押しクイズ 決勝ラウンド 3ヒントクイズ 全国大会内容 筆記クイズ

地方大会主催

プラチナスポンサー

ゴールドスポンサー

シルバースポンサー

揺

プレゼンクイズラウンド 取引開始!オープニングベル早押しクイズ 第一ラウンド

第二ラウンド 摘発せよ!風説の流布クイズ 敗者復活ラウンド 市場淘汰!サバイバルクイズ クイズ!Time is Money 第三ラウンド

放て、3本の矢!アベ*ン*ミクスクイズ 第四ラウンド 一騎打ち!クロージングベル論述クイズ OKINAWA 🥢 決勝ラウンド

地方大会 Local competitions



北海道 渡島•檜山地区予選大会

催 渡島信用金庫・江差信用金庫・函館商工信用組合

参加校一覧 遺愛女子高等学校、北海道江差高等学校、北海道函館商業高等学校、

(遺愛女子高等学校) 北海道七飯高等学校、北海道函館工業高等学校 「遺愛K3C」

参加チーム数 11チーム(5校)

運営スタッフ感想 全国で初めての地方大会予選の開催となりましたが、無事大会を開催できましたことをとてもうれしく思います。 また、3つの金融機関が合同で行うイベントというのも初めての試みでしたので、同じ地域の金融機関として「つ

ながり」を持つ大変良い機会となりました。

大会に向けての準備や当日の運営等、不安な面もありましたが、当日は特に問題もなく、楽しく大会を終えることができました。また、参加した高 校生の皆さんから「楽しかった」との声を頂くことができたことが、何より嬉しく感じています。来年度は、今回参加のなかった高校からも参加して 頂けるように準備し、大会をより一層盛り上げていきたいと思います。

北海道 十勝地区予選大会

- 11月8日(土)開催

11月9日(日)開催

優勝チーム

優勝チーム

催 带広信用金庫・十勝信用組合

参加校一覧 北海道音更高等学校、北海道芽室高等学校、

北海道帯広柏葉高等学校、帯広市立帯広南商業高等学校

(帯広市立帯広南商業高等学校) 「帯広南商業高校D」

参加チーム数 12チーム(4校)

運営スタッフ感想 ・事前準備は大変であったが、参加生徒、運営スタッフともに楽しんでイベントを開催することができた。

・最初は緊張感があり、固い雰囲気であったが、早押しクイズの途中から生徒たちも徐々にリラックスしてきたようで あり、会場も盛り上がった。

北海道 石狩•空知•後志•胆振•日高地区予選大会

催 札幌信用金庫・北央信用組合・札幌中央信用組合

参加校一覧 立命館慶祥高等学校、北海道江別高等学校、北海道札幌南高等学校、 札幌第一高等学校、札幌市立札幌旭丘高等学校、

札幌市立札幌新川高等学校、北海道千歳高等学校、北嶺高等学校

(北海道札幌南高等学校) 「公正取引委員会」

参加チーム数 16チーム(8校)

運営スタッフ感想 本大会初の地区予選大会で、主催する3金融機関(札幌信用金庫、札幌中央信用組合、北央信用組合)も初 参画。不安と緊張の中、高校生の奮闘ぶりに次第に会場も活気を帯び、大変盛り上がりました。北海道大会行

を決めた3チーム(公正取引委員会、北嶺ブラザーズ、ピグマリオン)には、東京、ニューヨークを目指して是非頑張ってほしいです。

北海道 上川・宗谷・留萌・オホーツク地区予選大会

- 11月9日(日)開催

主 催 旭川信用金庫・北星信用金庫・留萌信用金庫

参加校一覧 北海道留萌高等学校、北海道旭川東高等学校、旭川大学高等学校、 北海道旭川商業高等学校、北海道士別翔雲高等学校、 北海道下川商業高等学校

参加チーム数 15チーム(6校)

運営スタッフ感想・参加された高校生も楽しそうにクイズを解答しており、笑顔で帰って行かれたので大変有意義な一日でした。

- ・早押し問題では答えが出ない問題が多くあったので、高校生が解答しやすい問題がたくさんあると良いと思いました。
- ・会場の雰囲気を良くしつつ、臨機応変な対応で盛り上げていてよかったと思います。
- 今回は初の予選で複数の金融機関の共催でしたが、他の金融機関の方たちとも交流を持つことができて良かったと思います。

北海道 釧路•根室地区予選大会

· 11月9日(日)開催

催 釧路信用金庫・大地みらい信用金庫

参加校一覧 北海道釧路湖陵高等学校、北海道釧路江南高等学校、 北海道釧路明輝高等学校、北海道釧路商業高等学校、

釧路市立釧路北陽高等学校 参加チーム数 20チーム(5校)

運営スタッフ感想参加した生徒さんが、予想以上に喜んでくれたので良かったと思います。

(北海道釧路江南高等学校)

優勝チーム

「送籠」

(北海道旭川東高等学校)

「おみちゃんの狂想曲」









地方大会 Local competitions



- 12月14日(日)開催

北海道大会

- 12月7日(日)開催

北海道銀行

参加校一覧 遺愛女子高等学校、北海道江差高等学校、北海道函館商業高 等学校、北海道七飯高等学校、北海道音更高等学校、北海道 芽室高等学校、北海道帯広柏葉高等学校、帯広市立帯広南商 業高等学校、立命館慶祥高等学校、北海道江別高等学校、北 海道札幌南高等学校、札幌第一高等学校、札幌市立札幌旭丘 高等学校、札幌市立札幌新川高等学校、北海道千歳高等学校、 北嶺高等学校、北海道留萌高等学校、北海道旭川東高等学校、 旭川大学高等学校、北海道旭川商業高等学校、北海道士別翔 雲高等学校、北海道下川商業高等学校、北海道釧路湖陵高等 学校、北海道釧路江南高等学校、北海道釧路明輝高等学校、 北海道釧路商業高等学校、釧路市立釧路北陽高等学校、北海

参加チーム数 5地区で74チーム(28校)

道函館工業高等学校

盛り上がりとなりました。

5地区予選にて優秀な成績を収めた13チームが北海道大会に出場

運営スタッフ感想 信用金庫様・信用組合様主催により北海道内の5カ所で初めて 地区大会が開催され、そこで優秀な成績を修めた13チームが北 海道大会に出場しました。地区大会代表校同士の白熱した戦い に加え、広い北海道の各地から応援団が駆けつけ、例年以上の





宮城大会

催 77 七十七銀行

参加校一覧 聖ウルスラ学院英智高等学校、東北生活文化大学高等学校、 東北学院高等学校、宮城県工業高等学校、宮城県宮城広瀬高 等学校、宮城県古川黎明高等学校、宮城県仙台第二高等学校、 宮城県仙台第一高等学校、宮城県仙台向山高等学校、宮城県 仙台二華高等学校、宮城県仙台三桜高等学校、仙台育英学園 高等学校(宮城野校舎)、仙台白百合学園中学校・高等学校、仙 台市立仙台青陵中等教育学校、仙台市立仙台商業高等学校

参加チーム数 39チーム(15校)

運営スタッフ感想 宮城大会の開催は今回で6回目ですが、出場チームは過去最高 の39チームとなり、年々、この大会の認知度が高校生の間で高 まったいることを非常に強く実感しました。宮城大会は、手に汗握る 熱戦となり、最高の盛り上がりをみせた大会となりました。この大会 にかける高校生の皆さんの想いが、年々強くなってきていることを 改めて実感いたしました。

なお、今大会は、高校生の皆さんに、宮城の復興に対する意識を 高めてもらいたいという思いから、「復興を君の手で!輝け!宮城の高 校生!」というキャッチフレーズのもと大会を開催しましたが、優勝を 目指して頑張っている姿は、まさに、キャッチフレーズにピッタリで、高 校生の皆さんは大変輝いておりました。

この大会への参加を通して学んだ金融や経済の知識を、これから の人生に是非活かしていただくことを強く期待します。

来年の大会も是非皆さんで盛り上げていきたと考えておりますの で、たくさんの高校生の参加を心よりお待ちしております。





青森大会

- 12月14日(日)開催

催むみちのく銀行

県立むつ工業高等学校

参加校一覧 青森山田高等学校、青森県立青森商業高等学校、青森県立 青森北高等学校、青森県立青森高等学校、青森県立木造高 等学校、青森県立弘前実業高等学校、青森県立弘前南高等 学校、青森県立弘前高等学校、八戸工業大学第二高等学校、 八戸学院光星高等学校、青森県立八戸商業高等学校、青森 県立五所川原工業高等学校、青森県立五所川原高等学校、 青森県立三沢商業高等学校、青森県立三戸高等学校、青森

参加チーム数 39チーム(16校)

運営スタッフ感想 青森大会の開催は今回が二回目でした。当日は寒波に見舞わ れ大雪で、また昨年に比べ市外から参加頂く学校が多かったた め欠席が続出するのではないかと心配しましたが、少数に留まり 15校37チームと出場校・チーム数いずれも昨年を上回ることが できました。事前の準備や大会の進行は2回目ということもあり、 スムーズに行うことができました。ただ、第二ラウンド「早押しクイ ズ」では冒頭に早押し機が作動しないというトラブルが発生し、一 瞬会場は気まずい空気が流れましたが、司会の機転や早急な復 旧作業により事態を乗り切ることができました(笑)。決勝には昨 年優勝したチームの生徒も進出し、全チーム僅差による死闘を 繰り広げ、大会は大変盛り上がりました。最後に、ご協力頂いた 教育関係者をはじめとする関係者の皆様、悪天候の中お集まり いただき大会を盛り上げていただいた高校生の皆様に感謝とお 礼を申し上げます。





秋田大会

催

秋田銀行

参加校一覧 秋田県立能代高等学校、秋田県立秋田西高等学校、秋田市立秋田 商業高等学校、秋田県立秋田高等学校、秋田県立大曲高等学校

参加チーム数 34チーム(5校)

運営スタッフ感想 今大会は秋田拠点センター「アルヴェ」で開催し、多くの方々に ご覧いただきました。予選・決勝ともに各チームの奮闘により接 戦となりましたが、秋田西高校の「ガガるか」が逃げ切り、優勝を 果たしました。参加してくれた高校生の皆さん、ご引率の先生方、 大会にあたり多大なご協力をいただいた、関係各所の皆様に心 から御礼申し上げます。ありがとうございました。





— 12月13日(土)開催



地方大会 Local competitions



山形大会

- 12月14日(日)開催

催 山形銀行

参加校一覧 山形県立米沢商業高等学校、山形県立山形東高等学校、山 形市立商業高等学校、山形県立山形南高等学校、山形県立 上山明新館高等学校

参加チーム数 42チーム(5校)

運営スタッフ感想 山形大会としては3回目の開催でしたが、過去最高となる33チー ム66名と多くの高校生のみなさんに参加いただきました。参加 者からは、この大会をきっかけに新聞やニュースを見る機会が増 えた、経済学部に進もうという気持ちが強くなったなど、嬉しいご 意見をたくさんいただきました。この大会を通じて、より多くの高校 生が金融経済に興味をもっていただき、生活に役立ててもらえる よう、次回以降も楽しく盛り上がる大会運営を目指していきます。 今回の開催にあたり、ご参加いただいた高校生のみなさん、ご尽 力いただいた関係各所の皆様、運営へのご協力ありがとうござい ました。





茨城大会

- 12月14日(日)開催

催 🎳 筑波銀行

参加校一覧 茨城県立竹園高等学校、茨城県立竜ヶ崎第一高等学校、茨城 県立水戸第一高等学校、水戸啓明高等学校、茨城県立水戸 商業高等学校、明秀学園日立高等学校、茨城県立日立商業高 等学校、常磐大学高等学校、茨城県立太田第一高等学校、茨 城県立土浦第一高等学校、茨城県立並木中等教育学校、茨 城県立下館第一高等学校

参加チーム数 33チーム(12校)

運営スタッフ感想 決勝戦でもレベルの高い戦いが繰り広げられましたが、全体を通し て学生たちが楽しんで参加してくれたことが嬉しく感じました。





一覧 福島県立郡山東高等学校、福島県立福島高等学校、福島工 業高等専門学校、福島県立福島高等学校、福島県立白河実 業高等学校、福島県立白河高等学校、福島県立猪苗代高等 学校、尚志高等学校、福島県立安積高等学校、福島県立会津 高等学校

参加チーム数 13チーム(10校)

- 運営スタッフ感想・今回で3回目の福島県大会となりましたが、昨年に引き続き、参 加した生徒の皆さんが母校の代表として、地域の代表として" 誇り"を持って本大会に臨んでいる姿を見て、我々スタッフも深 く感動を覚えました。
 - ・震災からの復興に向け、参加した生徒の皆さんがさらに研鑽を 重ねて大きく成長し、福島県、日本、そして世界の将来を担う人 材として活躍されることを心より期待したいと思います。

12月7日(日)開催





参加校一覧 栃木県立矢板東高等学校、栃木県立真岡高等学校、栃木県 立栃木高等学校、宇都宮短期大学附属高等学校、宇都宮文 星女子高等学校、栃木県立宇都宮女子高等学校、栃木県立 宇都宮高等学校、國學院大學栃木高等学校、作新学院高等 学校

参加チーム数 16チーム(9校)

運営スタッフ感想 2回目の開催となり、昨年のリベンジ8名を含む9校16チーム32 名が参加してくれました。決勝ラウンドは問題が難しいのではと思 いましたが優勝チームはほぼ第一ヒントで正解したというレベル の高さで全国大会での活躍を大いに期待しているところです。 参加した高校生からは、"経済に対する興味がさらに深まった"" 経済を学ぶチャンスになった"と嬉しい感想をたくさんいただきまし た。また、真剣に一生懸命クイズに取り組む高校生たちの活気 にスタッフも楽しく運営することができました。

栃木大会の様子は地元テレビ局で1時間の番組となって放映さ れます。今後もこの大会の周知に努め、さらに盛り上げていける よう頑張っていきたいと思います。

- 12月14日(日)開催







地方大会 Local competitions



群馬大会

- 12月14日(日)開催

🧧 🧣 群馬銀行

参加校一覧 高崎経済大学附属高等学校、群馬県立高崎高等学校、群馬県立高崎商業高等学校、群馬県立高崎商業高等学校、群馬県立太田高等学校、群馬県立太田女子高等学校、群馬県立 前橋高等学校、群馬県立伊勢崎商業高等学校、桐生市立商 業高等学校、前橋育英高等学校、ぐんま国際アカデミー高等部

参加チーム数 26チーム(11校)

運営スタッフ感想 3回目となる群馬大会は過去最多26チームが参加し、賑やかな大会となりました。また、初参加校が4校と、群馬県内に次第に認知されてきたことが嬉しい限りです。さて、今大会は各チームの実力が伯仲し、決勝進出6チームの予選成績はほとんど差がありませんでした。決勝ラウンドでも各チームが第一ヒントから積極的に回答する緊迫した展開となり、最終的に1位と2位が同点で終え、見応えがありました。

予選成績上位で優勝が決定したのは高崎女子高校の一年生でした、一年生チームそして女子チームの優勝は群馬大会初となりました。

次回も高校生の皆さんに、楽しんでもらえる大会にしたいと思います。



群馬県立高崎女子高等学校 「チームゆかりか」





千葉大会

- 12月14日(日)開催

: 催 🎁 千葉銀行 💥 千葉興業銀行

参加校一覧 千葉県立船橋高等学校、渋谷教育学園幕張高等学校、流通 経済大学付属柏高等学校、千葉県立柏高等学校、千葉県立 東葛飾高等学校、千葉県立八千代高等学校、千葉高等学校

参加チーム数 24チーム(7校)

運営スタッフ感想 第6回千葉大会は、多数の高校生に参加していただき、盛況のうちに終了しました。今大会の優勝チームは、前回千葉大会準優勝だったチームで、予選ラウンドも一位通過、見事前回大会の雪辱

また、決勝ラウンドが始まる前に、特別ゲストとして、昨年の千葉大会・全国大会を優勝したチームのおひとり(池田さん)に、全国大会の様子やニューヨーク研修旅行の感想をお話ししていただき、出場者へのエールもいただきました。開催にあたり、ご尽力いただいた関係者の皆様、参加してくれた高校生の皆さん、ありがとうございました。今後も千葉銀行と千葉興業銀行の共催で、千葉大会を盛り上げていきたいと思います。





埼玉大会

🦟 🕲 埼玉リそな銀行

参加校一覧 浦和明の星女子高等学校、埼玉県立浦和高等学校、栄東高等学校、早稲田大学本庄高等学院、川越東高等学校、埼玉県立岩槻商業高等学校、埼玉県立熊谷高等学校

参加チーム数 30チーム(7校)

運営スタッフ感想 当日は29チーム58名による対戦と多くの高校生に参加いただき、大変盛り上がりました。並み居る強豪を抑え、私立埼玉栄東高等学校の2年生チーム「ねこぱんちですよ」が見事優勝を果たしました。今後も、高校生が楽しみながら金融経済について学べる機会として大会を盛り上げていきたいと思います。



優勝チーム 栄東高等学校 「ねこぱんちですよ」

- 11月23日(日)開催





東京大会

主 🧣 🥨 リそな銀行

参加校一覧 麻布高等学校、開成高等学校、東京都立立川高等学校、渋谷教育学園渋谷高等学校、本郷高等学校、国立筑波大学附属高等学校

参加チーム数 12チーム(6校)

運営スタッフ感想 今年、東京大会に臨んだのは12チーム24名の高校生たち。予選ラウンドから白熱した戦いを見せ、見事優勝を勝ち取ったのは、 渋谷教育学園渋谷高等学校「小倉を送る会」チーム。昨年惜しくも決勝戦で敗退し、今年必ず優勝し全国大会に行くとリベンジに燃えていた2人です。大会中は、高校生のみなさんが見せる、 問題を解く真剣な表情やポイントを獲得した時のはじける笑顔に 運営スタッフみんなも一緒になって一喜一憂しました。今後も、大会を通じてたくさんの高校生に楽しく金融知力の大切さを学んでもらえるよう取組んでいきたいと思います。



優勝チーム

渋谷教育学園渋谷高等学校 「小倉を送る会」

— 11月9日(日)開催





11 1 1



地方大会 Local competitions



12月7日(日)開催

- 12月14日(日)開催

神奈川大会

- 12月14日(日)開催

● 横浜銀行

参加校一覧 逗子開成高等学校、聖光学院高等学校、神奈川県立鎌倉高 等学校、神奈川県立海老名高等学校、神奈川県立横須賀高 等学校、神奈川県立柏陽高等学校、神奈川県立平塚商業高 等学校、神奈川県立厚木高等学校、神奈川県立厚木商業高 等学校、神奈川県立光陵高等学校、湘南工科大学附属高等 学校、洗足学園高等学校、武相高等学校、横浜雙葉高等学校、 桐蔭学園高等学校、桐蔭学園中等教育学校、慶應義塾高等 学校、公文国際学園 高等部、中央大学横浜山手高等学校

参加チーム数 40チーム(19校)

運営スタッフ感想 神奈川大会は今回で7回目の開催となりました。19校から40 チーム80人の高校生が参加し、過去最大規模となった今大会。

当日は非常に高いレベルの戦いが繰り広げられました。参加者か らは、「楽しかった。また参加したい」「この大会をきっかけに、今後 も金融経済の勉強をしていきたい」という感想をいただきました。 次回もたくさんの高校生の皆さんに楽しんでいただけるよう、より 一層大会を盛り上げていきたいと思います。





富山大会

北陸銀行

参加校一覧 富山県立魚津高等学校、高岡龍谷高等学校、富山県立高岡 高等学校、高岡向陵高等学校、片山学園高等学校、富山県立 滑川高等学校、富山県立氷見高等学校、富山県立水橋高等 学校、富山県立小杉高等学校、富山県立富山高等学校、富山 県立富山中部高等学校

参加チーム数 25チーム(11校)

運営スタッフ感想 今年初のまとまった積雪となった中での開催となり、過去の悪天候 時の開催日にも見られた参加者の連帯感のような雰囲気があっ

> また決勝ラウンドも同点トップが発生し、接戦であったので盛り上が りがあった。





新潟大会

· 12月14日(日)開催

催 第四銀行

参加校一覧 新潟県立長岡高等学校、山梨県立白根高等学校、新潟県立 新発田商業高等学校、新潟第一高等学校、新潟県立燕中等 教育学校、新潟明訓高等学校、新潟県立新潟商業高等学校、 新潟県立新潟南高等学校、新潟県立新潟高等学校、新潟県 立佐渡高等学校

参加チーム数 33チーム(10校)

運営スタッフ感想 今回で2回目の開催となった新潟大会は、エコノミクス甲子園が 高校生に浸透したこともあり、前回の第一回大会を大きく上回る 32チーム64名の高校生にご参加いただきました。非常に高い レベルの戦いが繰り広げられ、早押しクイズや決勝ラウンドでは 常に接戦が続き、観覧者・スタッフ含め会場全体が大変盛り上が

> 参加した高校生からは、「こんなに楽しい大会とは思わなかった!」 「来年も参加したい」など嬉しい意見をたくさんいただきました。 次回もたくさんの高校生の皆さんに楽しんでいただけるような大 会運営を目指していきます。開催にあたりご尽力いただいた関係 者の皆様、ご協力ありがとうございました。





石川大会

参加校一覧 石川県立金沢泉丘高等学校、金沢大学附属高等学校、石川県 立金沢二水高等学校、星稜高等学校、石川県立小松商業高等 学校、石川県立大聖寺実業高等学校、北陸学院高等学校

北國銀行

参加チーム数 14チーム(7校)

運営スタッフ感想・例年になく筆記試験から接戦で非常に盛り上がりました。 ・問題が難しく答えられるチーム、答えられないチームの差があった。





113 XX **7** 14



地方大会 Local competitions



福井大会

- 12月14日(日)開催

主 催 北陸銀行

参加校一覧 福井県立高志高等学校、福井県立金津高等学校、福井県立 藤島高等学校、福井県立羽水高等学校、福井工業大学附属 福井高等学校、福井県立福井商業高等学校、福井県立武生 高等学校、福井県立武生東高等学校、福井県立大野高等学 校、福井県立坂井高等学校、北陸高等学校、仁愛女子高等学 校、福井県立三国高等学校

参加チーム数 41チーム(13校)

運営スタッフ感想 降雪のため参加者を車で送迎する保護者がそのまま観戦し、ギャラリーが40名ほどとなった。

まずまずの盛り上がりであったが、一部の高校に悪ノリが目立った点が残念。





12月21日(日)開催

山梨大会

主 催 山梨中央銀行

参加校一覧 山梨県立韮崎高等学校、北杜市立甲陵高等学校、甲斐清和高等学校、山梨県立甲府西高等学校、山梨県立甲府第一高等学校、山梨県立甲府南高等学校、山梨県立巨摩高等学校、山梨学院大学附属高等学校、山梨県立塩山高等学校

参加チーム数 29チーム(10校)

運営スタッフ感想 山梨大会は今回で4回目の開催となりました、10校・28チームと 大勢のご参加をいただきました。

実力が伯仲するなか、白熱した戦いが繰り広げられ、優勝したのは甲府南高校の2年生チーム「ユーグレナ其の弐」、昨年は第3位と惜しくも全国大会を逃した2人が見事リベンジを果たしました。ご参加いただいた高校生の皆様、開催にあたりご尽力いただいた関係者の皆様ありがとうございました。皆様のご協力で笑顔と充実感に満ちた素晴らしい大会になりました。今後も、高校生の皆様が金融経済について興味をもっていただくきっかけ作りの場として、山梨大会を開催していきたいと思います。





長野大会

12月7日(日)開催

🥻 💢 八十二銀行

参加校一覧 長野県野沢北高等学校、長野県諏訪清陵高等学校、松本秀峰中等教育学校、長野県松本深志高等学校、長野県松本工業高等学校、長野県屋代高等学校、長野県塩尻志学館高等学校、佐久長聖高等学校、長野県中野西高等学校

参加チーム数 17チーム(9校)

運営スタッフ感想 学生たちが楽しんで参加してくれたことがとても嬉しく感じました。





岐阜大会

主 催 🚷 十六銀行

参加校一覧 鴬谷高等学校、岐阜県立関高等学校、岐阜県立郡上北高等学校、岐阜県立岐阜県立岐阜高等学校、岐阜県立岐阜北高等学校、岐阜県立加茂農林高等学校

参加チーム数 14チーム(7校)

運営スタッフ感想 今年で5回目を迎えた岐阜大会は、前日より降り続く雪にもかかわらず13チーム26名の生徒が元気に会場を訪れ、雪も寒さも吹き飛ばす、熱い戦いを繰り広げました。

問題に正解した生徒が見せるガッツポーズやハイタッチに我々スタッフも心躍らされ、一方で、不正解に落ち込む姿を見て生徒とともに悔しさを覚えました。

大会の最後には、見事接戦をものにして全国大会出場を決めた 「ランボルギーニ」チームへ、たくさんの賛辞と全国大会に向け た声援が贈られました。

開催にあたり、参加してくれた高校生のみなさん、ご引率の先生 方、ご協力をいただきました関係者のみなさまに厚く御礼申し上げ ます。本当にありがとうございました。





- 12月14日(日)開催



地方大会 Local competitions



12月7日(日)開催

静岡大会

- 12月14日(日)開催

ì 催 **静**岡銀行

参加校一覧 静岡雙葉高等学校、静岡聖光学院高等学校、静岡学園高等学校、静岡サレジオ高等学校、静岡県立静岡高等学校、静岡県立藤枝北高等学校、静岡県立磐田南高等学校、知徳高等学校、静岡県立清水東高等学校、静岡県立浜松西高等学校、静岡県立沼津商業高等学校、不二聖心女子学院高等学校

参加チーム数 21チーム(12校)

運営スタッフ感想 4回目を迎えた静岡大会。県内各地から多くの高校生に参加頂き、参加者同士はもちろんスタッフとも交流を図りながら楽しい大会とすることができました。

今回は、静岡大会初の女性チームの優勝となりました。高校生のみなさんは事前にしっかり勉強して大会に臨んでくれ、決勝ラウンドでは、最終問題まで勝敗がもつれ込み、白熱した戦いとなりました。

また、敗者復活戦には近似値クイズを取り入れるなど工夫を加えたため、とても盛り上がり、参加者全員が楽しんでくれたようです。





12月7日(日)開催

催 全愛知銀行

参加校一覧 聖力ピタニオ女子高等学校、愛知県立知立東高等学校、愛知県立瑞陵高等学校、滝高等学校、海陽中等教育学校、愛知県立津島北高等学校、東海高等学校、旭丘高等学校、愛知県立一宮商業高等学校、大同大学大同高等学校

参加チーム数 25チーム(10校)

運営スタッフ感想 会場を新しい場所に替え、私自身も初めての大会準備・司会・進行で何かと大変でしたが、それ以上に楽しい時間を過ごすことができました。参加者の学生たちもとても良いリアクションをして会場をなごませてくれたり、スタッフにも気軽に声をかけてくれたりして、会場が一つになったとても充実した一日でした。

参加者の皆さんお疲れ様でした!!ありがとう!!そして、全国大会出場を決めた2人、全国優勝目指して頑張ってもらえるよう、最大にサポートしていきたいと思います!!





三重大会

催 🛛 百五銀行

参加校一覧 三重県立松阪商業高等学校、三重県立川越高等学校、三重県立四日市商業高等学校、三重県立川越高等学校、セントヨゼフ女子学園高等学校

参加チーム数 23チーム(5校)

運営スタッフ感想 三重大会は4回目の開催となります。前回に引き続き、参加者、先生方、後援頂いた教育委員会様の協力により、楽しい大会となりました。関係いただいた全ての皆様に感謝です。今年は特に女子生徒の活躍が目立ちました。





大阪大会

催 🕲 リそな銀行 🕲 近畿大阪銀行

参加校一覧 関西創価高等学校、開明高等学校、清風南海高等学校、大阪市立扇町総合高等学校、大阪星光学院高等学校、大阪教育大附属高等学校池田校舎、大阪市立大阪ビジネスフロンティア高等学校

参加チーム数 27チーム(7校)

運営スタッフ感想 今年の大阪大会では、27チーム53名の高校生たちが参加してくれました。大会中は、終始盛り上がり、高校生たちの笑顔でいっぱいでした。予選ラウンドから真剣な表情で白熱した戦いを見せてくれました。大接戦を制し見事全国大会への切符を勝ち取ったのは、開明高等学校「ひよ子を買いに行く!」チーム! 「まさか優勝できると思っていなかった」と驚きながら語る2人の全国大会での大活躍を期待しています!

今後も、大会を通じてたくさんの高校生に楽しく金融知力の大切 さを学んでもらえるよう取り組んでいきたいと思います。





優勝チーム 開明高等学校 「ひよこを買いに行く!」





17 TX



地方大会 Local competitions



- 11月30日(日)開催

奈良大会

- 12月14日(日)開催

催 NANTO 南都銀行

参加校一覧 西大和学園高等学校、東大寺学園高等学校、智辯学園奈良カ レッジ高等部、帝塚山高等学校、奈良学園高等学校

参加チーム数 21チーム(5校)

運営スタッフ感想 今年は当日2チームが欠席して19チームの対戦となりましたが、 参加者が全員しっかりと事前に準備をし、高いレベルでの戦いが 繰り広げられました。

> この大会をきっかけにして経済の勉強に興味を持てた、幅広い 知識を得る機会となった、大会は本当に楽しく来年もぜひ参加し たい等、うれしい意見を聞くことができました。

ご参加いただいた高校生の皆様、ご尽力いただきました関係各 所の皆様、ご協力本当にありがとうございました。





- 11月29日(土)開催

鳥取大会

催 山陰合同銀行

参加校一覧 鳥取県立鳥取西高等学校、鳥取県立鳥取商業高等学校、米 子松蔭高等学校、鳥取県立米子南高等学校、湯梨浜高等学 校、鳥取県立倉吉総合産業高等学校

参加チーム数 12チーム(6校)

運営スタッフ感想 鳥取大会は2回目となりましたが、県内全域から12チーム24名 の参加がありました。初出場も3校あり、緊張した面持ちながら個 性の光る高校生も多く、なかには「マネーキングになる!」 などの発 言も飛び出し、会場を大いに沸かせてくれました。決勝ラウンドは 6チームとも善戦、なかでも「白いダース」と「MONEKINS」は最 後まで抜きつ抜かれつの接戦を繰り広げました。最終的には同 点となり、予選トップ通過の「白いダース」が見事昨年のリベンジ

を果たし、全国大会への出場権を獲得しました。

鳥取県立鳥取西高等学校 「白いダース」



島根大会

催 🔀 山陰合同銀行

参加校一覧 島根県立隠岐高等学校、島根県立松江商業高等学校

参加チーム数 7チーム(2校)

運営スタッフ感想 3回目となる今回の島根大会は参加が7チーム14名と、やや少 数でしたが、14名中13名が女性で、開会式から既にテンション も高く、非常に女子力溢れる大会となりました。第2ラウンド早押 しでも、正解・不正解に関係なく大変盛り上がりました。決勝ラウ ンドは「こくびーんず」と「隠岐高校」が最後まで接戦を繰り広げま したが、最終問題で決着、「こくびーんず」に軍配が上がり、見事 全国大会への出場権を獲得しました。





岡山大会

催 🔷 中国銀行

参加校一覧 岡山県立笠岡商業高等学校、玉野市立玉野商業高等学校、 新潟清心女子高等学校、朝日塾中等教育学校、岡山県立岡 山芳泉高等学校、岡山白陵高等学校、岡山県立岡山東商業 高等学校、岡山学芸館高等学校、岡山大安寺中等教育学校、 岡山高等学校、山陽女子高等学校、倉敷市立精思高等学校、 岡山県立倉敷天城高等学校、岡山県立倉敷商業高等学校

参加チーム数 83チーム(15校)

運営スタッフ感想 今年も多数のエントリーをいただき、全国最大規模の大会となり、 大いに盛り上がりました。早押しラウンド中に、生徒を退屈させな い工夫として、全員参加のチャレンジクイズ(中国銀行に関する3 択問題)を7回実施し、大好評でした。

次回もたくさんの高校生にエントリーしてもらうために鋭意努力、 工夫していきます。



優勝チーム **倉敷市立精思高等学校** 「チームわかば |

- 12月14日(日)開催







地方大会 Local competitions



広島大会

一 11月16日(日)開催

催 しおじ銀行

参加校一覧 広島県立総合技術高等学校、広島県立竹原高等学校、清水ケ 丘高等学校、広島市立舟入高等学校、広島市立広島商業高 等学校、広島学院高等学校、広島大学附属福山高等学校、広 島県立広島商業高等学校、広島県立尾道商業高等学校、尾 道高等学校、安田女子高等学校、広島県立呉商業高等学校、 修道高等学校、ノートルダム清心高等学校

参加チーム数 36チーム(14校)

運営スタッフ感想 今回で3回目となる広島大会ですが、過去最高の14校36チー ムの参加があり、高校生の中でエコ甲の認知度も上がっている と実感できました。早押しクイズでは、高校生、観客、そしてスタッ フまでもがクイズや応援に熱くなり会場は熱気に溢れていました。 大会が終わり高校生たちからは「こんなに楽しい大会とは思わな かった!」「来年も絶対に参加します。」と沢山の嬉しい声を聞くこ とができ、私たちスタッフも達成感に満ちています。







山口大会 - 11月9日(日)開催

催 🗱 山口銀行

参加校一覧 山口県立防府商工高等学校、京都市立西京高等学校、山口 県立萩商工高等学校、聖光高等学校、慶進高等学校、下関市 立下関商業高等学校、山口県立山口高等学校、山口県立宇 部高等学校、山口県立宇部商業高等学校、山口県立下関西 高等学校、山口県立下関中等教育学校

参加チーム数 26チーム(11校)

運営スタッフ感想 県内各地から25チーム50名の高校生が参加し、熱く楽しく知 識を競い合いました。激しい接戦の末、決勝ラウンド最終問題で 他チームを引き離し、見事優勝を果たしたのは宇部高校「チーム フィジカル」。チームの一人、縄田君は、3年連続全国大会出場 を果たした強者です。参加した高校生からは、「とても楽しかった。 来年こそリベンジしたい!」「いただいた資料はとても興味深い。も う一度目を通してしっかり学びたい」との声が聞かれました。大会 を通じて楽しく学ぶ高校生の姿や、「来年もまた来ます!」という 高校生からの声で、スタッフ一同心地よい満足感に包まれました。 大会を盛り上げてくれた参加者の皆さん、ご協力いただきました 高校の皆さま、関係者の皆さま、本当にありがとうございました。





徳島大会

- 12月14日(日)開催

催 💉 阿波銀行

参加校一覧 徳島県立阿波高等学校、徳島県立脇町高等学校、徳島県立 池田高等学校、徳島市立高等学校、徳島県立徳島商業高等 学校、徳島県立城東高等学校、徳島県立城ノ内高等学校、徳 島県立名西高等学校

参加チーム数 24チーム(8校)

運営スタッフ感想 今回も多数の高校生に参加いただき、大いに盛り上がった徳島 大会となりました。開催にあたり、多大なご協力を賜りました関係 各所の皆様に厚く御礼申し上げます。

> 今回は、予選ラウンドの上位6チームが5点差以内という接戦に なりましたが、決勝ラウンド3ヒントクイズで安定感を見せた徳島 市立高校「チームそろばん」が見事優勝を飾りました。

> 次回も、より多くの高校生に楽しんでいただける徳島大会を開催 し、エコノミクス甲子園を盛り上げていきたいと思います。



徳島市立高等学校 「チームそろばん」





12月7日(日)開催

百十四銀行

参加校一覧 香川県大手前高松高等学校、香川県立高松西高等学校、香 川県立高松桜井高等学校、香川県立観音寺第一高等学校、 香川県立小豆島高等学校、香川県立土庄高等学校、香川県 立三本松高等学校

参加チーム数 21チーム(7校)

運営スタッフ感想 今年は昨年のリベンジを果たすべく、参加されたチームが多く、ま た女性チームも多く参加され、大変もりあがりました。今年は高松 高校の「乾ベンチ」が優勝し、見事昨年のリベンジを果たしました。 参加者の皆様、関係者の皆様、ありがとうございました。



優勝チーム 香川県立高松高等学校 「乾ベンチー







地方大会 Local competitions



愛媛大会

--- 11月16日(日)開催

催 解伊予銀行

参加校一覧 愛媛県立西条高等学校、愛媛県立松山西中等教育学校、愛 媛県立松山東高等学校、愛媛県立松山工業高等学校、愛光 高等学校、愛媛県立宇和島東高等学校、愛媛県立大洲高等 学校、愛媛県立土居高等学校、愛媛県立今治西高等学校、愛 媛県立今治東中等教育学校

参加チーム数 29チーム(10校)

運営スタッフ感想 今年もショッピングモールのエミフルMASAKIにて、やのひろみさ んの司会のもと、大勢の方々にご観覧いただき開催しました。笑 いと緊張感が交錯する、個性溢れる高校生たちの大熱戦の末、 優勝を勝ち取ったのは、なんと4連覇となる「マネタリズム」!(同 校内でチーム名を代々受け継いでいます。) 最後には涙ありの感 動的な大会となりました。今回の開催にあたりご協力を賜りました 教職員の方々をはじめとする関係者の皆さま、真剣に大会に挑 戦してくれた高校生の皆さん、大会を見守ってくださったご観覧の

皆さまに心より御礼申し上げます。





福岡大会

- 12月14日(日)開催

催 🧐 西日本シティ銀行

参加校一覧 福岡県立筑紫丘高等学校、立花高等学校、福岡第一高等学 校、東筑紫学園高等学校、福岡県立大牟田北高等学校、福岡 県立修猷館高等学校、久留米工業高等専門学校、久留米大 学附設高等学校

参加チーム数 16チーム(8校)

運営スタッフ感想 過半数が県大会優勝を狙っており、休憩時間も利用して真剣に クイズに挑む高校生の皆さんが大会を大いに盛り上げてくれまし た。参加された皆さんがこのクイズ大会を機に金融経済への興 味を一層深めて下さることを願っています。



福岡県立筑紫丘高等学校 「組んずホグれつ」





高知大会

- 11月16日(日)開催

催四四国銀行

参加校一覧 高知県立高知追手前高等学校、高知県立高知小津高等学校、 高知学芸高等学校、土佐高等学校

参加チーム数 6チーム(4校)

運営スタッフ感想 参加チームが少なかったものの、緊迫した戦いでした。地元の新 聞が1面を使った特集記事をくんでくれることになりました。来年 は知名度も上がりますので、たくさんのチームに参加してもらいさ らに盛り上げたいと思います。





長崎大会

参加校一覧 青雲高等学校、長崎女子商業高等学校、長崎南山高等学校、 精道三川台高等学校、長崎県立長崎東高等学校、長崎県立 諫早商業高等学校、長崎県立佐世保北高等学校、創成館高 等学校

参加チーム数 10チーム(8校)

運営スタッフ感想 参加チーム9チーム(1チームは当日欠場)とアットホームな展開が 予想されましたが、予選第一ラウンド(筆記)、第二ラウンド(早押し) ともに僅差のなか決勝ラウンド進出チームが決定しました。決勝 ラウンドでは正解チームが続出し、何番目のヒントで回答するか の駆け引きが大きく勝負の行方を左右する展開となり、予想以 上に白熱した戦いが行われました。最終的に予選第三位のチー ムが逆転優勝を果たし、「あの時の一問が…」と悔やむ第二位の チームのコメントが印象的でした。





12月7日(日)開催



地方大会 Local competitions



宮崎大会

- 11月30日(日)開催

参加校一覧 宮崎県立高鍋高等学校、宮崎県立都城西高等学校、宮崎県 立都城泉ヶ丘高等学校、宮崎県立日向工業高等学校、宮崎県 立小林高等学校、宮崎県立宮崎西高等学校、宮崎第一高等 学校、宮崎県立宮崎大宮高等学校

参加チーム数 23チーム(8校)

運営スタッフ感想 宮崎県大会は3回目となり、参加高校も県内各地へ広がりを見 せつつあります。会場には高校生の元気があふれ、関係者全員 に笑顔が広がる活気ある大会となりました。また、今回の宮崎大 会は、MRT宮崎放送の番組「わけもん!GT」による取材が行われ ており、生徒たちへの事前取材も含め、後日番組として放送され る予定です。今後も地域のマスコミや、関係者と連携しながら、更 なる広がりを模索していきたいと思います。





沖縄大会

- 12月14日(日)開催

お客さまへより近く

●沖縄銀行

参加校一覧 沖縄県立首里高等学校、沖縄県立陽明高等学校、沖縄県立 開邦高等学校、沖縄県立那覇国際高等学校、沖縄県立那覇 商業高等学校、沖縄県立那覇高等学校、沖縄県立読谷高等 学校、沖縄県立浦添商業高等学校、沖縄県立向陽高等学校、 沖縄尚学高等学校、昭和薬科大学附属高等学校、沖縄県立 名護商工高等学校、沖縄県立具志川商業高等学校、沖縄県 立八重山商工高等学校、沖縄県立中部商業高等学校

参加チーム数 44チーム(15校)

運営スタッフ感想 昨年同様、沖縄県の高校生に人気ラジオ番組のパーソナリティ 2人を司会としてお迎えし、野外で開催しました。そして初めて、離 島から八重山商工高校(石垣市)が初参戦し、本大会が知名度 を上げてきていることを実感できる大会となりました。

また、エコノミクス甲子園をより多くの方に知っていただく為に、テ レビ放送を行います。今後も、沖縄銀行は本大会を通じて、青少 年の健全育成や金融知力の普及に貢献してまいります。





鹿児島大会

参加校一覧 鹿児島情報高等学校、鹿児島実業高等学校、鹿児島高等学校、 鹿児島県立鶴丸高等学校、甲南高等学校、樟南高等学校、鹿 児島県立明桜館高等学校、志學館高等部、ラ・サール高等学校

参加チーム数 23チーム(9校)

運営スタッフ感想 参加した高校生が、白熱して非常に盛り上がった大会となりまし た。







インターネット大会

催 住信SBIネット銀行

参加校一覧 関西学院高等部、野田学園高等学校、西大和学園高等学校、立命館宇治高等学校、灘高等学 校、淳心学院高等学校、海城高等学校、兵庫県立津名高等学校、京都府立洛北高等学校、北海 道札幌南高等学校、本郷高等学校、智辯学園奈良カレッジ高等部、千葉県立成田国際高等学 校、札幌第一高等学校、埼玉県立川越女子高等学校、岡山県立岡山東商業高等学校、山手学 院高等学校、広島県立尾道商業高等学校、宮崎県立宮崎西高等学校、名古屋高等学校、福島 県立あさか開成高等学校

参加チーム数 55チーム(21校)

運営スタッフ感想 <講評> このたびは、第九回エコノミクス甲子園 インターネット大会にご参加いただき、ありがとうご ざいました。当日は、北は北海道、南は宮崎県まで、全国55チームの高校生に参加していただきまし た。大会当日までの事前準備で、金融・経済について楽しく学んでいただけたでしょうか。インターネッ トを通じ、遠く離れたところで、同じ時間に、同じ問題に取り組まれたみなさまにとって、今後の人生 につながる何かを得られたとすれば、大会実施者として大変うれしく思います。さて今回は、インター ネット大会「優勝」のほかに、「住信SBIネット銀行特別賞」をご用意いたしました。「論述クイズ」の 回答において、柔軟な発想で新しい発見や気付きを見い出したチームに、「住信SBIネット銀行特 別賞」をお贈りいたします。今回の問題にもありました、2020年東京オリンピックが開催される頃、み なさまは何をしているでしょうか?「論述クイズ」に回答いただいた金融への新しい取組みが、その時 に実現されているかもしれません。

> 〈運営スタッフ感想〉 今大会は、過去最多の55チーム、21校のご参加をいただきました。インター ネット大会は他の大会とは異なり、お互いの顔が見えない中での開催となりますが、インターネットを 介して全国の高校生が同時に問題に取り組むことに、主催者として物理的な距離を超えた一体感 を感じることができました。ご参加いただきました高校生のみなさま、開催にあたりご尽力いただきまし た関係者のみなさまに御礼申し上げます。来年も、たくさんの皆さまのご参加を、ネットでお待ちしてお ります!



- 11月24日(月)開催

優勝チーム 京都府立洛北高等学校 「ライオンモード」

準優勝チーム 関西学院高等部 「関学高理科部」

3位チーム 宮崎県立宮崎西高等学校 「みゅーず」

/// 全国大会 Final tournament



》) 全国大会 Final tournament



1 ==

全国大会、最初のラウンドは筆記クイズです。地方大会では 2人で協力して4択問題を解答することができましたが、全国大 会での筆記クイズは完全な個人戦。その上、4択問題だけでな く記述・論述問題を解くことが必要です。周囲の鉛筆を走らせる 音が40分の制限時間をより短く感じさせ、高校生の焦りと緊張 を高めていきました。

筆記クイズの後は、ロイヤルホールディングス・菊地唯夫社長の講演会。「ロイヤルホスト」や「てんや」をはじめとして高校生にも身近な多くの外食ブランドを抱えるロイヤルホールディングスの事業戦略や今後の展望をお話頂きました。

この「ロイヤルグループの経営戦略」が、重要になるのが次のラウンド「プレゼンクイズ 2040年への大戦略」です。ここでは、国内人口が激減している25年後を舞台に地方都市の商工会議所長や農家の後継ぎなどの立場から、チームごとに戦略を発表するロールプレイング型のプレゼンテーションを行います。発

表の場である前夜祭までに残された時間はわずか4時間程度。 発表の際に使用できるのは模造紙1枚です。昼食をとりながら も、くじ引きで分けられたチームで話し合いが行われます。エコノ ミクス甲子園に集った全国各地それぞれの視点から多くの案が 出され、議論が白熱していきました。また高校生にはコンサルチ ケットが手渡され、マニュライフ生命、ロイヤルホールディングス の方から10分ずつ2回のアドバイスを受けることができます。こ のコンサルを受けるタイミングも、よりよいプレゼンを完成させる ために重要なポイントとなりました。そして迎えた前夜祭では、来 賓の方々に10点満点で審査していただきました。

前夜祭終了後は、金融知力普及協会プロデュースのエコノミカ大会です。地方大会優勝の際に1デッキずつが贈られた経済TCGエコノミカを用いて、学生スタッフも交えての対戦です。この時に備えオリジナルのデッキを組んできた高校生も多く、どのテーブルでも熱のこもった試合が行われました。













2

■ 第1ラウンド 取引開始!オープニングベル早押しクイズ

五十音順で4チームずつ10組が参加する早押しクイズ。速さと正確性を競うこのラウンドは、クイズに情熱を向ける高校生にとっては格好の見せ場です。 4チーム1組で2問ずつ答えることができますが、2つとも解答できたチームがなかったことからも、全国大会のレベルの高さと各チームの実力が拮抗していることが窺えます。





■ 第2ラウンド 摘発せよ!風説の流布クイズ

プレゼンテーションでの組分けを基に、8チームずつ壇上に上がり多答問題に挑戦します。壇上のチームは、正解・不正解に関わらず20点ずつ得ることができますが、客席にいるチームに疑わしい解答を摘発された場合、1件につき正解であれば2点の加点、不正解ならば2点の減点がなされます。「ユーロ圏の国はどこか?」という問題に「イギリス」と解答し31件の摘発が入って得点が0点になったチームもある一方で、正解に4件の摘発が入り、一気に周囲を引き離したチームもあり、非常に盛り上がりを見せたラウンドでした。





■ 敗者復活ラウンド:市場淘汰!サバイバルクイズ

昼休憩をはさみ、2日目の筆記とプレゼンテーション、午前に行われた第1、第2ラウンドの得点の合計点によって、次のラウンドへ進める20チームが発表され、壇上へ上げられます。しかし、全チームが上がったところでスクリーンに映されたのは、「敗者復活ラウンド」の文字。客席に残されていた高校生が上位ラウンド進出チームであることが明かされ、壇上の高校生が困惑する一方、客席の高校生は抱き合って喜び、他チーム同士でも握手をして沸き立つ様子が見られました。第9回大会最大のサプライズ演出です。

サバイバルクイズでは、壇上の全員が三角帽子をかぶった状態でスタートし、読み上げられた誤答するごとに1つ帽子を失い、チームの2人とも帽子を失うと失格です。下から順に20チームが並べられ、誰かが正解するまで、同じ問題に答えなければなりません。実際に「リバースモーゲージ」が解答となる問題では、誤答が相次ぎ、14チームが帽子を失いました。このラウンドで、札幌南、洛北、修道、滝の4チームが復活しました。







】 全国大会 Final tournament



》)全国大会 Final tournament



■ 第3ラウンド クイズ! Time is Money

3択問題が1分間で12問出題され、札を上げて解答するラウンド。偶数順位・奇 数順位の12チームのグループに分かれて行われました。1日目の筆記クイズと同様、 こちらも地方大会にはないチーム1人ずつの挑戦です。1問あたり5秒以内に解答 しなければならない緊張の中でできる限り多く得点できるよう集中して取り組みます。 ここで、それぞれ上位4チームずつ計8チームが次のラウンドに進出しました。







■ 第4ラウンド 放て、3本の矢!アベノミクスクイズ

第3ラウンドまでを勝ち残った宇部、高松、諏訪清陵、滝、札幌南、宮崎西、栄東、 甲府南の8チームが挑戦したこのラウンドは、「金融」「財政」「時事・経済史」の3つ のジャンルすべてで3ポイント以上を獲得することを求められるボードクイズが行われ ました。ジャンルの選択権は第3ラウンド順位順のため、自分のチームのノルマを達 成することをめざし、他チームのノルマ達成を妨害するため、どのジャンルを選択する か戦略を立てることも、カギとなります。英語で出題され、英語で解答しなければなら ない問題や全チーム誤答するような難易度の高い問題の中、勝ち抜けたのは、宮 崎西、札幌南です。











■ 決勝ラウンド 一騎打ち!クロージングベル論述クイズ

第9回エコノミクス甲子園全国大会、最後を飾るのは、これまでに決勝戦での例がない2チームでの論述クイズ。

前半は、相手チームに論述の中で使えるワードの制限などを加えることができるアイテムを得られる早押しボードクイズを行い、後半 に3分の論述対決を行いました。論述のテーマは、「『量的緩和政策』とは何で、私たちの生活への影響とはどのようなものか、またその 影響に対し、どのように金融知力を役立てることができるか、わかりやすく説明してください」というもの。早押レボードクイズでは、どちらの チームも自分の解答のタイミング以外でも正解するなど、非常にレベルの高い戦いが見られ、論述対決でも、両者ともに会場を大いに 沸かせました。また、スピーチの後には金融知力普及協会・野中ともよ理事からサプライズで、「ここに安倍首相がいたら、アベノミクス について何というか という質疑が投げかけられ、両チーム30秒で回答しました。

5名の審査員の旗揚げによる判定で、4対1で宮崎西の優勝となりました。















|29 大九



NY研修旅行の様子と感想 Study tour







"崎県立宮崎西高等学校 宝蔵 花穂

エコノミクス甲子園全国優勝を果たし手に 入れた今回のニューヨーク研修旅行。憧れの 地であったアメリカ、ニューヨークでの5日間を 通して、私のこれまでの考え方や視点は大きく 変わりました。私の夢をより具体的に大きくし てくれたこの旅を、ニューヨークという街、メイン の企業訪問の様子、そして研修旅行を通して 変化したことの3点を中心にレポートしたいと 思います。

私たちが今回訪れたのは、ニューヨーク市 のマンハッタン島。ジョン・F・ケネディ空港に 到着しマンハッタンに向かう車の中からみた 摩天楼の迫力は、12時間のフライトの疲れも 吹き飛ぶほどのものでした。

マンハッタンの街でまず日本との違いを感 じたのは、道路の荒さと建物のデザインの斬

新さです。あまり整備されていないデコボコし た道をハイスピードで走る車に乗ると、ジェット コースターに乗った時のような恐怖を一瞬感 じることもありました。また、マンハッタンの建 物はとにかく高く、そしてガラス張りのものが多 くあります。私は、以前訪れたことのある韓国 のソウルとどこか似ている景色に、地震の少 ない地だからこそできるデザインなのだろうか と日本との違いに気付かされました。また街並 みを観察すると、現代風の高層ビルから石造 りで歴史を感じさせる建物まで、新旧が共存し ている所が印象的でした。

いざ車を降り街を歩いてみると、今度は人 種の多様さに驚かされます。黒人に白人、アジ ア系など様々な容姿の人や、一見日本人なの にネイティブの英語を話し出す人を見ていると、 移民の国と呼ばれるアメリカを肌で感じること ができます。同時に、外見の全く違う人々がお 互いを尊重して生活している姿に、アメリカ人 の他者への寛容さを見ました。

ニューヨークといえば多くの観光スポット。 訪問する企業数が例年以上のため観光す る暇はあまりないと伺っていましたが、実際 終わってみると、国連本部ツアーやロックフェ ラーセンターの展望台、タイムズスクエアでの ショッピング、バッテリーパークからの自由の女 神見物、メトロポリタン美術館散策、ミュージカ ル「ウィキッド」の鑑賞などかなり満喫していま した。特に将来の選択肢として国連職員を考 えている私にとって、国連本部で193カ国の 国旗や実際使われている会議場を見たことは、 ここで働きたいという私の思いをさらに強くして くれました。

ニューヨークの街に欠かせない要素として 「食」があります。5日間を通して私たちは、高 級レストランのステーキから、屋台のハラル フードまで様々な食を味わうことができました。 最終日には念願だったアメリカの寿司を食べ、 海外ならではのマンゴー入りカリフォルニア ロールの美味しさに驚かされました。アメリカと

る人が共に働くときにはコミュニケーションに 誤解が起きやすく、人としての誠意が重要に なってくるというお話が心に残っています。次 に訪れたのはパインブリッジ・インベストメンツ という運用会社です。これは後で分かったこと ですが、アセットアロケーションと株取引、それ ぞれの会社トップの方からお話を伺うことがで きました。オールイングリッシュで日本の経済の これからについての質問を投げかけられたりと 戸惑いもありましたが、とても密度の濃い時間 でした。日々は常に変化しており毎日勉強し続 けねばならないという言葉を聞き、まずは英語 のスピーキング能力を鍛えて自分の考えを伝 えられるようになりたいと強く感じました。

時差ボケがようやく治ってきた4日目、私が 最も楽しみにしていたニューヨーク証券取引 所、NYSEを訪問しました。エコノミクス甲子 園の対策で外見を覚えていたあの建物が目 の前に現れ感動に包まれたのもつかの間、い ざ中に入るとグラフや英語だらけのコンピュー

ター画面を前に働く人々や、テレビで見たあ の流れる電光掲示板、テレビの生放送収録 などその活気に圧倒されました。日系アメリカ 人のスタッフの方に英語で案内して頂き、フ ロアやオープニングベル、会議場についての 説明を受けました。出来るだけ英語でコミュニ ケーションを取りたいと思いスタッフの方にくっ ついて歩いていると、その方は日本食ではナス とカレーがお好きだという情報を得ることがで きました。世界金融の中心地としてのNYSE の光景とその活気は私の胸に強く刻まれてい ます。最後の訪問先として訪れたのはシティ バンク。フロア見学では、女性社員の方から お話を伺いました。私たちが訪問したのはまさ に取引真っ只中の時間帯。お話ししている間 もしょっちゅうコンピューターに顧客からの通 知が来てそれに女性が対応し…と業務される 姿を生で拝見することができました。このフロ アには女性が多いことが特徴で、メンタルケ アを充実させているそうです。フロア見学を終

え、オフィスの最上階のお部屋で昼食をいた だきながら、日本の4人の方とお話しました。み なさん金融の仕事に至ったキャリアは様々で したが、やりがいや誇りをもってお仕事されて いる姿に憧れを感じました。日本経済につい ての話題になった時は、楽観的なものや悲観 的なもの、日本を外から見たそれぞれの意見を 聞かせていただき、経済は視点により様々な 見方があることを実感しました。

これらのニューヨーク研修旅行における企 業訪問や観光での学びを通し、私の中で2つ のことについての見方が大きく変わりました。

まずは英語についてです。今回の旅で気 付いたのは、アメリカ人はちょっとしたコミュニ ケーションを大事にしているということ。アメ リカ人は個人主義とよく言われますが、実際 行ってみると店員さんと、エレベーターで会っ た人と、などちょっとしたコミュニケーションをと る場面が多いように感じました。旅行前は高 校までに習った文法を使えば何とかなるだろう



いうと、高カロリーなジャンクフードばかりという イメージがあります。しかし5日間見ただけでも、 お馴染みのハンバーガーからオーガニックの スムージーやサラダ、またイスラム教徒も安心 のハラルフードや世界各国の料理など、実際 はそこに生活する人々と同じだけニューヨーク の食には多様性がありました。

このようにマンハッタンには、多様な食、文 化、建物などまさに「人種のるつぼ」といえる 光景が広がっていました。今は短い期間の研 修を終え、次はもっと長く滞在してこの街を知 りたいという思いが募っています。

今回の研修旅行において、私たちは2、3、 4日目の3日間で7箇所もの企業や取引所を 訪問させて頂きました。債権や株、投資信託 や為替など様々な分野で働く方々とのお話は とても刺激的なものでした。

2日目にまず訪れたラッセル・インベストメント では、現地のアメリカ人女性お2人からオール イングリッシュで説明をして頂きました。ネイティ ブの英語のスピードに圧倒されつつ、手渡さ れた資料を見ながらの理解に努めました。信 託においてDesign、Construct、Manageの 3つの過程を経て業務を行っているというお 話や、仕事する上でどこで働くかということは 重要だというお話が印象に残っています。2社 目のMOF、日本の財務省の領事館では、実 際に外交官をしていらっしゃる方からお話を聞 くことができました。日本語で得られる情報量 は英語のそれに比べて圧倒的に少ないという こと、また幼い頃から金融に関する教育が充 実しているアメリカの制度についてのお話を 頂き、世界という舞台で戦う私た ちにとっての 英語や金融知力の重要性を改めて感じまし た。3社目のタイガー・パシフィック・キャピタル は日本、中国、韓国の内需関連株を取り扱っ ており、3カ国3人の方で創設された会社です。 地上46階からマンハッタンを一望できるオフィ

スで、社長の方から仕事内容や私たちの職 業選択において大切なことについてのお話を 伺いました。特に私がなるほど、と思ったのは、 職業分析をするときはロケーション(場所)、イ ンダストリー (業界)、ファンクション (機能) の 3つに優先順位をつけ、内2つは満たすような 選択をせよということです。将来についてこの ように整理された考え方をしたことのなかった 私へ大切な指針を教えて頂きました。

1日で3社回るという盛り沢山な2日目を終 え、3日目にまず訪れたのは三菱東京UFJ証 券です。日本人社員の男性にフロア内を案内 して頂きました。大量のコンピューターが整然 と並べられた広い部屋や、比較的偉い方がい らっしゃる個室、またインサイダー情報取り扱 いのため外からは見えないようになっている部 屋などを見せていただき、エコノミクス甲子園 で得た知識と実際の現場とを比較したり重ね 合わせたりすることができました。国籍の異な

と思っていましたが、実際買い物などをしてみ ると、相槌のレパートリーの少ない私は彼らの フレンドリーさについていけないことが多く、コ ミュニケーションを重視した英語ももっと鍛え ていきたいと考えるようになりました。

次に人生の進路についてです。今回の企 業訪問でお話しした方々は、実に様々な経歴 やバックグラウンドをもっていました。大学で 経済やファイナンスを専攻していたとは限らず、 文学や美術史を学んでいた方もいます。多く の方は大学院やビジネススクールで専門知識 を学ばれたそうです。てっきり大学や高校の頃 からこの業界を目指されていたものだと思って いた私には驚きでした。大事なのは、人生のあ る地点で一度立ち止まって自分自身を振り返 り、道を選択し、それを実行に移す努力をする ことなのだと思いました。今はこれからの大学 生活を通して、選択の柔軟さや自分を客観的 に見つめる力を身につけていきたいと感じて

います。

最後になりましたが、私たちにこのような大 きく貴重な機会を下さったすべての皆様に感 謝の気持ちを伝えたいと思います。経済とい う分野を通して、様々なことを教えてくれたこ の大会に出場して本当によかったと思います。 拙いレポートを最後までお読みいただきありが とうございました。















奇県立宮崎西高等学校

3月22日、午前4時起床。

武蔵小杉でホームが長すぎて成田エクスプ レスが到着しているのに気づかず乗り損ねそ うになりながら乗車。東京スカイツリーを臨む 荒川の橋を過ぎて、ようやく明るくなっていく空 を眺め、居眠りしていると、降りる駅を間違えま した。二人でスーツケースを引いて走り、なん とか周遊シャトルバスに乗ってターミナルに到 着……。

波乱の旅の幕開けでした。

777-300の翼を傍らに、西海岸の橙色の 夜景や凍てついたエリー湖の上空を行き、12 時間のフライトを経て着陸したJFK空港は摂 氏2度。極寒です。

JFK空港からマンハッタン島まで、日本のよ

うに完全に舗装されていない道路を交通マ ナーもおざなりに走るバスに乗り、マッチ箱の ような市営住宅が橋を越えると巨大なビル群 に代わるのを眺めているとアメリカ・ニューヨー クに来た実感がわき、少なくとも宮崎ではあり えないな、と思いました。

宿舎となるマリオット・マーキースに荷物を 置き、途中で昼食をとりながら徒歩45分かけ て最初に向かうのは国連本部、のはずでした が、2分遅れの差であえなく入れず、ロックフェ ラーセンターの展望台を見学することになりま した。途中で立ち寄ったグランドセントラルに は、天井や飾り窓に、星座やそれにまつわる 彫刻が施されていて、忙しく行き来する人々の 生活に密着しながらも、歴史を感じさせる駅の 様子がとても新鮮に映りました。展望台では、 時差ぼけ解消の仮眠を挟んで日なかから暮れ あいまでのニューヨークを見渡し、翌日からの 研修に思いをはせました。またニューヨークか らはどこでも見えると思っていた自由の女神

が遠く豆粒大に見えるのは個人的にかなり衝 撃的でした。

3月23日。

研修初日、一番に訪れたのはRussell Investments。訪問先1社目からオールイング リッシュで臨まなければならないという緊張の 中、準備していただいた資料を基に、Russell Investmentsの歴史や業務についての説明 をしていただきました。具体的な話を交えなが ら、とてもていねいにご説明いただきましたが、 専門的な金融の話になると、やはり聞き取れ ない部分が多く、自分の語学力不足を痛感し、 とても悔しい思いをしました。理解できた範疇 では「建設的な思考」「対人関係のスキル」 が重要であるというアドバイスをいただきました。

この日は2つめの訪問先まで時間が空い ていたので、自由の女神が見えるバッテリー・ パークに行きましたが、風が強く非常に寒かっ たので、すぐウォール街に移動し、25日に向か

供されていて、日本のいわゆるブラック企業と の職場の違い、働き方の違いを考えました。

次に訪れたPINE BRIDGE investments では、再びオールイングリッシュでした。滞在 3日目ともなると少しは英語に慣れたのか、前 日よりは聞き取ることができ、私たちの質問に ジョークを交えて答えていただくことができまし たが、反対に「日本の若者は日本についてど う考えているのか?」という質問をされた際に、 自分の考えを伝えられず、歯がゆい思いをしま した。

夕方には初日に諦めた国連本部に向かい、 運よくミレニアム貧困目標の会議をしている 場にも一瞬だけ立ち会うことができました。ち なみにここでは潘 基文国連総長をはじめとす る歴代国連総長のポストカードが1枚65セン トで販売されていて、小銭を消費しつつおみ やげを買うのにとても助かりました。

また、この日の夜は、ブロードウェイでミュー ジカル「WiCKED」を鑑賞しました。初見のス トーリーを予習なしで見たため、内容や劇中 のジョークで理解できないところもありましたが、 言葉がわからなくとも生のオーケストラの演奏 や歌、本場ブロードウェイの大胆で華やかな 演出は十分に楽しめました。

3月25日。

この日は、はじめに、私が研修の中で最も楽 しみにしていたNYSE-ニューヨーク証券取引 所を訪れました。エコノミクス甲子園の勉強を 始める以前からニュースなどでも頻繁にみる 場所で、ニューヨークの忙しない環境を体現し た場所のように思っていましたが、実際にお話 を聞くと、作業のデジタル化の流れに伴って、 人数が減り活気も衰えており、数年後には、 象徴の役割も不必要になり、NYSEそのもの が消滅してしまうかもしれないということを知り 驚きました。またここでは、壁一面がスクリーン になった部屋で広報の映像を見せていただき、 近未来的な部屋にスターウォーズみたいだな

あと興奮しました。

続いて伺ったCity Bankでは、私たちを NYSEにも紹介していただいた中山さんの案 内で、実際に取引時間中のマーケット市場に 入れていただき、数十秒おきに鳴る電話や周 囲の呼びかけの声の中でそこでお仕事されて いる女性にお話を伺い、金融の熱気を肌で感 じました。また、昼食はエグゼクティブ・ルーム で御馳走になり、NYSEにご紹介いただいた City Bankの中山さんや日本人社員の方、ま た今回、エコノミクス甲子園史上はじめて私た ち女子チームが優勝したということもあってか、 女性キャリアの方々を紹介していただきお話 を伺いました。ここでは特に中山さんに予定し ていた時間以上に幅広くお話をしていただき 最後にして最大に充実した訪問となりました。

思えば、優勝してから一か月、高校を卒業し 上京や大学入学手続きを済ませる傍ら、慌て



うことになるNYSEの外観をみて「勉強したや つと同じだ!!!」と興奮したりエコノミクス甲子園 でお馴染みのブル・ベアのブル(雄牛)に因ん だ銅像と写真を撮ったり、ハラル・フードの屋 台でチキンライスを食べたり、アメリカ・インディ アン博物館で呪術系の人形と目があったりし ていました。

在ニューヨーク総領事館では、「経済・金 融のグローバル化に如何に対応するか」と いうテーマのもとお話していただきました。在 ニューヨーク総領事館は、ニューヨーク連邦 準備銀行のはす向かいに位置しており、当初 は日露戦争の戦費調達を目的として設置され たそうですが、現在はニューヨークの投資家と 話をし、その情報を日本に送ることを主な業務 としているということで、金融の要は、情報であ り、グローバルな人材として活躍するためにも 「英語が非常に重要である」というアドバイス をいただいたり、少子高齢化という日本が抱え

ている深刻な問題を軸に今後の日本経済の 行く末についての見解を語っていただいたりし ました。

続いて伺ったのはTIGER PACIFIC CAPITAL L.P.、社長の武神さんです。お話 の中では、ハーバードビジネススクールのロ ケーション(場所)、インダストリー (業種)、ファ ンクション(役割)に優先順位をつけて就職を 決めるという考え方、自分が輝いていた時の 共通点を探すことを通して自分にあった仕事 を見つけるBest selfという方法が興味深い と感じました。また、私は特にここで単に仕事 に急くだけでなく、社会へのギブバックや家族 との触れ合いも大切にしている武神さんの生 き方の姿勢にあこがれを感じました。

この日の夕食は、在ニューヨーク総領事館 の大沢さんと武神さんにステーキハウスにご 招待いただき、歓談を通じて楽しい時間を過ご しました。

3月24日

朝からメトロポリタンミュージアムを見学しま した。正直、それほど楽しみにはしていたわけ ではありませんでしたが、古代エジプトやロー マの神殿、中世の教会や宮殿が再現された 館内の各部屋を巡る度に夢中になり、2時間 弱の限られた時間でまわらなければならないの を惜しく感じましたが、再びニューヨークを訪れ たときのための楽しみにすることにしました。

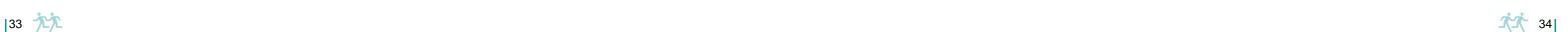
この日、最初の訪問先となる三菱UFJセ キュリティーズ (USA) では、主に社内見学を させていただきました。ここでは、マーケットの 部門別に席を固め、チーム戦で戦いながらも、 インサイダー情報が漏洩しないよう個人の部 屋やロック付きの部屋が多く用意されていまし た。取引のために用いる複数の画面がつい たコンピュータや専用のキーボード、電話を見 たのはここが初めてで、非常に印象に残りまし た。また、社内では自由に飲み物や果物が提

てパスポートを取りに行き、旅立つ、ほとんどは じめての海外旅行でした。入国審査で引っか かることもパスポートをなくすことも迷子になる こともなくて本当によかったです。(ホテルの 部屋のカードキーは1枚紛失しました)

たくさん迷惑をおかけしましたが、付き添って いただいた鈴木さん、学生スタッフの宝蔵蓮 也先輩、内田葵先輩、井上ちひろ先輩、そし てともにチームを組んだ宝蔵花穂さんには心 より感謝します。ありがとうございました。







北海道大会代表 北海道札幌南高等学校 一年

僕にとってエコノミクス甲子園全国大会の三日間は貴重な経 験となりました。特に心に残っている3つのことについて話しま

9。 一つ目は、二日目のプレゼンクイズです。初対面の8人で協力 して企業のプランを考えるのは簡単ではありませんでした。今ま で学校でもやったことがなかったし、まして企業の策略などは考えたこともありませんでした。最初の一時間はほとんど意見が出 ず、沈黙が続き、他の人に申し訳なかったし、自分の金融知力の無さを痛感しました。なんとか完成させることはできましたが、目 先の二三年しか考えていなく、長いスパンで計画をたてられませ

たのニニキしが考えていな、大阪パスハンCarlmeをたくられませんでした。来年は、最初の自己紹介を大事にしたいです。 ニつ目は、大会の決勝戦です。ステージを見るとボタンが置い であったので、「はや押しクイズかな?」と期待していました。しかし、はや押しクイズはただのおまけで、本命は最も避けたかった論述クイズでした。初めて経済に本格的に触れてから四ヶ月の 間、全力で金融知力を磨いてきたつもりでした。しかし、自分らしい、他人とは違う論述を考えるには至りませんでした。決勝の舞 台で僕達が述べたのは一般論であり、今の世界でそのようなもの は求められていません。来年までにさらに理解を深めたいです。 ここまでは、反省文のようになってしまいましたが、自分で納 得できるところもあります。決勝のはや押しでは、自分の持つ知識の全てを注ぐことができました。普段からはや押しクイズに触

れている僕にとって、全国の決勝という素晴らしい舞台でランプをつけられたことは、大切な思い出に、そして次への自信へとなりました。しかし、あの早いタイミングで切れた問題をほとんど 推測して答えた宮崎西高校の二人には驚きを隠しされませんで した。尊敬の意も込めて、僕が来年エコノミクス甲子園に出場す る頃には彼女たちを越えるぐらいの知識を身に付けたいと思い

,。 三つ目は、「出会い」です。三日間の中で本当に多くの方と接す る機会がありました。特に二日目のプレゼンクイズでは短時間で仲を深めることができ、とても良い経験となりました。また、前 夜祭や宿舎などでは、数々のテレビ番組に出演していた方々とも 出会うことができました。こんな僕と握手をしていただいた喜び は忘れることができません。そして、引率をしてくださった道銀 の石田さんをはじめとする各銀行員のみなさん、企画をしてくだ さった金融知力普及協会のみなさん、運営を速やかに行ってくだ った学生スタッフのみなさん、各都道府県代表のみなさん、全 ての方に感謝を申し上げます。今回の大会は多くの人とコミュニ ケーションをとることが、どれほど大切か、そして一つのことに どれだけ多くの人々が関わっているのか学ぶことができました。 来年も、あの舞台に立てればと思います。そのときは、またよろ

北海道大会代表 北海道札幌南高等学校 一年

しくお願いします。

この度は素晴らしい大会を企画してくださり、本当にありがと うございました。楽しんで参加し、また金融経済についての知識、 金融知力を高めることができたと思います。 大会の問題については、地方大会では正直のところ簡単だと

思っていましたが、全国大会では、ある程度の難度(わからないものも多くありましたが、・)があって、早押しなど、すごく燃えました(笑)。論述は、やはり付け焼き刃の知識ではどうにもならない ところがあったので、時間をかけて対策しなければならないと思

次年度もぜひ参加したいと思っていますので、よろしくおねが

青森大会代表 青森県立青森高等学校 二年

帰郷の度に、彼女は激しい風と共に迎えてくれる。冬とはそう いうものだ。だが今回の彼女との抱擁で感じたのはいつもの憂いだけではなく、闘いを終えた戦士の虚無感でもあった。耳にこだ まする北風の挽歌。彼岸へといざなうかのごとく降りしきる彼女 薄明るい不気味な寒空は死の香に溢れて、あわてて僕は家路を急

なーんて恰好つけたプロローグを書いてみたはいいもののこのまま続けると三日目までもたないので普通の感じで書くこと にしました。ご容赦ください。では個人的に印象に残っていることをつらつらと書いていきたいと思います。

飛行機が二時間遅れで飛ぶという波乱の墓開けで始まった僕 のエコ甲全国大会。「人生初の飛行機だ!」と意気込んでいたのに 飛び立つ頃にはすっかり疲れていて、あまり楽しめず微妙な気分

飛び立つ頃にはすっかり被れていて、あまり楽しめす領数な気分のまま宿舎入りすることとなりました。 ペーパーの後のロイヤルグループの菊池社長の講義は、経営学部を目指す僕には非常に興味深いものがありました。ロイヤルホストやてんやは地元に一軒として無いのでリアリティというか 親近感とか、そういったものは感じることはできませんでしたが、 少子高齢化などの社会の変化に合わせて経営方針を見直していくという経営手法はなるほどなあと思いました。この貴重なお話 を聞けたのも地方大会を勝ち抜いてこそだったので、全国まで来

を聞けたのも地方大会を勝ち抜いてこそだったので、全国まで来れて本当によかったなあと実感しました。 そして予選Rのメインイベントだったプレゼンです。僕らDグループは「地方都市の市長」としての2040年までの地方活性 化計画がテーマでした。この課題を受け取った瞬間に脳裏に浮かんだのが、「ふるさと納税」です。何故かというと、地方大会の決勝で「ふるさと納税」について関して問題が出題されまして。僕はその時までふるさと納税の負の字も知らなかったのですが、それをきまつかけに個人的に調べたりしていたので、プレゼンの計画段階でも積極的に話題提起することができて嬉しかったです。でも実際のところ、原稿本準準备のと作うという時はほかの方々に 際のところ、原稿や模造紙の作成、プランの設計はほかの方々に あんぶにだっこ状態になってしまい、情けない思いもしましたね …皆さん本当にすごかったです、自分のコミュカと発想の乏しさ に嘆くばかりでした。発表も素晴らしい出来でしたし、充実した 時間を過ごすことができました。 僕が一番印象に残ったイベントは、その次のエコノミカ大会で

す。大会に来るまでは通算成績二十七戦二十七勝、敗北の味すら 知らなかった僕でしたが、第一試合でスタッフの甲斐さんにあえなく敗北…。サンタクロースが存在しないと知った時と同じぐら

いの衝撃でした…いつかリベンジしたいです。 様々な人、知識、世界に出会ったあっという間の三日間でした。 大会が終わってからは毎日、為替相場や株価変動をチェックする ようになりました。やっぱり経済って面白い!そう日々実感しています。今回の経験は僕の人生の糧になっていくでしょう。この ような素晴らしい大会を催してくれた主催者はじめスタッフの 皆様に感謝し、筆を置こうと思います。本当にありがとうござい

青森大会代表 青森県立青森高等学校 一年

第9回エコノミクス甲子園。今大会は、私にとって大きなきっかけであり経験となったと感じています。 今大会への参加が決定するまでの私は、新聞は読まない、テレ

ビで見るのは音楽番組……。「経済」と聞いただけでなんだか難しい言葉の響きを感じて遠ざけていたほどでした。

そんな状態で経済用語がわかるはずもなく、私の金融知力はも はやマイナスからのスタートでした。悪戦苦闘しつつも、とりあ えずニュースと新聞は見ようと決めたのを覚えています。 地方大 なくこれだったわけですから、当然、全国大会の勉強には苦労しました。それでも、苦労の中にも何かしら見えてくるもので、私は いつの間にか経済が身近なものに思えていました。私にとっての 「経済」はもう、ただの難しいものではなくなっていたのです。

そして迎えた全国大会。最初の筆記試験の時点で全国のレベル の高さを思い知らされました。プレゼンクイズでは、経済は本当 に身近なところに絡んでいるのだと再確認したと同時に、普段と は過う視点から考えることに難しさと新鮮さを感じました。最終 日は早押し、ボード、敗者復活戦……。納得の行く結果とは言えま せんでしたが、今大会から私は多くのものを学べたように思えま

。 今、私は毎朝新聞を読み、ニュースを見ています。大きな変化と いうわけではありませんが、「経済」への苦手意識は薄まり、株価 などの言葉を聞くと自然と集中し始める私がいます。金融知力を 短期間で身につけることは困難ですが、少しずつ自らのものにし る。 でいけたら、と思います。 最後に、今大会に携わったすべての方々に感謝を申し上げます。

本当にありがとうございました。

宮城大会代表 宮城県仙台二華高等学校 二年

全国大会への出場が決まったとき、僕は一瞬、時が止まったよ うに感じた。信じられないことだった。最下位で決勝ラウンドに 進んだ僕らが、まさか優勝するなんて、会場の誰も思っていな

その日から僕らは一層の学習をした。周りに全国大会出場者 はいなかったので、得られる情報はネット上のものだけだった が、その量は満足なものではなく、最初は学習の方向性も定まらなかった。僕らはとりあえず、配布された教材を分担し完璧に仕 上げるという方法で排むことにした。この方法で地方大会では筆 記クイズ一位だったのだ。しかし、この作戦が後々仇となってし

・ファン・ 僕たちは万全のコンディションで全国大会会場へ向かった。宿 候たちは万宝のコンテインヨンで宝国大芸芸場へ问かった。値 泊部屋はネット大会のチームと同室で、片方が2014高校生クイ ズ王だった。初日の夜、その人に誘われて、クイズ研究部の面々に 混じって早推しクイズをさせてもらった。僕の学校にはクイズ研究部は無いので、そういう人達と交流するのは初めてのことだっ た。そこでクイズのいろいろなテクニックを教えてもらったとき 僕はいままで出合ったことの無い世界を感じた。この夜は本当に

楽しかったし、いい経験をさせてもらったと思っている。 二日目、朝から筆記クイズがあった。僕は正直筆記クイズには 自信があった。僕の知らないことはパートナーが、パートナーの 知らないことは僕が知っていたのだ。しかし想定外なことに、全 国大会の筆記クイズは地方大会とは違い、二人で一枚ではなく、 国人気が早記リイムは応力人気とは強い、一人で一枚ではない、 一人でとかなくてはいけなかった。僕らは当慈したが、少しだけ 言葉を交わし、クイズにあたった。もうやるしかないと思った。 早々に腹をくくれたからだろうか、第一ステージは、中間付近で 突破することができた。そのときは嬉しいと思ったが、それより もパートナーとここまでやってきた実感のほうが勝っていた。今 でも彼には感謝している。

僕らは結局準々決勝で敗退してしまった。NYへの切符は手に することはできなかったが、全力でこのエコノミクス甲子園で 戦ったことで、僕は多くのことを学んだ。待機中の緊張も、正解で きたときの嬉しさも、負けたときの悔しさも、今、自己の糧になっ ていると確信している。

僕はもう一度あの場所に立つことはできない。けれど、あの感 覚は一度体験したら忘れようの無いものだ。参加して本当によ

後輩にもぜひ出場してほしいと思っている。

宮城大会代表 宮城県仙台二華高等学校 二年

エコノミクス甲子園全国大会に出場して、優勝には遠く及びま せんでしたが、感じたことは数多くあります。 私は、全国大会がどのようなものか分からない中で、他地区大

伝は、生国人ストンのようでも分からず、緊張していました。 の参加者についても分からず、緊張していました。 しかし、14日のブレゼンクイズや、エコノミカ大会などでプレゼン同班や同室のメンバーとの交流を深めていきました。その 中で、他県の高校生が送っている高校生活を垣間見ることができ たのは将来への大変貴重な経験だったと思います。プレゼン班は 偶然にも東北からのチームが大半を占めていたので、東北六県が 自分の県、周りの県をどれほど、いかに知っているか、地域のため

の関わり合い方などを知ることが出来ました。 地方大会で優勝できたのは、実力半分、運半分、と思っていたの で全国大会に出場するのなら、と事前教材を中心に勉強を進めま

した。と同時に、学校の政経の資料集も併せて学習したつもりで

にもかかわらず、全国大会で実感したのは私達の詰めの甘さ、 基礎不足です。第一・第二ラウンド突破で喜んだのもつかの間、第 三ラウンド「クイズ! Time is money!」において、私達は基礎問題 を中心にミスを重ねて、次ラウンドに進めませんでした。第四ラ ウンドでは今まで学んできた問題も多く、非常に歯痒かったです。 地方大会にまして知力を深めず、中途半端な状態で望んだことは、 大きな後悔であるとともに、将来に向けた自分たちの課題である と言えます。
全国大会終了後、家へ帰る途中、自分で銀行の広告やニュース

を注意深く見るようになっていることに気が付きました。大会前 はもちろん大会のために熱心に眺めていましたが、大会が終わっ てから、見るものの意味がわかるようになっていて、着実に金融 知力は身につき始めていると感じます。それと同時に、自分について、社会について、学べるものが多くありました。大会にあたっ 、様々な形で協力くださった皆様に、感謝したいと思います。あ りがとうございました。

秋田大会代表 秋田県立秋田西高等学校 三年

私がエコノミクス甲子園に出場するきっかけは、学校に掲示さ 者 になることが夢で、秋田で山積する問題のほとんどが経済に 関連するものということもあり、大学は様々な地方都市の問題などを知りたいと東京の経済学部のある大学への進学をこの時点 で決めていました。そんな時に知ったのがこの「エコノミクス甲子園」です。ちょうど同じタイミングでチラシを見ていた清水と 「出場してみるか」と話をした時は軽い気持ちであったことを記 憶しています。 そうして臨んだ秋田県大会。私の家は父が帰ると必ずNHK

ニュースを見る習慣が小さい頃から定着していたことや、将来記者になるためにと毎日新聞は地元紙と全国紙の両方に目を通す 習慣があったため、正直なところ経済的な問題についての知識は 国債があったため、正位はとこう経済的は问題にしていい対談はあると自負していたので特に対策をしてはいませんでした。 それでもそれまで培った知識や、ペアの清水との協力で何とか全国大会出場の切符をつかむことができました。 しかし、全国大会は違いました。県大会とは比べ物にならない

くらいのハイレベルな争いで、圧倒されました。やはり、知識量の

くらいのハイレベルな争いで、圧倒されました。やはり、知識量の 差や場数の差などが浮き彫りになりました。今思えば、もっと対 策をするべきだったと後悔しています。 ですが、それだけではありません。参加して、本当に良かったと思 います。そう思う要因の一つが「ブレゼンテーション」です。私は たまたま同部屋で、すでに仲良くなっていた大阪代表、そして東 北の宮城と青森の代表が同じチームになったのです。 「地方都市の市長」の立場で考えるという課題は、私たち東、北田 日本ビレースプロのストルの関係であり、東の地に発われる東、北田

身者にとっては自分たちの課題であり、真剣に議論をすることが でき、「エコノミクス甲子園で勝つ」ためのプレゼンではなく、私 たち若い世代の本当の思いを政策として反映させることができ たと思っています。この経験は宝物です。 この原稿はエコノミクス甲子園から帰る新幹線の中で書いて

います。今、私は全融知力の量を競うという単なる誘負としてではなく、この大会は私にとって、「本気で日本をどうにかしたい、地域をどうにかしたい」と考えている同じ世代が沢山いるという ことに気付かされる機会になったと感じています。 先に申し上げました通り、私は将来放送記者になりたいと考え

ています。金融知力は「伝える」ためには大事な要素の一つであることは間違いありません。そのため、今回の大会で思い知らされ た知識不足については大学でしっかりと身につけていきたいと 考えています。一方、私見ですが金融知力があったからといって 実際の現場で活かせなければ全く意味のないものであると思い ます。金融知力を身につけた上で、今後日本をどう導いていくのかという点まで発展をさせた問題をエコノミクス甲子園でもさ らに取り入れる必要があるのではないかと思います。知識量より 、その土地にあった形であてはめていくことが大切だと考えて

今回の大会はそのようなことを教わりました。ぜひ来年の大会 にはスタッフとして参加して、高校生の熱い現場で先輩たちとと もに仕事をしたいと思います。そして将来は記者として、エコノ ミクス甲子園のような勝負の場だけでなく、「これからの日本」に ついて考える若い世代を取材していきたいと改めて思いました。 本当に有難うございました。

秋田大会代表 秋田県立秋田西高等学校 三年

私がエコノミクス甲子園に参加したきっかけは教室に掲示さ れていた広告を目にし、興味を抱いたことです。高校3年生ということで受験期と重なるため、地区大会に参加するかどうかを決 めかねていたところ、友人から「残り少ない高校生活だし、せっか くだから二人で思い出を残そう!」と誘われ、参加を決意しまし

た。 かねてから将来は、世界に羽ばたきグローバルな人材として活躍したいと考えていた私にとって金融経済の知識は必要不可欠なスキルの一つであり、今回のエコノミクス甲子園はそんな私の金融経済知力の現在の到達度を測る指標となりました。秋田県大会な代本知典とは、そかの歴史といる後述を思ったよりである。 会では初出場にして初優勝という快挙を果たすことができました。しかし、全国大会ではクイズ研究会等のクイズに長けているライバル達に実力の差を見せつけられてしまいました。やはり受 験期と重なり、十分に対策ができなかったことが敗因であったと 思います。目標としていた全国大会優勝は果たすことができませ んでしたが、全国大会を通して数多くのことを学ぶことができま

,た。 全国大会期間中、最も印象深かったのはロイヤルホールディ ングス株式会社代表取締役社長である菊地唯夫氏の講演会です。 先を見据えた経営方針を打ち出し、一時は低迷していたロイヤル ホールディングスを再建まで導いたプロセスは経営論として非 常に意味のあるものだと思いました。多角的な視野を持ち、物事 を広く認識して思考するということの大切さを改めて実感しま

今回のエコノミクス甲子園は私の将来にいつか必ず活きてく ると思います。今後の金融知力普及委員会の益々の発展とご活躍 をお祈りして、感想文とさせていただきます。マニュライフ生命 保険株式会社様をはじめ、多数の各種スポンサーの企業様もあり

山形大会代表 山形県立山形東高等学校 二年

私がこの大会に参加したのは所属している部活が強制参加だからであり、金融などについて興味を持っているというわけでもありませんでした。それでも心に残ったのは他県のメンバーと話をすることが楽しかったり、講演、クイズを通じて金融について 多くのことを知ったりすることができたからだと思います。

1日目はどんな人がいるのかわからず不安でエコノミカ交流 会に行くことをためらっていたのですが、相部屋の奈良の人達と 話をし、エコノミカをすることで距離が縮まり、他の人とも話してみようかな、と思えるようになりました。2日目は筆記クイズ がまったくわからず勉強してこな かったことへの後悔から始まり、講演を聞いて経済に興味を持つようになって午前中は終わり ました。午後からのプレゼンクイズでは、はじめのうちはほとん まりた。干後からのプレビングイスでは、はしめのプラははとん。 を会話が生まれず完成する気配がほとんどありませんでした。そんなときに大学生スタッフの方が未来自販機へ連れていってく ださり、そこから嘘のように雰囲気が変わり、とても楽しくつく ることができました。結果は最下位だったけど自分達のグルーフ で考えて編み出したことは忘れないと思います。夜に行われたエコノミカ大会ではゲームで楽しんだのはもちろん、同じテーブルの人達との会話も盛り上がりとても楽しかったです。景品として もらったエコノミクス甲子園のLINEスタンプを今ではけっ こう愛用しています。3日目の大会本番は楽しい 場面もありまし たが、やはり問題のレベルの高さに驚くばかりでした。論述クイ ズでの宮崎西の素晴らしい解答には驚きを通り越して尊敬しま

今回の経験を通じて金融、経済のおもしろさを知りました。こ のような機会を作ってくださった山形銀行の皆様、金融知力教会 の方々をはじめ、マニュライフ生命などのスポンサーの方々、そ て大学生スタッフなどエコノミクス甲子園に携わっている皆 こ、ハ・エ・ア・ア・マ・エー・スノヘヤ丁圏に振わつくいる管 様ありがとうございました。2年後、経済学部に受かって大学生 スタッフとしてエコノミクス甲子園にもう一度参加できるよう に頑張ります。

福島大会代表 福島工業高等専門学校 三年

自分たちは、エコノミクス甲子園に参加するのは去年に引き続 き2度目でした。 前回が地方大会で負けてしまったので、今回、全国大会に参加

できると決まった時はとても喜んだのを覚えています。 しかし、大会の日程を知らされたとき、愕然としました。期末

テストが終わった次の日が移動日だったからです!自分たちの 所属する学校は高専、文系のコミュニケーション情報学科ですが 赤点は60点です。手を抜くことができません。勉強する時間がな

・・ それから2か月後、結局、課題やさまざまなイベントに追われ、全 **然動端できたいまま木靴に排みました** 結果から言いますと、圧倒的な力の差を見せつけられ、負けてし

まいました。 、よった。 ここからは、第10回大会参加者のためも考えて、本大会の日程

を書いていきます。

を書いているより。 初日は移動日で、相部屋の鳥取代表の二人と顔合わせや、エコノミカ交流会でした。 てっきり、外出しても良いものだと考えていて、夕食を済ませ ておかなかったのがあだとなりました。センター内にコンビニは ありますが、外出はできません!

二日目、朝から筆記テストでした。バレンタインだというのに 残念でした。笑 かなり難問が用意されていて、苦戦しました。その後は複数の

チームに分けられてのプレゼンテーションづくりです。全く知らない人達との交流で、なかなかハードでした。

更に、体調を崩してしまいその日は寝込んでしまい班員に迷惑をかけてしまい申し訳ないです。 しかし、その夜には相部屋の二人とも男子らしい内容で打ち解

け、いい記憶になりました。 三日目、早押しクイズと摘発クイズを行いました。それが午前

中の内容で、午後の始め、次に進める20チームが発表され、自分たちもその中に含まれていたため喜んだのもつかの間、呼ばれた チームは敗者復活戦の参加者でした。とても落胆しました。結局 取復にも負けてしまったので、そこで自分たちの大会は終わりました。良い結果を得られなかったがとても心残りです。しかし、素 暗らしい経験をすることができませした。次回は参加できません ので、この経験を糧に、自分の道を進んで行こうと思います。あり がとうございました。

福島大会代表 福島工業高等専門学校 三年

今回、初めて福島高専が福島県代表として、エコノミクス甲子 園全国大会に出場させていただきました。去年も地区予選に参加 してはいたのですが、決勝ラウンドにもたどり着かずに予選敗退 してしまい、自分たちの無力さを思い知りました。今年度は、3年 生になり、参加できるのが最後ということもあり、地区予選は去 年以上に勉強し、無事優勝して全国大会への切符をつかむことが できました。思い出という意味でも、福鳥大会で初めて福鳥高車 が優勝できたという意味でも、自分の中で素晴らしい出来事の1

全国大会では、初日こそ周りとあまり談笑したりなどのコミュ エ目人会には、1701日とのよりは大きなかったものの、2日目からは相部屋のチームと一緒にご飯を食べたり、お風呂に入ったり、 部屋でくだらない冗談で笑いあったりと、とても親しくなることができました。また、2日目のプレゼンテーションで一緒になっ たチームの人々とも、打ち解け、3日間、楽しく過ごすことができ

はいた。 唯一、全国大会で結果を残すことができなかったのが残念です。 予選は突破したいという自分の中の目標も達成することができず、非常に悔しかったです。敗因は明らかに自分たちの勉強不足 でした。部活の大会で負けた時と同じように、もっと練習してお

けばよかったと痛感とした。 今回、全国大会に出場させていただき、非常に楽しい3日間を 過ごさせていただいきました。そして、全国の金融知力のある学 生たちにボコボコに負けたことで、多量のインセンティブを得る ことができました。もう高校生ではなくなってしまうのでエコノ ミクス甲子園に来年出場することはできませんが、この経験を生 ない、イヤーは一般であった。 かして今後も金融、経済について勉強していけたらなと思いました。 今回、参加させていただくにあたってお世話になった金融知 力普及協会の方々、学生スタッフの方々、エコノミクス甲子園運 (タッフの方々、ありがとうございました。とても良い3日間 を過ごすことができました。

茨城大会代表 茨城県立水戸第一高等学校 二年

僕は高校のクイズ研究会に所属していて、エコノミクス甲子園 に参加するきっかけもそこの先輩に誘われてでした。 初めてのエコ甲は1年生のときの茨城県大会で、そこでの結果 は準優勝でした。一応クイズ研究会の一員として、早押しなどの 訓練は受けていたので、他の高校から一歩リードでき、賞品とし て図書カードも貰いましたが、結果については「まあ、こんなもん か とあまり気にも留めませんでした。

それから一年後に2年生として迎えた地区大会では、相方に助けられて、なんとか優勝を果たせました。優勝した後は学校の広 りつれて、4んとか懐勝を未だせました。慶勝した彼は学校の山 朝紙や茨城新聞に載ったり、会う人を今う人に「茨城で一番になっ たんだって」「今度は全国大会なんだって」とチヤホヤされたりし ました。このような対応はこのときの僕にとって鬱固しいもので した。なぜなら、僕は「エフノミクス甲子園ってそんなに大した大 会なのか?」というとても失礼な思い込みをしていたからです。 ところが、いざ全国大会の当日に宿舎に足を踏み入れたとき、その思い込みは吹き飛んでしまいました。代わりに「エコ甲ってこんなにガチなんだ」という驚きと感動の気持ちが心を占めるよ

うになりました。 そのようにして始まった全国大会ではクイズ以外にも普段で きないことを数多く経験し、そこでの思い出を挙げると切りがないので、特に印象に残ったことをお話します。 それは何と言っても、全国の高校生と3日間ともに生活したこ

それは何と言っても、全国の高校生と3日間ともに生活したことです。この大会で知り合わなければ、きっと一生出会うことのなかった友達とまさしく運命的な出会いをして、しかも、初対面の彼らと話し合って一つのプレゼンを完成させるという経験はこれからの人生でもう味わうことはないでしょう。また、高校生だけではなく、スタッフの先輩方とも知り合うことが出来ました。この大会で出会った人はみんな個性的で、大会の後の友達でいたいと思える人ばかりでした。こんな素晴らしい場所に来ることができて 木当に幸運 ドゥナシ 田います。 できて、本当に幸運だったと思います。

できて、本当に辛速たったと思います。 来年はもう3年生なのでエコ甲には参加できませんが、後輩た ちに今回のことを話して、バッチリ勧誘して来るので来年は彼ら のことをお願いします。最後になりましたが、このように貴重な 体験の機会を与えてくださってありがとうごさいました。大学生 になったらスタッフとして参加することもあるかもしれません が、そのときはよろしくお願いします。

なんか、エコノミクスにもクイズにも触れていない感想文です

茨城大会代表 茨城県立水戸第一高等学校 二年

地区予選の後、地元の新聞社の方に取材していただいたりして、 地区予選の後、地元の新聞社の万に取材していただいたりして、 「どうしてエコノミクス甲子園に出たの?」などの質問を頂く機会が少しありました。そういう時、私は「えっと…僕はクイズ研究会に所属していて…それで…なんとなく…」と曖昧に答えを返すのが常でした。実際、勉強といっても事前配布教材を読む以上のことはしませんでしたし、時間もほとんどかけていませんでした。エコ甲に向けて、私の意識が高かったとは決して言えません。こうして迎えた全国大会本番、宿舎で待ち受けていたは私、公子根も不さなか。よれ、公上の数々でした。フェスツの祭司で用し、

が予想もできなかったイベントの数々でした。予選の筆記で思い がけず1位を取ることが出来たこと。(賞品の万年筆はとても書きやすく、愛用しています。ありがとうございました。)4時間も かけて優秀な全国各地の仲間たちと協力して経済の知識を総動 員し、2040年の地方都市に思考を巡らせたこと。プレゼンで私た ちが発表している時にちょうどマニュライフ生命のギャビン・ロ ビンソン社長がいらっしゃり、私が話したことを同時通訳されて しまうのでガチガチに緊張したこと。あの演出にまんまと騙され マ予選敗退かと落胆したこと。準々決勝の三択クイズで他校の金 融知力に圧倒され敗北してしまったこと。真の意味での知識とは 何なのか考えさせられたこと。エコノミカ大会などを通じてたく さんの高校生と新しい親睦を深めることが出来たこと。そんなこ と全てが私にとって大きな財産となったことは間違いありませ

。 全国大会にあたり、同室となり、だらしない私を助けてくれた 精思高校の二人、C班で一緒にプレゼンをつくった甲府南高校・ 高崎女子高校・精道三川台高校のみんな、なぜか両日とも入浴の タイミングが一緒だった明訓高校・松山西高校の方々をはじめ、 選手の方々・スタッフの方々、そして一緒に戦ってくれたチーム メンバーの田口くん・力強い支援を頂いた筑波銀行の皆様にとて も咸謝しています.

念嗣しています。 そして今、もし誰かに「なぜエコノミクス甲子園に出たのか?」 と訊かれたら、自信を持って「そこにエコノミクス甲子園があっ たから。」と答えたいと思います。

栃木大会代表 栃木県立宇都宮高等学校 二年 宮崎 陽介

高1の時にエコ甲のポスターを見つけ、挑んだ栃木県大会。な んとか決勝に残り誤答ペナルティ付きのボードクイズに挑戦し

ましたが、ペナルティを恐れて勝負に出られず、4位に終わりま した。そして今回、リベンジを誓い臨んだ2回目の県大会では他のチームに大差をつけ優勝することができました。それから全国 大会までの間、相方と二人で経済について何度も議論を交わしま した。エコ甲の対策をするうちに新聞やテレビで流れる経済の話 題に敏感に反応するようになり、気になる話題があると「これは エコ甲で聞かれそうだ」とこまめにメモをとったりするようにな

, いった。 迎えた全国大会。会場入りする前に本屋に客り、経済誌を1冊 迎えた全国大会。会場人りする前に本屋に寄り、経済話を1冊 買って最後の悪あがき。アクティビティが始まる直前まで持って きた資料とにらめっこしていました。大会2日目最初のアクティ ビティはバレンタインデーのチョコの代わりに筆記クイズが配 られました。次回筆記クイズがあるか分かりませんが、アドバイ スをしておくと、マーク問題に関しては「自信がない問題は無回答」ということです。あてずっぽうよりは確実にわかる問題を確 実に答えていったほうが絶対にいいです。筆記で意気消沈する間 もなく次はプレゼン課題。「2040年の大戦略」というタイトルの通り、町や企業が2040年まで生き残るためにこれからどのよう な事業を展開してゆくかを考え、夜に行われる前夜祭で実際に大 企業で活躍されている方に評価してもらうという課題です。チー ム全員が積極的にアイデアを出し、制限時間ぎりぎりまでプレゼ ンを作っていました。みんなで力を合わせて一つのものを作りあ げた時の達成感はこの上ないものでした。前夜祭終了後のエコノ ミカ大会では、ブースターバックを混ぜじっくりと構成を考えた 自信作のデッキがスターターバックのデッキに負け、ものすごく 悔しかったです。奥が深い。この日は心地よい疲労を感じながら 眠りにつきました。 大会3日目。いよいよ本番です。午前中に行われたオープニン

大会3日目らいよいよか番です。一即中に行われたオーノーノ グ早押しクイズでは押すことができず、なんとか多答クイズで得 点を稼いだものの、お昼休憩では落ち込みっぱなしでした。午後 最初に20チームが増上に呼ばれると、「ここで終わりか…」と全 身から力が抜けて行きました。が、スクリーンには敗者復活の文 字。呼ばれなかったチームが予選勝ち抜けという結末だったので す。客席で大騒ぎしました。次に行われた3択に1分間ひたすら答えるクイズでは、舞台袖から眺めているときは興奮してテンショ ンが上がっていたのですが、舞台に出た瞬間、緊張で正確な解答 ができなくなってしまいました。私達のチームはここで敗退して しまいましたが、勝ち残ったチームはその後出題される難問ボー ドクイズでも正解を連発し、レベルの高さを見せつけられました。 敗退が決まってしばらくは抜け殻のようにボーっとしていまし たが、準決勝のボード・決勝の論述を見て鳥肌が立ちました。

この3日間はとにかく濃かったです。やはりどんな状況でも実力を発揮できないと勝てないことを痛感しました。うまくまとま りませんが、この大会に関わったすべての方に感謝して、感想を 終わりにします。今度はスタッフとしてエコ甲を盛り上げたいな。

栃木大会代表 栃木県立宇都宮高等学校 二年 鈴木 健生

3日間を振り返ってみると大変貴重で濃密な時間を過ごせた ことを改めて光栄に思います。 初日に宿舎に向かいながら経済の雑誌のピケティーの特集を

読み漁り、うきうきして新幹線乗り込みました。1日目は到着も 遅かったので慌ただしく過ぎて土曜日となりました。ペーパーは 全然できなかったので最悪の精神状態での出発となりましたが、 全然できなかったので最悪の精神状態での出発となりましたが、 ロイヤルホストの取締役のお話を聞き気持ちが高まったところ でプレゼンクイズを迎えました。同じグループのメンバーと議論 をかわし、ホワイトボードにフローチャートを書き、コンサルタ ントの方の話を聞き、まとめ、未来の姿を作り上げる。そんなエキ

サイティングな経験は今迄にしたことはありません。 夜のレセプションでは各界の方々と交流ができ新鮮でいろい ろな影響を受けました。日曜日は興奮していたので全く覚えてい つな影響を受けました。日曜日は興番していたので至く見えています。 ませんが、周りのすごさに圧倒されたことは覚えています。 この大会を通して一つ学んだことがあります。それは「世界を 変える人間は姿勢がいいということです。1物理的な意味でもそ うですが、未来を見据える姿勢が美しいのです。前夜祭や本番で いろいろな方がお話をされていましたが、皆さん着こなしもばっ

ちりで姿勢がよく、なにより強い目力を感じました。私もそんな オーラをまとえるようになりたいです。 きっとこの資料は多くの皆さんが日を诵されていると思うの で、この場を借りて私から提案です。よく外国から「日本のサラリーマンは姿勢が悪い!」と言われてしまいますが、電車を、バス を、車を降りてから「何を言ってるんだ、俺が世界を変えてやるぞ!!]と胸を張って歩いてみませんか?

群馬大会代表 群馬県立高崎女子高等学校 一年

地方大会を優勝した時、真っ先に思い浮かんだのは「マンドリ ンの県大会の日程、いつだったかな?」ということでした。急いで 先輩に日程を確認したところ、幸い日程は重なっていなかったも のの全国大会と同じ週にあるという事実を知り、「ああ、やばいな ~」と不安を抱きました。まあ、どうにかなるか!と持ち前の根拠 のない自信により、不安を掻き消したことを今でも鮮明に覚えて

全国大会の週、マンドリンの県大会で目標としていた賞を獲得 することができたので、全国大会も勢いでどうにかなるだろうと 私はまたしても根拠のない自信を抱き、全国大会に向かいました。 結果から言いますと、勢いで何とかなることではありませんでした。筆記クイズは全然わからないし、プレゼンクイズは同じチームのみなさんのおかげでよいものがつくれたものの私は役に立 たないし、エコノミカはそもそもルール理解が完璧ではないし、だからこそ、三日目の絞り込みの際、敗者復活戦をせず通過でき た事にとてもびっくりしました。例えて言うならば…、マンドリ ンの全国大会で大阪に行くことが決まった時くらいうれしかっ

たです。 もっとしっかり全国大会に向けて準備をすればよかったと反 省はしていますが、後悔はしていません。三日間を通じてたくさ んの事を学び、たくさんの人と交流することができたからです。 おそらく、この大会に参加していなければ金融知力についます。 なに深く考える事も、クイズに真摯に向き合う人たちの情熱や努







力を知る事もなかったと思います。金融知力を身につけることは、 私がこれからどんな道に進むにしても必要なことだと思います。 今回身につけた事を様々な事に生かし、さらに知識を発展させる

ことができるようにしていきたいです。 私にとって全国大会は、かけがえのない思い出の一つになりま した。金融知力普及協会のみなさん、学生スタッフのみなさん、ス ポンサーのみなさん、群馬銀行のみなさん、全国大会を共に闘ったみなさん、本当にありがとうございました。

群馬大会代表 群馬県立高崎女子高等学校 一年

正直に言えば私は、金融経済が好きだからというより、県代表として恥ずかしくないようにという、かなり消極的な気持ちでこの勉強してきました。しかし、この全国大会を通じて、代表として の責務が果たせたかは分かりませんが、物事に対する意識は大き く変化したと思います。

く変化したと思います。 私にとって一番大きな刺激となったのは、全国の代表の方々で す。全国から集まった高校生から色々な話を聞くことができたこ とは、本当に新鮮な体験でした。特にボスターセッションの課題 では、色々な事柄を考慮しながらアイディアを出し、それをまと め上げることがとても楽しかったですし、自分の思いつかないよ うな意見をたくさん聞くことができ、視野も広がったと思います。 また高校生活や勉強についてなどの話も聞くことができ、これか らの勉強のモチベーションを上げるきっかけにもなりました。 問題の出題形式やジャンルも様々で、解いているときは心の余 裕がなかったので、どんな気分だったか覚えていませんが、今考

えてみるとその時間がとても充実していました。少しは勉強した つもりでしたが、解けない問題の方が圧倒的に多く、いかに自分 が無知だかはっきり分かったとともに、もっと色々な事を知りたいと思うようになりました。 この大会を通じて、経済に対して積極的な興味を持てるように

なったのはもちろん、大学や勉強、高校生活などに対しての今までの自分を見直すこともできました。また様々な人との出会いは 忘れられない思い出となりました。このような機会を設けていた だき本当にありがとうございます。来年はもっと強くなってこの 場所に戻ってきます!!

埼玉大会代表 栄東高等学校 二年

正直、県予選を勝ち上がるのは、不可能だと思っていました。県内の他校の強さも知っていましたが、目に見えて辛いのは、やはり同じクイズ研究会の他のチーム。練習で対戦してもほとんど勝 、校内で勝てないのなら県代表はまず無理だろう、と思いな がら地方大会を迎えました。

がら地方人会を辿れました。 地方大会では、予選を3位で通過しました。しかし、2位には栄 東の高校生クイズチーム、攻めなければ勝てないのはわかってい ました。自分が答えられない問題を林が積極的に書いてくれて正解したときは、申し訳ない気持ちも吹き飛ぶような、嬉しさでし た。優勝したあとは、インタビューを受けて、「ニューヨークへい くぞー!」なんて言ったりして、スタッフさんには「がんばれ!」、 部員、顧問には「おめでとう!」という言葉をいただいて、嬉しい

ものの埼玉代表として負けられないと強く思いました。 そんな気持ちがあったからなのか、僕は全国大会直前に体調を 悪くしてしまいました。今でも、助けてくださった駅員の方々、エ コノミクス甲子園スタッフの方々、そして林には感謝せずにはい

られません。 印象に残っているのは初日の山場、プレゼンクイズ。くじでB グループに配属されました。同じグループには、宇部、鳥取西、宮 崎西。メンバーはとても積極的で頼れる存在でした。僕もできる だけ思ったことを発言するように意識して臨みました。プレゼン、 ボスターを作るのに没頭しているうちに、緊張が吹き飛ばせまし

. エコノミクス甲子園では、全国大会という大舞台で、いつも通 りのパフォーマンスを発揮することの難しさ、これを行うために は意識をやるべきことに集中させることが1つの方法としてあ るということを学びました。最終結果は知識量が足りず6位でし たが、これより上は後輩に任せたいと思います。

埼玉大会代表 栄東高等学校 二年

私の対策が足りず負けてしまった昨年の地方大会の終了後、泣 きそうになりながらアンケートの感想欄に何本も重ねて書いた 「来年は必ず全国大会に行きます」という文字を思い出し、「そう か叶ったのか と今更しみじみ感じています。

か叶ったのか」と今更しみじみ感じています。
一日目、会場の宿舎までの道を歩いているとき、「何があるんだろう」と、期待と不安が入り混じった変な感覚と緊張でいっぱいでした。そんな中会場に着いて恐る恐る集合場所に行くと、スタッフの方々の笑顔で迎えられてすごく教われたような気がしました。しまそのあと何も知らされずにくじを引かされて「気を抜いていられないな」と思ったのですが・・・)そのおかげで緊張もほぐれて少し心に余裕が持てました。 スタッフの皆さんが心の底から楽しんで、かつ真剣にこの大会を つくっているんだなと思いました。 今回、全行程を通じて「真の金融知力とは何か」ということを深

く考えさせられました。「知識を持っているのは当たり前、それを どう活かせるかが問題なんだ」「ならば果たして自分はその力を 十分に持っているのだろうか」三日間、一瞬たりとも、この問いから目をそらすことはできませんでした。六位入賞という結果はすごく嬉しかったです。ただ、自分の投げかけた問いを考えたと る。やはり、自分は十分な金融知力を持っていなかったのだと思いました。もっと対策をしたかった、力をつけたかった、上に行き たかった。最初は全国大会に行けたことだけでもうれしかったの に欲が出てくる、悔しさを感じる。それはエコノミクス甲子園と いう大会が、元々高かった想像をはるかに超えて、面白くて楽しい、かつ心に残るものだったからだと思います。この大会で終わらずに勉強をし続け、経済や金融情勢に目を向けて、あの時答え られなかった自分の問いに自信をもって答えられるように、真の

金融知力を生涯を通して身につけたいと思います。こんなことを 考える機会を作っていただき本当にありがとうございました。また、様々な活動を通して、高校生をはじめとした多くの方々とお 話しをすることができました。様々な意見に触れ、互いに高めあ

う時間はかけがえのない思い出です。 三日目・最終日、どんどん高校生が帰っていき、別れの挨拶をす る中、「あぁ終わってしまったのか」と、喪失感、というか言いようのない寂しさで胸が締め付けられました。帰り道泣き言のように 「もっとやりたかった」といってはスタッフの方を困らせてしまいました。あっという間の二泊三日でした。何回目だよって感じ ですが、何回でも足りません。本当に、ありがとうございました。

千葉大会代表 渋谷教育学園幕張高等学校 二年

2月13日金曜日。6限まできっちりと授業を受け、帰宅して しっかり夕食をとってから宿舎へ向かったところ、着いたのは 午後7時すぎ。相方は随分前に到着していたようで、迷惑をかけ

てしまった感が否めない。申し訳ない。 その夜、エコノミカ交流会があった。そこで、初めてエコノミカ を体験してみた。やることはわかっていたのだから事前にやって おかないのもどうなのかという気がするが、時間がなかったのだ から仕方がない。そして、エコノミカが楽しいということがその 時わかった。もっと普及していても良さそうなものだが、少々値 段が高いのが玉にきずだろうか。

2月14日土曜日。世間ではチョコレートの年間消費量の約2割 が消費される日である。しかし、実は煮干しの日であることも忘 れてはいけない。

朝一発目からペーパークイズである。解き始めると驚くほどわ からない。これが全国か、と思った最初の瞬間だった。その後はプレゼンの準備。チームの皆さんのレベルが高く、自分のやること が見つけられない状況が続いた。本番の発表でもなにもできずに

※約り、自分の存在価値が見出せない1日だった。 2月15日日曜日。ついに最終日。予選ラウンドは可もなく不可 もなくといった感じでおさえた。そして、20チームの発表。しか し、名前が呼ばれない。そんなバカな。と思っていたら呼ばれた チームは敗者復活戦参加チームだった。自分たちは予選通過して いた。その後準準決勝ではあっさり負けてしまい、何とも言えな かった。ミスはしたが、知識が足りなかった。

正直準備をあまりしてこないで臨んだので、正当な結果だと思う。来年、優秀な後輩が良い結果を出してくれるのを期待してい

千葉大会代表 渋谷教育学園幕張高等学校 二年

エコノミクス甲子園。政経の先生に紹介され、なんとなく参加 してみた。初めはそこまで金融・経済に興味もなく、ただ好奇心と 思い出づくりのためだった。金融や経済といった分野は、どこか 漠然としていて、当時の私には分かりにくく、何も役に立たない ような気さえしていた。また、ただの金儲けの学問なのではないかと、正直あまりいい印象は持っていなかった。

ところが、地方大会に向けた学習を進めていくうちに、それが 大変身近なものであったことに気づく。銀行と一切関わらない人 生などあるはずがないし、将来仕事に就き家庭を持ったときには、 自分も経済活動の一員にならないわけがない。これは私にとって、 非常に大きな発見だった。今まで自分からはかけ離れたところに あるものだと思っていた、金融や経済の教養。それを、身近なものだと思えるようになった瞬間だった。 地方大会を勝ち抜き、全国大会に出場した。予選は辛うじて通

過したが、結果は思うようには良くなかった。しかし、この大会で、 私はプレゼンの能力をより活かし、より確かなものにすることが できた。それだけでなく、全国の優秀な同世代との交流をするこ ともでき、非常に貴重な経験となった。 最後に、この大会への出場をサポートしてくださった、地元の

銀行の方々、学校の先生方や大会スタッフの方々に、お礼を申し

東京大会代表 渋谷教育学園渋谷高等学校 二年

学校から徒歩20分のとても近い場所で行われたエコ甲では、とても遠い世界の戦いが待ち受けていた。その戦いを通じて僕はたくさんのことを学べたが、特に2つのことの重要性を感じた。まずは体力の大切さである。エコ甲に参加するうえで、いや、こ

れから大人になって社会で生きていくうえで一番大切なのは体力 なのだと実感した。大会が行われた2日間は、ずっと体を動かし頭 を働かせ続けていた。朝から筆記クイズを解いたり、数時間でプレ を動から続いていた。朝から革命プイスを併いたい、鼓時間でプレゼンをつくって発表したり、直前でルール発表をされてクイズに 臨んだり、常に気が抜けない状態で動き続けていた。そういう状況 の中で最高のパフォーマンスをするためには体力が必要なのだと

の中で最高のハフォーマンスをするためには体力が必要なのたと エコ甲を通じて痛感した。 そしてもう一つは、話のうまさの重要性だ。これはプレゼンと決 勝の論述クイズ、そして金融知力普及協会の方のお話を聞いて感 じた。僕は全国大会のために金融知力をつける方法として、とにか く知識を詰め込んで勉強をしてきた。だが、それだけでは太刀打ち く知識を詰め込んで勉強をしてきた。たか、それたけでは太月月-ムできなかった。プレゼンでは上手に話すことができず他のチームにも迷惑をかけてしまったし、決勝を見ていても、本当に話がうまくて、優勝するにはこのくらいの力が必要なんだなぁと圧倒され、。協会の方がおっしゃっていたように、知識だけがあればいいというものではないと思う。実際に自分が根本から経済に関して理 ・解をし、それを他人に上手に伝えることが金融知力をつけていく うえで大切なのだということを、全国大会に参加して感じた。

これらの重要なことに気付くことができ、また多のない。これらの重要なことに気付くことができ、また多くの友人ができたこと、そして何よりもかけがえのない2日間を過ごせたことは、エコ甲をつくりあげてくれた方々がいてくれたからこそだと 思う。その感謝を忘れずに、金融知力をこれからも付け続けていき

東京大会代表 渋谷教育学園渋谷高等学校 二年 齋藤 賢太

経済に興味があり クイズ研究会に所属している私にとって工 コノミクス甲子園はかねてから参加したいと思っていた大会であった。そして、今回全国大会に出場してみると、そこには地方大 会以上の楽しさがあり、様々なことを経験することができた。 一日目。夜に行われたエコノミカ交流会では他校の方と自然と

ーロ日。校に行われたエコノミルズ派会では他校の力と目然と 会話することができ、様々な学校の方と色々な話題で会話をして 他チームの方と交流を深めた。 二日目。思うように得点できず、苦しんだペーパークイズが終 わると、この大会のメイン企画ともいえるプレゼンが始まった。 準備段階では途中案が行き詰まり、苦しんだこともあったが、案 を練っていく楽しさもあり、何とか計画を作り上げることができた。経営戦略を立てることの難しさと楽しさを感じることができた。前夜祭では金融業界の方々にプレゼンを行った。また、立食

パーティの雰囲気を味わうこともできた。 三日目。考え込まれたルールとレベルの高いクイズで最後まで 驚きと興奮の連続だった。私のチームは第3ラウンドで負けてしまったが、楽しむことができた。 エコノミクス甲子園に参加したことで金融、経済のことを学ん

だこと以外にも、全国各地の高校の方と交流を深め、本当に貴重 な経験することができた。次回は受験生なので多分参加できない が、後輩に参加してくれればいいなと思っている。 最後に金融知力普及協会、スポンサーの皆さま、スタッフの皆

さまをはじめとするエコノミクス甲子園開催に関わった全ての 方々に感謝いたします。

神奈川大会代表 神奈川県立横須賀高等学校 二年

僕は今回初めて全国大会と名のつく大会に参加しました。 まず思ったことは地区大会と周りが話していることが違う、ということです。クイズ研究部内でエコ甲の対策をしているとき全国 をある程度見据えて対策をしていたのもありましたが、地区大会では対策でつけた知識は完全には活きませんでした。しかし、2 日目に解いたペーパーテストがトラウマになるレベルで難しく

て、これで3日目大丈夫かなとかなり心配になりました。 2日目はまず先に書いたペーパーテストで出鼻を挫かれ、それから間髪を入れずロイヤルホールディングスの代表取締役から から同髪を入れりロイヤルホールディング人の八表な場合がら お話をいただき、さらにそれを受けくじで組まれたチームでプレ ゼンを準備しました。これはとても勉強になりました。4分の3は 首都圏の高校でしたがテーマが地方都市の商工会の会長、という ことでとても悩みました。プレゼンの町の町おこしの参考のため に高知のチームの人たちから彼らの地元の町おこしのお話を聞 をましたが、このような他県の話、しかも同じ高校生の目線から の話を聞ける機会はなかなかないのでとてもいい機会でした。

その後前夜祭での発表を経てエコノミカ大会では個人では2 勝、チームでは3勝できて嬉しかったです。1日目夜の交流会では 6試合くらいやりましたが結局1勝くらいしかできなかったのっ

3日目の全国大会本番では、最初の早押しでポイントがもらえま したが3月に行けるチームが20チームだと聞いて焦り、しかも呼ばれ方もありここで終わりなのかと思いました。 結局勝ち上がることは出来たのですが、その直後3Rで終わって

しまいました。 せっかく予選を突破したのにあそこで敗退してしまったのが とても悔しかったです。もう少し教材読み込んでおけば、と今で も思っています。来年の参加は厳しそうなので今後の後輩の活躍

かけしより。 これまでつけてきた金融知力を活かせた、でもまだまだ足りな いということも実感した大会でした。ここで終わらずこれからも 生きていくために金融知力をつけていきたいと思います。

神奈川大会代表 神奈川県立横須賀高等学校 一年

元々経済はあまり興味がなく、普段外国為替を見る程度(それ すら経済と言えるか怪しい)。4月にクイズ研究部に入部して初めて「エコ甲」の存在を知った。10月ぐらいにエコ甲対策で経済 を部員とともに勉強し始めた。そのうちに経済は自分が思ってい

を助員こともに勉強し始めた。そのプラに経済は自分が思うしい た以上に奥深いことが分かってきた。純粋に「経済って面白いな」 と思えるようになってきた。 本大会が始まる。1ラウンドは早押しらしい。早押しならいつ もやっているので、大丈夫と自分に言い聞かせる。どうやら2組

もやっているので、不丈大と日がに言い関ルでもっとフィッシャロ目だ。どうかう問題が出るんだろう。 私たちの番が来る。自分がやってきた事を出すだけだ。問題文が読まれ始める。「タンス預金」というフレーズが頭をかすめる。 待とうかなと思ったとき先輩が押す。「タンス預金!」正解音が鳴る。2問目は押し負けてしまった。悔しい。 舞台から降りて客席から「回戦の様子を見る。様々な問題が出

ている。経済は奥深いなと今更ながら思う。 2ラウンド。ボードクイズのようだ。2日目にやったプレゼンク イズの順番であるらしい。1番最初にやるようだ。ルール把握が わからないまま舞台に上がる。クイズが始まる。問題は「ユーロを 使用している国を1つ答えなさい」というものだった。きわどい ところを応えて高得点を狙いたかったが、先輩に順当なところを 書こうといわれ「ドイツ」と書く。もちろん正解だ。今のところ30 ポイント。次のラウンドに進めるか不安だ。客席に戻る。客席でも やることはある。間違っていると思ったら高校名の書かれたボー ドを上げなければならない。先輩と相談しながらボードを上げ下げする。意外なものが正解や不正解で驚いた。 昼休憩をはさみプレゼンクイズの結果発表。3位だった。その

後3ラウンドがあるかと思いきやなぜか高校が呼ばれていく。あの中に入っていれば3ラウンド進出なのだろう。呼ばれることを 期待する。しかし、呼ばれなかった。次のラウンドは敗者復活だった。自分たちが敗者復活戦をすると思った。しかし、司会の方が 「敗者復活戦を戦うのはこちらの方々です!」と舞台上の人々を 指して言う。つまり、私たちは無事3ラウンドに行けたのだ。思わ ず涙があふれてきた。先輩に「泣くな」と言われたがしばらく泣き 続けていた。3ラウンドの招集があって敗者復活戦は最後まで見

られなかったが、仲の良い高校の人たちが復活してよかったと

思った。 3ラウンド。3択クイズらしい。あまりやらない形式だ。先輩が カスカー・キャセリ 和スゼーナ 終り 先にやる。難しいらしい。自分のやった事を出し切るだけだ。紙が配られて司会の方の合図でめくる。3択の答えが書いてある。大 体問題の予測がつく。問題が読まれ始める。速い。あげ間違えなど があり、自分としては悔しかった。結果が集計され、4ラウンドに 行く高校が呼ばれる。その中に私たちの名前はなかった。とても

それからはずっと客席で呆然と見ているだけだった。他のクイズ大会でもそのような事はあるが、今回はとても悔しかった。自 ス大会でもてのような事はあるか、今回はくしも博しかった。自分がわかる問題、わからない問題が読まれていく。もっと勉強すればよかったなと思った。優勝の高校が決まる。やはり優勝しないと何もならないなとその時は思った。今、改めて考えると、優勝しなくても、自分の中には今の時代を生き抜くための経済に関する力がある。それに、ほかの高校と交

流ができてとても楽しかった。全国人会に出るということは、全国に、1つのことにかけて戦った戦友がいるということだ。今年 は3ラウンドで終わってしまったが、来年は今年組んだ先輩の分 まで金融知力を身に着け、また優勝を狙いたい。

新潟大会代表 新潟明訓高等学校 二年

私が所属するクイズ研究会は今年創設したばかりである。しか しやる気のある仲間たちが次々に参加してくれ、30人を超えるまでになった。その活動の中でこの大会のことが話題に上り、出 場する事を決めた。

場りる事を大のた。 このような経緯でこの大会に出場した私がエコノミクス甲子 園で得た一番貴重な体験は日本全国の優秀な仲間たちと接する ことができたことだ。地方大会を勝ち抜いてきただけあってレベルが高く、優勝した宮崎県立宮崎西高等学校のお二人の発表に 至っては感動さえした。そういった仲間と戦うことができたこと

を嬉しく思う。しかし心残りであることもある。

それは準備が不足していたこと。 それは準備が不足していたこと。 筆記の得点開示が予想以上に良く、当日の早押しも良くできた。

それだけにもっと対策をしていたらもっと上位に進出する事ができたのではないかと考えると残念に思い、悔しくもある。 来年大会に出場する方たちには万全な対策をして大会に臨む

ことをお勧めする。 先にも述べたがこの大会にはとても優秀な仲間が出場してい る。そういった仲間たちと戦ったことはとても良い思い出となる。 折角出場するのならば心残りのないものにしてほしいからだ。 クイズ研究会の後輩たちには私の経験を活かし、優勝を目指し

・頑張ってもらいたい。 最後に金融知力普及協会の皆様や大学生スタッフの方々、そし て地方予選からご協力頂き全国大会には大勢で応援に来てくださった第四銀行様の皆様に感謝を申し上げます。

新潟大会代表 新潟明訓高等学校 二年

エコノミクス甲子園を終えて2週間が経ちます。これから、大 会を終えて感じたこと、大会の魅力、感想などを書きたいと思い

本大会を通して感じた事は周りの「伝える力」の高さでした。私 本人云を通りて感じた事は高りの||仏えるガ]が高さてした。 たちの筆記テストの順位は悪くなく、早押しラウンドや「風説の 流布クイズ」という多答クイズのラウンドでは満足のいく結果で 流布クイズ」という多答クイズのフウンドでは満足のいく結果でした。しかし発表者の大役を得た前夜祭のポスタープレゼンテーションでは全体9位という後悔しか残らない結果に終わってしまい、宮崎西高等学校のお二人の決勝での発表にはその素晴らしさに圧倒されてしまいました。とにかく他の出場者は皆喋ることに近くでは、アードではアードでは、アードでは

が上手く「伝える力」の高さを感じました。 この大会の魅力は何といっても、他チームとの交流にあります。 相部屋になったチームの人は勿論、グループで行うポスタープレ ゼンテーションの制作や「エフミカ」というカードゲームなど を通して他の人と交流できました。2泊3日という短くない時間 を色々な活動を通じて共有できる事が他のクイズ大会には無い、

エコノミクス甲子園の魅力です。 皆の「伝える力」の高さに圧倒されたこと、丁度大会期間中に やってきたバレンタインの夜に部屋の男子高校生 4 人で家から 持ってきた「コアラのマーチ」を食べたこと、エコノミカ交流会で 7号をには、1000の分のでは、1000のでは、1000のではあるものの2回戦まで進めたことなど、この大会では様々なことがありましたがこれらを通じて得られた友達や経験は一生モノになると

思います。最後になりますがこの大会を企画、運営して下さった金融知力 普及協会の皆さま、学生スタッフの皆さま、全国大会では大勢で 駆けつけて下さった第四銀行の皆さま、一緒に戦った各都道府県 代表の皆、そして地方大会からお世話になった相方の甲斐君には 感謝しています。ありがとうございました。

富山大会代表 富山県立高岡高等学校 二年

エコノミクス甲子園に出場するのは今年が2回目だった。昨年 は地方大会3位という成績で、今年こそは優勝を…という気持ちで参加し、こうして東京への切符を手に入れることができた。そこから全国大会までは2か月ほどあり、学校のテスト勉強と並行 して、あの分厚い青い本×3を読んだり、相棒の高場とエコノミカをしたりして対策をした。

そしたりに分乗をした。 そして迎えた全国大会本番、僕は3日間なぜか緊張をしなかった。それは、3日間が新鮮で、刺激のありすぎる時間だったからだと思う。1日目には、到着してすぐ他の県の人とエコノミカをし こべらい日には、到海ロンタ、1000ポンパンにユーラ、ハテロ て、各県のことについて語り合うこともできた。2日目にはロイ ヤルホスト菊池唯夫社長の講演があり、そのあとに会って間もな い他の県の人とディスカッションをしてブレゼンの準備という グループワークがあった。このグループワークが今回のエコ甲で 一番印象に残ったことだった。僕たちのグループに与えられた

テーマは、「2040年に農家の跡取り息子はどんな経営方針を立て ればよいか。」だった。話し合いを始めても最初はうまく意見がまとまらなかったが、ほかの人の意見はどれも素晴らしく、多様な新鮮な意見にぶつかることができた。その時に感じたことが自分 利解な思えにありかることができた。その時に感じたことが自かで自分の考えを持ってそれに自信をもって他の人に発表することが特に重要だということだ。そしてプレゼンをして、手ごたえを感じていたのだが、順位は10チーム中7位とあまり高くなく、3 日目は1次ラウンド敗退で、上には上がいるものだと痛感させら

最後に、エコ甲に出ることができて本当によかった。また当日 までの準備に関わってくださったすべての皆様に感謝申し上げ たい。ありがとうございました。

富山大会代表 富山県立高岡高等学校 二年 高場 理人

エコ甲での3日間はあまりに濃い3日間だった。金融知力はも ちろんのこと、体力と集中力、そしてコミュカが問われていたように思う(自分に足りなかったのは間違いなく金融知力…)。 昨年度は地方大会で散ってしまい、今年度は念願の全国大会

出場であった。宿舎に到着して各県の代表を目にすると、なんとなく実感が湧いてきた。相部屋の高知代表とはすぐに仲良くな り、会話も弾んでなんとなくいいスタートを切れた気がした。今 考えても彼らと同じ部屋で本当に良かったと思う(ありがとう高

7日・19 2日目の最大の課題はグループでのプレゼンだった。課題のレベルがかなり高く話は時間ギリギリまでまとまらなかったが、な んやかんや、その後の前夜祭でのプレゼンは割と上手くいった気がしていた。ある審査員の方の評価をチラ見したところ10点満点中8点だったため、仲間と「ラぇーい↑↑」なんて言いながら大会前夜を終えた。次の日に発表されたプレゼン結果順位について

は言うまでもない。上には上がいるのである。 結果どの成績もパッとせず、大会はあっさりと終わりを迎えた。でも別に良かった。やはりこの3日間で友達が増えたことが 最も嬉しかった。このような機会を設けてくださった関係者の 方々、付き添いをしてくださった北陸銀行の太田さん(バレンタ インチョコもくださった!)、応援してくださった学校の先生方 や友達、そして何より一緒に戦ってくれた怜旺には感謝してもしきれないほどである。1年後に無事、大学生となっていれば、学生 スタッフとしてぜひともこの大会に関わりたい。勉強頑張ります。

石川大会代表 金沢大学人間社会学域学校教育学類附属高等学校 村村 諒

1日目、僕は緊張感とともに、この全国大会に対する高揚感で いっぱいでした。どんなクイズが待ち受け、地方大会を勝ち抜いてきたどんな人たちと会うことができるだろうかと胸を躍らせ ていました。しかし、宿舎に着き、僕達はいきなり驚かされました。 なんと宿泊する部屋はその日初めて会う他県の子達と共同だっ たのです!初対面の人と同じ部屋で3日間を共に過ごさなけれ はならないと聞き、不安で一杯でした。 2日目はなんと言ってもプレゼンクイズが印象に残りました。

全く知らないペアの子達とグループを組んで、大手家電量販店の 社長になったつもりで戦略を打ち立てました。始まった当初はア イディアが全く浮かばず、話し合いも難航し、気まずい空気が流 れていました。ですが一度アイディアが出るとそこから派生しておもしろい案が次から次へと出てきて、グループの雰囲気も良く なり、非常に有意義な議論ができました。おかげで発表もうまく いき、本当に楽しい時間が過ごせました。最高のチームだったと 思います。

、もり。 そして迎えた3日目では、風説の流布クイズで全チーム中最高 点をたたき出し、決勝ラウンドに進むことはできましたが、準決 勝進出はなりませんでした。悔しいですが、まだまだ自分たちの 実力が不足していたことを痛感させられました。決勝の論述クイ ズは本当に見応えがありました。宮崎西のお二人、優勝おめでと

うございます。 この全国大会は自分を成長させてくれました。最終的に同じ部 屋の子達とも仲良くなれましたし、交友関係がぐっと広がりました。その上、初対面の人と協力して一つの物を作り上げることの 難しさ、積極的にコミュニケーションをとることの大切さも学ぶ ことができました。こんな素晴らしい大会を企画・運営してくだ さった皆さん、本当にありがとうございました。

石川大会代表 金沢大学人間社会学域学校教育学類附属高等学校 一一 宮内 英行

私がこのエコノミクス甲子園に参加した理由は、単にもうひと りのチームメイトと何かの「クイズ大会」に出たいと考えていたからです。経済マニアという訳でもクイ研という訳でもなかった ので、全国大会に出られればいいなというような軽い感じでした。 ただ学校で毎週新聞小テストという時事問題のイズをさせて 頂いているので、それが唯一の小さな自信でした。 一週間前くらいに勉強し始めて迎えた県予選。短期間で記憶し

た甲斐があってか新聞小テストのおかげか、筆記で高得点をとれて、全国大会への出場権を得ました。今思うと、あんなに何も「知 力」が無かった僕たちが優勝したのは、本当に奇跡だったと思い

、7。 - 全国大会に出場すると決すってからは より一層動強に力が入 上国人式に山場等するに関係が沸いているのを実感しました。ク りました。徐々に経済に興味が沸いているのを実感しました。ク イズ大会のためというよりは興味本位の勉強になっていました。 全国大会ではプレゼン対決や早押しクイズなど、知識だけでは 解けない問題ばかりでした。正直言って全国の壁は予想よりもは

併りない问題はかりでした。正世目うく至国の監は予認よりもはるかに高く厚かったです。 結局私たちは決勝ラウンド敗退となりました。全国大会に出場するからには優勝を狙っていたので正直残念でしたが、悔いはありません。私が全国大会で感じたことは、まだまだ「知力」が足りなかったということに尽きます。この「知力」は決してクイズ大会 の為のものだけではなく、社会人になってから活きてくるものだ

と思います。今日の複雑な社会だからこそ、この「知力」を将来活 用していきたいです。このような機会を与えて頂いた全ての方々 に感謝したいと思います。

福井大会代表 福井県立藤島高等学校 二年

あのエコノミクス甲子園全国大会の三日間は、私にとって忘れ られない思い出となったとともに、これからの進路決定に向けて

大きな布石となりました。 地方大会に出ようと思ったきっかけは去年全国大会に出場した同じ学校の先輩方でした。その時は、別に全国大会に行ってや ろうとまでは思っていませんでしたが、もし優勝したら東京に連れて行ってもらえるというような漠然とした気持ちでした。しかし、相方と経済や金融のことを勉強していくうちに、その学問の 面白さや奥深さに気づき、気が付くといままではあまり見ていて も興味が湧かなかった社会の出来事にも関心がでてきて、NHK のニュースを見たり新聞を読むのが日課となりました。

ジーエースとなった。7세周に配送り、日本にマッタした。 迎えた地方大会、まさかの同じ高校の三年生が出場していて、 これは終わったと思いましたが、相方とわからないところをうま く補い合うことができ、僅差で全国大会に出場することができま した。嬉しさの反面、これからはもっと深く勉強していかないと いけないなという不安もありました。

正直、全国大会では私たちの実力のなさを実感しました。筆記 テストや早押しクイズ、第3RのTime is moneyでは上位進出校と の差を感じ、もっと勉強してくればと反省しました。しかしなが ら、予選ラウンドのプレゼンではH班全員が積極的に意見を出し るって、アイデア豊かでおもしろみのあるプレゼンができたと思います。私たちの高校でもポスターセッションのようなことをしますが、1年間くらいの時間をかけて準備を行って発表を行いま す。今回はたった4時間という時間制限の中での戦いでした。私 たちH班では「地方新聞社の社長」という設定で、最初はまず何を すればいいかもわかりませんでしたが、目の前にある課題を一つ一つ地道に解決策を探し、そこから生まれる革新的な模索するこ 一 加速に肝状寒を採してこから生まれる早新的な検索することができて、ブレゼン本番では緊張もありましたが自分たちの精一杯で伝えることができました。その結果、審査員の方々には『よかった』「おもしろい」とお褒めの言葉をいただき、ものすごい自信になりました。そして、H班は全体でも2位で4組全員で予選を通過することができました。本当にH班の仲間には感謝の気持ちでないができました。本当にH班の仲間には感謝の気持ちでないができました。本当にH班の仲間には感謝の気持ち でいっぱいです。

また、今回の大会ではたくさんの人たちのお世話になりました。 地方大会から全国大会終了まで支えてくれた北陸銀行の皆様、大 会を運営してくださった金融知力普及協会の皆様とユニークな 学生スタッフの皆様、そして、相部屋になった長崎の精道三川台

学生スタッフの管様、そして、相部屋になった長崎の精直三川台高校の二人をはじめ、プレゼンで一緒になった高松・鶴丸・諏訪清陵高校のH班のみんな、その他にもエコノミクス甲子園を支えてくれたすべての方々、本当にありがとうございました。エコノミクス甲子園では、金融知力はもちろんのこと、社会に出てから必ず必要になるコミュニケーションカア企画力を身につけることができ、多くの仲間を得ることができました。この大会で得られたことをこれからの自分の人生や、少しでも社会に選ュースをストンにより、と思います。 元できるようにこれからも真摯に精進していきたいと思います。

福井大会代表 福井県立藤島高等学校 二年

この大会に参加したきっかけは非常に軽いもので、去年出場した先輩に、出てみないかと声を掛けられたことでした。本当に軽 い気持ちで参加したのになんだかんだで地方大会を優勝し全国 大会への出場権を獲得してしまいました。その時は嬉しさよりも 不安の気持ちでいっぱいでした。全国大会で恥をかかぬよう配 布された教材を中心に勉強し、毎日の経済のニュースもチェック するようにしました。

全国大会の種目は多岐にわたるものでした。1日目、朝起きて 会場に行くといきなり始まる筆記。休む暇もなく始まったプレゼ ンラウンド。限られた時間の中急いで仕上げたプレゼン。見るか ンラウンド。限られた時間の中急いで仕上げたプレゼン。見るからに偉い感じのおじ様、お兄様方に、緊張しながらも発表(自分は戻りませんでしたが)、私たちのグループは全体で2位という好成績でした。2日目、早押しクイズ等、個性的なクイズたちを終え、予選通過チームの発表や。スタッフたちの意地悪なドッキリのせいで、負けてしまったと思い込んでショックを受けました。しかし、プレゼンラウンドでの健闘のおかげで本当は8位で予選を通過していました。プレゼンラウンドで頑張ってくれた相方の楽い。 高松高校、諏訪清陵高校、鶴丸高校の皆さんに本当に感謝してい

、,。 しかし、その後の高速三択クイズで惜しくも敗退してしまいま

)た。 準々決勝敗退という結果は満足のいくものではありませんで した。全国で勝ち抜くには与えられた教材だけでなく、もっと多くの知識を身につけて行かなければならなかったのだと自分の 勉強不足を反省しました。次回出場する後輩には私の二の舞にならぬようアドバイスしたいと思います。 エコノミクス甲子園は本当に貴重な経験でした。この大会に参

エコノミクス中于園は本当に貢車な経験でした。この大会に参加するにあたり経済に関心をもつようになり、大会が終わった今でも経済のニュースをチェックしています。ここで得た金融知力を今後の生活に生かしていこうと思います。最後に、この大会を企画、運営してくださった皆様に感謝の言葉などでより思いませた。

葉を述べたいと思います。本当にありがとうございました。

山梨大会代表 山梨県立甲府南高等学校 二年

全国大会は、自分が予想したよりも様々なことがあり、充実したものであった。特に印象に残っているのは、2日目のアクティ ビティである。

アイモのる。 アクティビティでは、講演とプレゼンテーションがあったか これらが非常に面白かった。まず講演では、ロイヤルの社長である菊地様に、30年後までいかにして業績を伸ばしていくか、という講演をいただいた。30年後のために、現状を分析し、解決策を 考え、段階に分けて実行する、という考え方を具体的に知ること

137 TT











ができた。加えて、優先順位をつけること、適切な方法を取ること、

かできた。加えて、愛光順位を ひりること、適切な 万法を取ること という当たり前のことの有効性を改めて実感した。 次に、それを生かして、地方都市の市長として、2040年への戦略を、グループで考えた。このときのグループでの話し合いが特に刺激的かつ貴重な体験であった。自分では考えつかないような 意見が出たり、自分の考えがまとまらない時に、他の人がうまく なんがいていたりと、さすが全国大会だけあって、周りの人のレベルの高さに驚かされた。それだけでなく、計画の妥当性、実現性 の検討がいかに難しいかを痛感した。そして、その議論で得られ たものを模造紙一枚にまとめ、5分という制限時間の中でプレゼ ンテーションを行ったが、自分の発信力の未熟さを痛感するばか りであった。制約のある中で最も効果的に伝えることは、想像以 上に難しいことだと身を持って知った。

このように、全国大会では、金融の知識だけでなく、物事を考え 発信することがどんなものであるか、という金融以外の分野にも 通ずるとても貴重なことを学ぶことができた。この経験を今後の

山梨大会代表 山梨県立甲府南高等学校 二年 鳥 潦太郎

私は今回のエコノミクス甲子園に参加することで金融・経済だ けでなくグループで課題に取り組むという貴重な経験をすることができました。

ゼンによる成績が無ければ三ラウンドに進むこともできませんでした。答えの見えない問題に対してグループで知識を出し合い 問題解決を目指すという体験をしたこと、また、そのおかげで自グループ全員が3ラウンドに進めたことで、グループで仕事をす スプーン主義のスプントに通じたこと、スプーンに日本をすることがどのようなものかを学べた気がします。この体験は私が大学生や社会人になったときに必ず役に立つと思います。 エコノミクス甲子園に向けた学習では、経済や金融のことにつ

いて教科書の枠を超えた部分まで学習しました。その結果、預金 や投資についての知識や経済動向の見方など、大人になってから 役に立つであろうことを数多く学びました。インフレ下での預金 の目滅りなどこの機会に知ることができて本当によかったと思うことがたくさんあります。もしこれらのことを知らなければ将 来損をし続けるのだろうと思いました。これらのことを学ばずに 大人になる人がまだまだ大勢いるのだと思うとエコノミクス甲 子園はもっとたくさんの人に知られ、たくさんの人が参加するべ

るだと感じました。 単なるクイズに留まらず貴重な機会を与えてくださったエコ ノミクス甲子園にはとても感謝しています。

長野大会代表 長野県諏訪清陵高等学校 二年

僕たちにとって初めての全国大会となった第9回エコノミク ス甲子園。初めてエコノミクス甲子園に出ようと思ったきっかけは学校で、第8回エコノミクス甲子園のポスターを見たことでし た。全国大会優勝チームはニューヨークに招待と書いてあり、頑張ってやってみよう、と思ったのがきっかけです。その当時僕たちは1年生。また、長野大会は初めて開催されるとのことでした。 しかし8回目となった前回は長野大会敗退で苦渋を味わうことになりました。そして迎えた第9回目。前回と同じペアの小野く んと、チーム名も同じ「ジャンダルム」として出場しました。前回 の悔しさを晴らし長野大会で優勝すると、諏訪清陵高校として初 めての全国大会出場となりました。全国大会までは、送付されて きた教材と政治経済の教科書を駆使し、空いた時間にはエコノミカで遊びながら勉強を進めていきました。 2月14日。全国大会1日目。1日目は午前中すぐから筆記テスト

2月14日。全国大会11日日。11日日は十町中すくから幸祉デスト があり、その手応えがあまりなかったので、肩を落としていたの を覚えています。しかし、その後ロイヤルホールディングス社長 の菊地さんから経営のやり方だったり経営戦略のたて方、経営の 仕組みなど普段間くことのできない、とても勉強になる話を聞く ことができました。そして1日目で特に思い出に残っているのが その菊地さんの講演を元にしたプレゼンです。他の高校の人たちと意見を出し合い、2040年の大戦略と題した経営戦略を考えた のがとても楽しかったし、交流も深められたことが思い出に残り

全国大会2日目の2月15日。ここからが本当の全国大会、本番 全国大会2日目の2月15日。ここからが本当の全国大会、本番です。1日目と2日目午前中の早押しクイズ、風説の流布クイズを終えた、この時点までが予選です。僕たちはなんとか予選突破し、準々決勝に進むと、準々決勝は第1グルーブ目最後の枠で準決勝進出を果たしました。準決勝進出が決まった後、舞台の袖で準決勝へ進出したことへの喜びと、準決勝へ向けての聚張が入り交じり、その場にしゃがみこんでしまったことを覚えていま立入。準決勝では他校の勢いと問題の難易度に圧倒され、結果は私人事 しかし実際はベスト8まで来れるとは思っていませんでした。連も味方してくれたと思います。何と言っても、初出場でここまで 来れたことが本当に嬉しかったです。

来れたことが本当に嬉しかったです。 このエコノミクス甲子園を経験して感じたこと、それは3つあります。まず1つ目はこのエコノミクス甲子園を通して、経済のことに興味が持てたことです。今までは、経済なんて難しい、面白くない、といった先入観がありましたが、エコノミクス甲子園を きっかけに勉強を始めてみると、世の中のお金の仕組みを知ったり、経済の歴史を学んだりすることがとてもおもしろく、もっと

たくさん知りたい、と思えるようになりました。 2つ目はこのエコノミクス甲子園を通して他校の人達との交流を深められたことです。宿舎では同じ部屋だった他の高校の人 との会話で盛り上がることができたし、1日目のプレゼンでは他校の人達と考えを発表、共有しあったりして、僕たちが考えたことを発信できることができました。このグループでのディスカッ

とを発信できることができました。このグループでのディスカッションというのが、社会に出てからすごい役に立つんだな、ということも感じることができました。 最後に、僕が1番感じたこと、それは中高生で金融知力をつけるということはこれから社会を担う僕たちにとってすごい大事なことで、必要なことだということです。次回で10回目を迎えるエコノミクス甲子園。今後もっともっとエコノミクス甲子園が身近な大会となって、この大会をきっかけとして、金融経済のことを学るアイルをすめて、いまた を学んでくれる高校生が増えるといいなと思っています。

長野大会代表 長野県諏訪清陵高等学校 二年

僅たちは、エコノミクス甲子園の参加は今回で□同日でした。 前回一年生で参加した時は県予選の決勝で敗退というとても悔しい結果になりました。しかし去年負けた時点で、次の大会にも 参加しようと決め今回の大会に臨みました。今回は前回より勉強 量を増やし政治経済の教科書を自分で買うなどして勉強し、県大 会は絶対優勝するという意気込みで臨みました。そして県大会は 突破することができました。しかし全国大会になり他校の人と顔 を合わせ話をしてみると、県大会とは空気が違い、みんな同じよ うに勉強をしてきたということが伝わってきました。全国大会の 1日目は、プレゼンテーションでした。4校1チームとなってそれ ぞれの役職になりきってプレゼンを行いました。最初は初めて そのためにもいた。ファレニューをロッキングでは、 そった人たちと協力するということで緊張しましたが、最後はと てもいい案にまとまったと思います。このような成果からプレゼ ンテーションでは全チーム中2位でした。次の日はいよいよ予選 と決勝がありました。昨日組んだチームとも敵同士にならなけれ ばいけなかったのは少し寂しいですが、全力を尽くしました。そ の結果8位に入賞することができましたが、準決勝では実力の差 を見せつけられました。少し悔しかったですが僕はこの結果の満 足しています。そして何よりこの大会に向けて勉強してきた経済 の知識はこれからの人生に大きく役に立つものだと思います。こ の大会を主催してくださった方々や何より私たちをサポートし どさった学生スタッフの方々にはとても感謝しています。あ りがとうございました。

岐阜大会代表 岐阜県立岐阜高等学校 二年

僕がエコノミクス甲子園に参加したのは、クイズ研究部で他の 部員も参加するから、というひどく適当なものでした。だから大 会に向けての勉強もほとんどしていなかったし、全国大会に出場できると思ってもみませんでした。会場についても正直それなり に楽しめたら良いかな、ぐらいに思っていました。

しかし、他の代表たちと話しているうちにこの大会がどれほど レベルが高いものなのかを感じました。みんなかなり事前教材を 読み込んでいて、話をしていても専門用語が分からなかったり、 金融知力の差を感じました。これについては真面目に勉強してこ なかったことを後悔しています。次回もしも後輩が全国大会に出 場するなら、もっと真剣に勉強するようアドバイスしたいです。 不安な中始まった三日間は想像以上に大変でした。しかし、限

られた時間の中で計画を立てて、プロの前でプレゼンしたり、大 勢の観客の前でクイズに答えたりすることは、この大会に参加 していなければ経験できなかっただろうと思います。肝心の結果 については、あっけなく敗退という残念なものでしたが、自分の 知識を総動員させてなんとか答えを見つけようとするのは楽し かったです。エコノミクス甲子園は金融に対する知識や、実践的な考察力、集団としての協調性など、社会に出るにあたって必要 な能力が要求される本当に難しい大会でしたが、その分他の場所 では味わえないような経験ができました。この大会に参加するこ とが出来て良かったです。

岐阜大会代表 岐阜県立岐阜高等学校 二年

私はエコノミクス甲子園に参加してとても多くの新鮮な体験 をすることができました。 私はエコノミクス甲子園は初出場で右も左も分からないまま、

同じクイズ研究部の山口君と一緒に岐阜大会に出場しました。岐 阜大会は相方が昨年も参加していたので、どんな問題がでるか、 どのような形式でクイズが行われるのかということを聞くこと ができましたが、全国大会は相方も出場経験がなく、また、岐阜高 校クイズ研究部でも過去に3度ほど全国大会に出場をしているものの、昨年は全国大会出場を逃していたこともあり、先輩にも全国大会の様子を聞くことができず、かなり困惑しました。しか し、その分本番では新鮮な気持ちで楽しむことが出来たのではな

岐阜大会は参加チームが20チームにも満たない比較的小さな 大会でした。なので、全国大会に出場し、全国から厳しい地方大会 を勝ち抜いてきたであろう高校生の実力に圧倒され、自らの勉強 不足を感じました。相方にも私の勉強不足のせいで無理をさせて しまったと思います。しかし、2日目のプレゼンでは様々な地方 の高校生と意見を出し合い、よりよい発表ができるよう努力する る。ことができて楽しかったです。3日目の本戦ではあまり良い結果とは言えませんでしたが、必ず将来役にたつであろう金融知力を 楽しく学ぶことができ、全国の高校生と交流もすることができて エコノミクス甲子園に参加でき良かったです。

静岡大会代表 静岡雙葉高等学校 二年

私が今大会で一番印象に残っていることは、2日目に行われた 「2040年への大戦略」です。今よりも少子高齢化が進み、かつ日本の総人口も1億人を割るといわていれる2040年に向けての経 営の在り方を考えるものでした。4チーム8人のグループごとに 職業が割り当てられましたが、私たちに割り当てられたのは「地 方新聞社の社長 |。この会社や社長自身の細かいプロフィールを 渡されましたが、正直、最初は何も思い浮かびませんでした。現時 点で県内シェア80%を誇っているということだったので、これ 以上県内でのシェアを伸ばすのは難しいだろう。国内に3か所と ニューヨークに支社を持っているけれど、どう生かせるだろう。 普段の生活からは程遠い次元のことに最初は頭を抱えるばかり でしたが、皆で意見を出し合ううちにだんだん形が見えてきまし た。同じグループの方々の意見はハイレベルで、全国にはこんな た。同じクルーフの万々の意見はハイレベルで、全国にはこんな 高見を交わせるのが何よりも楽しかったです。最終的には時間が 足りなくなってしまい、万全の態勢でプレゼンに臨めたとは言い 難いですが、彼らと熱い議論を交わせたことは何物にも代えがた

昨年出場した地方大会から今回の全国大会を通して、自分の金 融知力を高められたと同時に、自分と同年代の高校生の中にはこ んなに優秀な方々がいるのだと知り、世界が広がりました。これ まで培ってきた金融知力をこれからの生活にも役立てていけた るく4月でもこれが、地方大会・全国大会に関わった全ての 最後になりましたが、地方大会・全国大会に関わった全ての

方々に感謝いたします。ありがとうございました!

静岡大会代表 静岡雙葉高等学校 二年

初めての全国大会で、わからないことだらけのなか参加しまし

まず、普段からあまり電車に乗らないので東京駅で右往左往し なんとか辿り着いた宿舎でも、浴場が宿泊棟とは別の棟にあっ

たためにまた迷うことになってしまいました。 しかも沖縄と鹿児島のチームとあわせて4人で同じ部屋に泊 まったのですが、全員暖かい地域の人間なので、浴場やトイレに 行くため部屋を出るたびに寒さに苦労する羽目になりました。 しかし、各地方大会を勝ち抜いてきた人とご当地のお菓子を交 換しあったり、勉強しあったりするのは、普段あまり他校、他県の 人と会うことのない私にとって、とても楽しく刺激的なことでし た。不思議なことに、これだけがスマホが普及しているにもかかわらず同室の4人全員がガラケーユーザーで、大会に備えニュースを見るのも調べものをするのも新聞や教科書を使っていたた め、それぞれの学校の共通点や、意外な授業・習慣などの話をする きっかけにもなりました。

また、14日(2日目)の講演会もとても面白く、その後のプレゼ ンではさらに多くの人と、社会の変化に合わせた経営戦略について話し合う機会がありました。そこでは私が思いつきもしなかっ たような案が出たり、講演会で学んだことを踏まえた意見が出たりして、視野を広げることができたと思います。15日(3日目)に 行われた実際の大会自体はあまり良い結果を残すことはできま せんでしたが、とても良い経験ができました。来年も機会があれ ばぜひ参加したいと思います。

愛知大会代表 滝高等学校 二年

「ベスト9以内に入ったら何か奢ってあげる」「結果残さなかったら殺すから」などなど様々な煽りや激励や殺害予告を受けなが ら全国に送り出された私たち。正直ベスト9以内にも入れるとは 思っていなかったので、それ以上の全国第7位になったなんて未 だに信じれらません。けれど今思い返すと、なんだか笑いたいよ うな、泣きたいような、精一杯だった気持ちが蘇ってきて、大切で 大切で重い時間でした。そんな一生ものの思い出は、決して忘れ ることはないけれど、いつかこの文章を読み返したときに、(あぁこんなこともあったなぁ…)と思い出せるように事細かく書いて いこうと思います。とても長くなると思いますが、まずは地区大

カラック クイズ研究会の活動の一貫として参加したエコ甲には私もペ アもそこまで熱を入れていたわけでは無いので、対策は愚か、事前教材を開いたこともなく本番に。しかしペアが政治経済学年1 がない。 位マンだったので、運食く(?) 優勝してしましました。 私はペア の隣で座っていただけでした。) せっかく全国に進める機会をも らったのだから精一杯のことはやろうと意気込んだものの、何も 始められないうちにあっという間に時間は過ぎて全国大会2週間前になってしまいました。その時点での私の金融知力は赤ちゃ ん並みで、金利の意味も分かっていませんでした(一般常識の欠落)。そして全国ではペアに頼れない形式のラウンドもあると知り、そこから猛勉強を開始。学校の授業中を含めて平日も休日も 朝の4時までエコ甲対策しました。かなり頑張ったと思います。 (それまで何もやらなかった自分が悪いのですけど。)そしていよ いよ全国大会1月日。

行きの新幹線で知り合いの三重や岐阜勢に合流。いよいよ始ま るのか…と緊張感あらたに最後の復習に取りかかる私。気づいた

ら寝ていました。えへ。 東京で降り、新宿でカレーそばを食べて、参宮橋に到着。私たち は付き添いの内藤さんが諸事情により一緒に来ることができな かったので、宮城県代表のお方とご一緒させて頂き、宿舎へ。〈 じや予定の連絡や写真撮影などを済ませて部屋へ。部屋は横須賀、 宮崎西の方との4人部屋。クイズ関係で、もともと横須賀の子と は知り合いだったので、安心でした。3日間の間、横須賀の彼女に はいろいろお世話になりました。ありがとう~~。それと宮崎西のお二人、年上だったのですね。3日間タメロきいてすいませんでした。その後お風呂やらなんやら済ませて、エコノミカ交流会。 宮崎西のお二人と対戦したのですが、両方負けました。その後部 屋のメンバーとトランプしたりした後、次の日に備えて寝ました。

あんまり寝られなかったけど。 2日目。最初のステージはペーパークイズ。問題が難しすぎて 爆死しました。難易度が高いのは知っていましたが、ここまでと は思いませんでした…。自分の勉強不足を痛感したけれど、ここまで誰しいならみんな出来てないだろうし、大して差はつかないだろうと言い聞かせ、菊地さんの講演会。ここでは今後の社会で生き残っていくための企業の戦略などを教わりました。個人的には表したのとなりにはいません。 感動したのは、菊地さんが質問された後、それに対して瞬時に的

感動したのは、菊地さんが質問された後、それに対して瞬時に的確に答えていらっしゃることでした。 そして2日目の醍醐味!プレゼンクイズ!私たちF班は富山、福島、福岡代表の人々と同じグループに。お題は「2040年への大戦略!~あなたたち、日本の農家はどうする~」でした(意訳)。完全に初めましての人々とブレゼン準値は、遠慮やら、お題のアバケトさやらで意見が出なくて大変でした。大体の方向性が決まってきたところで残り時間は2時間。なんとか完成させ、最後はみんな呼ばがよい。

(さたここので残り時间は2時间。なんとか完成さむ、取像はかれなで階段ダッシュをして本部に駆け込みました。 プレゼン本番は、本物の投資家さんやら地方の銀行の付き添いの方の前で、緊張する時間でした。発表自体は富山代表と福島代表の方かうまくまとめてくれました。決められた時間内で、自分が話す時間や質疑応答を儲ける時間などを配分しなければい がなく、レベルの高いものを要求されているなど思いました。その後、立食パーティー。コネで(?)推測の貴公子と2ショットを撮らせていただきました。最高に嬉しかったです。ありがとうご

ざいます。そして2日目最後のイベント、エコノミカ大会!私の デッキは去年の愛知大会代表の方から受け継いだものだったので(共産党宣言は抜かれていた)、負けられないなと2戦挑みましたが1回負けましたw 山梨代表の方に負けたのですが、あ と少しで勝てそうだったのでとても悔しかったです。ペアはさすがという言うべき、2勝していました。推測の貴公子にも勝っ

こうして2日目のイベントは終了。睡眠確保のためにベッド

へ。 3日目。ニューヨーク行きのベアが決まる日。ここからは特に 思い出深いので、事細かに書いていこうと思います…。朝ごはん を食べたあと、荷物をまとめで少しの間も世話になった部屋に 別れを告げ、ホールに向かう一同、待機室でゼッケンの受け渡し や諸注意を受けたあと、いよいよ入場。2日目最初のラヴンドは 4 チーム同時に行う2 間限定早押しクイズ。早押しは普段から 慣れているので多少の自負はあったけれど、勉強不足を痛感し ていた私は極度の緊張で死にそうでした。心臓の音がバックン バックン聞こえてきて手がブルブル震えたまま、舞台へ。緊張で ボタンに手をかけたあと、問題が読まれる前に押してしまいま した。でもあれはちょっと力を入れるだけですぐについてしま うボタンだったです!(弁解)。気を取り直して1問目。「雇用保 険や累進課税にもこの働きがある…」でボタンを押しました。ペ アが。しかしボタンが着いたのは、となりの智辯奈良高校。「ビルトイン・スタビライザー!」の声とともに正解音。焦りつつも、次 マーク・スタビフィリー: 「JOJPとこもに上所音。無りフラも次の問題を何が何でも取るしかないと思い再び集中。「第二次世界大戦後の日本でもこの政策がとられていた…」で思い当たるものがありましたが、もう少し問題文を聞くことに。「生産の一部を…」でボタンを押しました。答えようと思うも頭が真っ白にな りド忘れ。ペアに「分かる?」と聞くも、「えっ分からない」との返 事。「なんだっけ!!シャケイなんとかみたいなやつ!!!」 「あ、傾斜のやつね。」「答えて!」「傾斜生産方式!!」そして正解 音。これぞペア戦!!ほっと一息つきましたが、昨日のペーパーが振るわなかった私たちは2問取りたかったと落胆。隣でペア が「なんでビルトイン・スタビライザーもっと早く押さなかった んだ…」と落ち込んでいました。感動したのは宮崎西の出ていた 回。「フランス語でお答えください。政府が…」でボタンを光らせ、 「レッセ・フェール!」で正解。会場にどよめきを起こしていました。ここで押す度胸と器量に感服です。 早押しの後は風説の流布クイズ。プレゼンのチームごとに行

平押しの後は風説の流布グイス。ノレセンのナームことに行いました。詳しいルールは他の人のを参考にしてください。私たちのお題は「辞書に載っている中で、○○貿易という単語をひとつ書きなさい。」というもの。今考えるとたくさんありますが、緊رの中全く思いつかず、ようやくひねり出したのが「バーター貿易」でした。なぜこの単語が出てきたかは謎です。判定は×。載っ 易」でした。なぜこの単語が出てきたかは謎です。判定は×。載っていませんでした。しかし告発が0だったため、ポイントは20人りました。運が良かった…。私たちの回では載ってない単語を書いたけれど、告発が0だったためにポイントが20入ったペアが多く、みんなで「ウェーーイww」と書びました。こうして午前のラウンドは終了。ここまでの結果で勝ち抜けチームが決まると思うと不安しかありませんでしたが、昼食中のスタッフさんのギャグやらなりといる。

後のラウンドのために再び会場入り。(昼食は少なかった。経費 削減かな(?))まずはプレゼンの順位発表。私たちは10グルー プ中7位。思ったより低くてショックでした。上位グループのクオリティが気になります。そして遂に勝ち抜け高校の発表。「40 ペアのうち20ペアは勝ち抜けです!]そして呼ばれ始める高校 名。祈る中、三番目に「滝高校!」「よっしゃ!」とガッツポーズを 取り、壇上へ。きっと勝ち抜け校の中で点数の下だったチームか ら呼ばれているのだろうな、と思い(よかったギリギリ通った…)とニコニコ。知識豊富な横須賀高校が呼ばれていないのが気 になりましたが、勝ち抜けた嬉しさで舞い上がる私。しかし次の 瞬間どん底へ突き落とされることに。なんと今呼ばれた高校は 敗退組だったのです。呆然とする舞台組と抱き合って喜ぶ客席 組。そして午後最初のラウンド、敗者復活戦の幕開けでした。1 問1答をローテーションで行い、2問答えられないとその時点 で即敗退が決定するルール。詳しくは他の人のを参考にしてく ださい…。すいません。復活できるのは20組中4組。5分の1の確率ですが、ここで勝ち上がるしかない!そして1巡目、私たち の番。「8番!」と問題番号選択後、いよいよ問題。「ベトナムで ・・・・」キタ!!!と思いました。ベトナムなんて答えはドイモイだ けです(偏見)。 完全に問題の当たりが良かったです。ドイモイ は地区大会の早押しでも出され、私たちが答えた問題だったのです。その後の問題文は全く聞いていませんでしたが、ペアと2 人で声を合わせて「ドイエイ政策!!!!! | 私たちの前に 正解していた昭和薬科の子と「絶対に勝ち上がろうね」と約束し ちでしたが、なぜかペアがマイクの前で答えが分かっていない ちでしたか、なせかペノかマイクの削で含えか分かっくいない ふりをしていたので少しだけ私も付き合い、そのあと二人で「バ ランスシート!」。正解音が鳴り、ガッツボーズをしました。こう して残りの高校が5つに。ここから1つ高校が落ちれば私た側 の勝ち抜けが決定する!不安の中、私たちの次の高校が回答側 に。そして不正解。ここで残り4つの高校になったので、私たち の勝ち抜けが決定しました。緊張感から解放され、安堵やらなに やるで思わず効いて「よいました、本当に増し、かったでまった。 やらで思わず泣いてしまいました。本当に嬉しかったです。たる ん3日間の戦いの中で一番嬉しかった瞬間です。そして同じく 勝ち抜けた高校の中には知り合いの洛北高校もいました。彼ら は勝ち抜けて当然へみたいな顔をしていました。もともと勝ち 抜けていた20の高校と合流した後、スタッフからペアの中で先 攻と後攻を決めるようにとの命令が。詳しいことは教えてもら えず、じゃんけんで勝った方が先攻になることに。じゃんけんの 結果、私が先攻でペアが後攻になりました。そして行われたのは 三択クイズ。5秒に1間のペースで12間出題されます。膠時の決断力と冷静さが必要とされるラウンド。しかもペア戦ではなく、個人戦でした。先攻と後攻を決めるというのはこのためだった

のですね。選択肢だけはあらかじめ見ることができるけれど、そ れも数秒。私が確認できたのはルーブルと並んだ数字だけでした。 あたふたしているうちに、三択クイズ開始。自分が予想していた 以上に時間がないので焦ってしまい、きちんと考えずに適当に札 を上げてしまったり散々でした…。しかしここでペアのすごさを 思い知りました。バタバタしながらも的確に札を上げ、11問は正 解していたかと思います。ちなみに二コ動で中継を見ていた友達は「坂見はまぁまぁ、志村はすごかった!!!」と言っていました。このラウンドで勝ち抜けられるのは12校中4校だけ。始まる前 は、私たちは一度負けているし無理だ…と思っていましたが、ペアの正答率の高さにほんの少しだけ希望が。そして勝ち抜け高校 の発表「最初の勝ち抜けは19点で栄東高校!]ここで、もしペアが11点だった場合、私は6点か7点を取ればいいのか…と計算 し、なんとも言えない気持ちに。(それくらい自分の正答率に自信がなかった)。そして2つめの勝ち抜け高校発表…「生まれ持った運か!!!」」と言われ、きた!!と思いましたが、隣には同じく 敗者復活からの洛北高校。しかも洛北のうちの一人は高校生クィ ズ優勝者の強者。しかし次の瞬間呼ばれた高校は…「18点!!! へ度勝者の畑者。しかしがの場合では「一高校は・・・・・ 「10点!!! 濃高校!!!!!!!!!!!!!!病信じられませんでした。ペアとハイ タッチし、とびあがって喜びました。奇跡だ〜。横須賀高校と洛北 高校はここのラウンドで敗退してしまいました。宮崎西高校は圧 倒かな強さを見せ、ここまでほぼトップで勝ち抜け。札幌南高校 も敗者復活から上がったのですが、ここも無事通通過。

そしていよいよ準決勝。これは全高校同時に回答するボードクイズ。英語で出題されたりといろいろありましたが、ここで私たちの勉強不足が露骨に出ることに。答えがまったくわからないも のや、ささいな覚えちがいなどで、ポイントはほぼ最下位。結果ここで敗退でした。準決勝で勝ち抜けたのは宮崎西高校と札幌南高 と (数度とびによる) からないためらないためられる神母高校とれば中間 校、宮崎西高校の二人は圧倒的な知識量を見せ1番に勝ち抜け 札幌南高校は判定で甲府南高校を倒し、決勝に進みました。甲府 南高校は前日のエコノミカ大会で対戦していたこともあり、残念 したが、同じく敗者復活から勝ち上がった札幌南を応援しよう と決めました。

と決めました。 そして決勝。最初は早押しボードクイズ。特に印象的だったのが札幌南高校の「日本語では「租税・・・」からの「タックスヘイブン」。 そして決勝の決勝、「論述クイズ」。お題はよく覚えていません・・・。 宮崎西高校からの発表。素晴らしかったです。とてもわかりやす く、時間通りに、お題に正確に沿って本当に完璧な論述でした。感 動しました。 そして札幌南高校。ギャクを入れつつ論述終了。優勝は宮崎西高校。圧倒的でした。完全勝利だと思います。私は彼女 たちと部屋が一緒だったので知っているのですが、事前教材も しっかり読み込み、消灯時間をすぎてもずっと二人で勉強してい ました。その努力の賜物だと思います。その様子を部屋で少ない ながら見ていたので、宮崎西高校が優勝してとても嬉しかったで すし、当然だと思いました。

そして表彰式。準決勝での最終的なポイントにより私たちは第 7位。統金の盾をもらいました。ここまでこられたのはベアのおかげですが、ぜんぜん勉強せずに(ベアも勉強していない)よくこ つまで勝ち残れたな、と思います。もしももっと前から本格的に 勉強を始めていたら、決勝くらいまではいけたのじゃないのか、 とも思いますが、個人的には大満足の結果です。たとえもし決勝 にいっても宮崎西高校のあの論述にはとうてい敵わなかったで

~。 そしていよいよお別れ。横須賀高校の子と抱き合って検討をた たえ、必ずまた会おうと約束して、会場をあどに東京駅へ。浜田スタッフが迷子になりました。しかも新幹線が1時間遅れ。待ち時間でおみやげを買ったり、連絡先を交換したり、今思うともっと

遅れても良かったのに!って感じです。 こうして私たちの甲子園は幕を閉じました。ほんとうに濃い3 日間でした。きっと普遍に過ごしているだけでは体験できないような達成感、喜び、あそこで感じた全てが新鮮で、大きくて、熱い

そして、愛知銀行の内藤さんには大変お世話になりました。バ レンタインにはプレゼントを用意して、写真もたくさん撮ってくれ、私たちが勝ち抜けた時には一緒に喜んで、負けたあとでも褒 めて、最後まで気を遣って下さり、本当に優しく私たちを支えて 下さいました。最初で最後(と思われる)のエコ甲、内藤さんが一 緒にいて下さって本当に幸せでした。一生忘れないです。ありが 場合でしていました。いつか恩返ししたいです。いつか。たぶん。 最後の最後になってしましましたが、金融知力普及協会の皆様、 学生スタッフの皆様、このような大会を開催してくださって、こんなに大きな思い出を頂いて、本当にありがとうございました。 学生スタッフの皆様はフレンドリーで、優しくて面白くてとてもかっこよかったです。(特にてるさんにはお世話になりました。) 言葉にできないくらいの感謝の気持ちでいっぱいです。いつか私 も必ずスタッフになって一緒に大会を作り上げるので、待っていてください!!本当にありがとうございました。

愛知大会代表 滝高等学校 二年

エコノミクス甲子園の感想を書けと言われたが、いい思い出な んかさっぱり浮かんで来ない… むしろ、僕なんかがあの舞台にいたことが、なんだか場違い

むしろ、僕なんかがあの舞台にいたことが、なんだか場違い だったように思えてきた。この大会で多くの選手たちと交流して、 みんながそうとう勉強してこの場に臨んでいるということが、ひ しひしと伝わってきた。予想問題を2000問(うろ覚え)作ってペ アの人と出し合っていた人たちや、仲間と一緒に模擬大会をやっ て実践的な対策をしてきた人たちまでいた。それなのに僕は、正 直言うと何も勉強しなかった。大会前にいろいろな教材をいただ いたが、1冊も話さなった。みんながこれだけこの大会に懸け ファッ・フェアいるといるのに、他の相手も一件医の触なピーアきゃ てやって来ているというのに、僕の相方も一生懸命勉強してきたのだろうに、僕はこんなんで、とても恥ずかしく、申し訳ない気持 ちでいっぱいになった。

大会で準決勝まで残り、統金の盾をいただいたが、僕の心の中には何も残らなかった。この大会に何も懸けてこなかったからだ。 振り返ってみれば、僕は今まで何もかもが中途半端だった。小学 校1年生の時に習い始めたそろばんも、段位も取らずに2年でや めてしまった。中学生の時には部活でロボットコンテストに参加 していたが、積極的に活動することはほとんどなかった。何かに向かって本気で努力した、そういう思い出は1つもなかった。こ のまま過ぎていってしまって、本当にそれでいいのだろうか

大会が終わった後のみんなの表情は、嬉しかったり、悔しかっ たり、さまざまだったけれど、思いをぶつけやり切った充実感で 輝いていて、眩しかった。僕も、あんな気持ちになってみたい。

僕は、来年、今度は必ず本気で勉強し、この大会に戻ってきます。そこで例え準決勝まで行けなくても、地区予選で負けてしまっても、きっと僕には大切な思い出になると思います。そして、 今回出会った全ての方々に、偽りの気持ちなく感謝することが できると思います。

三重大会代表 三重県立川越高等学校 二年

地区大会は、私たちの学校からは4組のチームが出場していま した。他は、まぁ言っても分からない高校ばっかりだと思いますが、某商業高校だったり、某女子高だったり、レパートリー豊か な面子でしたね。地区大会で、これだけレパートリー豊かなのだから、全国はもっと面白いだろうなと思っていました。

私は今回、「全国」という舞台をこのエコノミな甲子園で初め 「経験しました。最初は「他県の人たちとうまく話せなかったらどうしよう・・」という気持ちもあったのですが、いざ会ってみる と、皆やっぱり同じ人間なんだなと思い、気軽に話せました。そ のおかげもあって、全国大会は、負けてしまったけれども精一杯

楽しめました。 それでは、このエコノミクス甲子園の私なりの感想を。まず、1日 目。朝の9時過ぎに(だったかな?)いきなり始まるペーパークイズがありました。当日、どんなクイズをやるか聞かされてないので、本当にいきなりなんですよね(笑)。そして、これがまた難し い。実は、この時からすでに自分の学習不足を目の当たりにしました。その後は、ロイヤルホールディングスの代表取締役の菊地唯夫様から今の日本の問題や、経営をしていくにあたっての戦

職などの講演をしていただきました。この話は今までに知らないことがたくさんあって、驚きが大きかったですね。 その次はプレゼンクイズ。自分の中ではこれが1日目の一番のイベントだと思いました。これは、グループに分かれて、そ れぞれに与えられる「職業」について、今から25年後、つまり 2040年に向けての大戦略を考えるというものでした。ちな みに私たちのグループは「農家の後継ぎ」というものでした。最 みに私たちのグループは「展家の技能さ」というものでした。取 切は、すぐにできると思っていましたが、まったくできません でした・・・グループの人には役に立てずに申し訳ない気持ちで した。このプレゼンクイズ、制限時間があって、確か大体4~5 時間ぐらい。その間に、グループで戦略を練って、模造紙にポス ター形式にして書き上げるんですよね。戦略の案を出そうにも これがまた難しい。時間がたつにつれて、焦りも増して余計に悪 化するんですよね。それでも、他県の人が引っ張ってくれてなん とか完成にまでたどり着くことができました。この場をお借り ていいますが、今回同じグループになった皆さん。本当にあり がとうございました。

さて、次に前夜祭ですが、この時にプレゼンの時に作ったポス ターを発表するんですよね。しかも、その発表の相手がすごくて、 マニュライフ生命という会社の社長だったり、それこそ超ビッ

この時私は発表する人ではなかったのですが発表しているの

この時私は完成する人ではなかったのですが完成しているのをみて、とてもハラハラしていました。あ、それと、ご飯すごくおいしかったです。ありがとうございました。 そして、二日目。とうとう全国大会のメイン会場にやってきました。前のステージは思ったよりも広く、横に垂れ幕?が下がっていて、「ああ、全国なんだな」という気持ちになってしまいまし

た。(まだ始まってないのになにかんがえてるんだか。) 1 Rは、早押しクイズでしたね。その問題数なんと、1グループ につき、2問!たったの2問なんですよね。これは正解しなければ。 と思いながら挑んだのですが悲しいことに、一問も答えられま

その後も、努力はするものの、敗者復活戦で敗退しました。い

や一悔しかった。 まあ、そんなこんなで全国大会も終わりに近づき、とうとう決 勝戦。その舞台に立つのは、宮崎県と北海道でした。そして、決 勝戦の内容は、論述クイズ。最初、論述と聞いて、どんなふうに 勝戦の内谷は、編曲グリス、家板()、編述と関いて、こんなぶつにかるんだろうかと思ったのですが、最初の10間ボードクイズで NGワードを決めていくと言った感じで、それに応じて論述を考えていくというものでした。この時の宮崎の薬晴らしい論述といったら・・・もう格が違いましたね。 最終的には、宮崎の優勝で幕をおろしました。宮崎の二人、優

勝おめでとうございます。 実はこの後、新幹線が止まったとかはそれはまた別の話・・・と

いうことで、今回のエコノミクス甲子園はとても楽しめました。こ もからた、この知識が役立つことがあれば使っていきたいです。 また、いつかこの大会のスタッフもやりたいと思っています。こ のような素晴らしい大会を開いていただき、ありがとうござい ました。皆さんにまた会えることを願っています。

三重大会代表 三重県立川越高等学校 二年

昨年三重県代表になった先輩方に続いて全国大会に出させていただきましたが、この大会は私にとって後悔と反省の連続でした。まず初日にはスーツケースを忘れかけ、全て用意したと思ったら最後の勉強に持って行こうと思った教材を忘れました。東京では青森と埼玉の人と同じになりましたが緊張していてあまり挨拶ができませんでした。二日目は筆記から始まりましたが、とても難しく、勉強時間の少なさを痛感しました。その後講演を受けてから、プレゼンテーションの準備を始めました。私たちのチームは農家の後継者の2040年への戦略というテーマでプレゼンをしましたが、プレゼンがぎりぎりまで完成せず、発表はプレゼン経験のあった私がしたのですが緊張してしまい。 表はプレゼン経験のあった私がしたのですが、緊張してしまい、 結果としてチームの皆さんの足を引っ張ってしまいました。 三日目の全国大会本番では最初から押せる問題に恵まれず、

あるいは押せる問題をど忘れしてしまい、敗者復活戦でも敗退 してしまいました。

しかし、逆に来てよかったと思うこともありました。初日では しかし、近に来くよかったと応りことものかました。初日、ためまり話せなかった青森と埼玉の人とも、二日目の夜はエコノミカをしたり、クイズの話題などで話すことができました。二日







目のエコノミカ交流会でも負けはしたもののエコノミカの話題 で大学生スタッフや他の学校の人と話すことが出来、エコノミカの力は偉大だと思いした。帰り際に新幹線が遅れるというトラブ ルがあったものの、その際の空き時間で東海道新幹線で帰る人と 話すことができ、私は人と話すことが少し苦手なのですが、今回 の大会で以前よりは人と話せるようになったかな?と思ってい

ます。 それと最後にこの感想を見るかもしれない後輩たち、あるいは 三年生になっても出場する同級生の皆さんへ、出発時の持ち物確認は最低でも二回はしておくべきです。

大阪大会代表 開明高等学校 二年 亀田 純太郎

自分の所属している学校のクイズ研究会では、昨年からクラブ 全体でエコノミクス甲子園に参加することにしています。 今回予選大会で何とか優勝することができ、全国大会へ出場さ

せて頂きました。 二日目のプレゼンアクティビティでは、青森、宮城、秋田の代表 の方たちと同じ組になりました。課題テーマと相まって、日頃、大 版でボケッと生活しているだけではわからないようなこともたくさん知ることが出来ました。

くさん知ることが出来ました。 大会本戦は第一ラウンドを突破したものの、 第二ラウンドであえなく敗退し、続く第三ラウンド以降の戦いを 見て、自分の実力の無さを思い知らされました。もっと対策していれば・・・今から言ってもどうにもならないことですが。 後悔することもありますが、三日間を楽しむことが出来ました。

初めての東京、それまで知らない人との共同での生活や作業、として大会本番の戦い。大会から帰ってから、自分の視野がより広 くなったような気がします。エコノミクス甲子園全国大会の代表 になる、というこの貴重な体験や、エコノミクス甲子園に参加す る中で手に入れた金融知力を今後に活かしていきたいです。 三日間、スタッフの皆さんにはとてもお世話になりました。浜田さんがかっこよくて眩しかったです。いつの日か自分もスタッ フとしてエコノミクス甲子園を支える立場の人間になりたいと

大阪大会代表 開明高等学校 二年

去年は地方大会の予選で敗れ、行くことができなかった全国大 会に行くことができてよかったです。東京では、あまり観光することもなかったので3日間を通じて東京にいた感じがあまりし

東京に着いて2日目の朝からいきなり筆記テストで全国大会 に来たという感じがしました。朝から頭が覚めてないなぁと思 いながらとても難しい問題に頭を抱えました。そしてその後、ロイヤルホールディングスの社長のお話があり、午後から翌日に得 1 マルホールティング人の社会のお品があり、干傷から登口に特点が引き継がれるプレゼンウイズの準備をしました。チームのメンバーは青森 秋田、宮城の方々と一緒だったので、あぁ、東北の人多いなぁと思いました。プレゼンの準備は秋田の方と宮城の方を中心にうまくまとめてくれました。全10チーム中5位でした。夜にはエコノミカ交流会で惨敗しました。相手が強すぎまし た。2試合とも5分で終わりました(笑)。3日目は、朝から周りの 緊張感がすごくて圧倒されました。最初の早押しクイズでは「た んす預金 | を惜しいところで取られましたが、2問目の「ソルベン シーマージン比率」を相方がとてもとても早いところで押して答えてくれたので良かったです。その後の「風説の流布クイズ」がス - ジに上がっていない高校生も参加型でとても盛り上がって しかったです。午後からは予選通過者の発表。自分たちのチー ムが予選を通過してるとも思っていなくて、まさかステージ上に 上がったチームが敗者復活ラウンドに行くとは思いませんでした。そこで緊張が途切れ次のラウンドは1分間に12問3択で選

ぶクイズは散々な結果でした。 こういった感じであっという間の3日間でした。高1以来やっ てなかった経済が改めて楽しいと思いました。テスト前にニコ生 で見てくれた学校の友達、ありがとう。後、学生スタッフの浜田さ んがかっこよかったです。

奈良大会代表 智辯学園奈良カレッジ高等部 一年

先日、僕たちは、奈良県代表として、エコノミクス甲子園の全国 大会に参加してきました。正直、地方大会を勝ち抜けると思って いなかったので、二人とも、とても驚きでした。

1日目は東京の宿舎に着くと、もうとても遅い時間だったで、 すぐに寝ました。

2日目、朝早くから研修室に行くと、筆記試験が用意されてい ました。エコノミクス甲子園のFacebookでも今年の問題は難し いと聞いていたのですが、本当に難しくて、マーク問題も文章を 書く問題も、ほとんどわかりませんでした。それでも全力を尽く して、最後まで諦めずにできたと思います。

午後からは、4チーム1組で壁新聞を作りました。急に知らない人たちとチームを組まされたので、なかなか意見が出ず、僕も ちょっと消極的になってしまった節があったように思いますが それでも、目の付け所は良かったと思うし、なかなか満足のいく 発表ができました。

飛衣ができました。 3日目、ついにエコノミクス甲子園の本戦がありました、早押 しは一つ答えることができたのですが、第二ラウンドでは焦って しまって間違えてしまい、結局順位が2つ足りずに第3ラウンド へは進めませんでした。敗者復活戦でも、ほんとうに惜しいとこ

ろで負けてしまってとても悔しかったです。 結局予選敗退という残念な結果に終わってしまったのですが、 エコノミクス甲子園の全国大会で得たものは大きかったと思い ます。知らない人たちとブレゼンを作ったのもいい経験だったと思うし、僕たちが敗退してからの本戦も、見てると非常にレベル

が高く、驚かされました。 また、このエコノミクス甲子園に向けて勉強してきた金融知力 も、これから僕たちが詐欺にかからないように注意したり、損を しないための自分の資産の運用方法を考えるときなどに、非常に

役立てることができると思います。 僕たちはまだ高校1年生なので、来年もチャンスがあります。 激戦区と言われる奈良大会を勝ち抜くことは至難でしょうが、これから1年勉強し直し、また来年、東京で雪辱を晴らしたいです。

奈良大会代表 智辯学園奈良カレッジ高等部 一年

私はもともと経済には興味がなく、このエコノミクス甲子園が 無ければ進んで学ぼうと思うことなどなかっただろう。 しかし、出場してみよう、と友達に誘われ勉強をすることで、経

しかし、口場しくみよう、と及進に誇われ勉強をすることで、経済学の面白さ、また、奥深さが分かった。 それによって、今の世界の動き、日本の動きがより分かるようになり、ニュースや新聞も読むようになった。 それだけではなく、校内予選を通して、今まであまり関わりの

なかった仲間や先生と出会うことができた。 また、その仲間や地区予選で一緒に戦った仲間に「全国でも頑

張っていください」と言われたものの、予選落ちという不甲斐ない成績に終わってしまったのは本当に申し訳ないと思った。 しかし、この悔しさを糧に来年も全国へ行き、今回の悔しさを

晴らしたい。 最後に、この素晴らしい大会を主催してくださった方々、また、 影で支えてくださった大学生スタッフのみなさんに感謝申し上 via y。 本当にありがとうございました。

鳥取大会代表 鳥取県立鳥取西高等学校 二年

エコノミクス甲子園本戦出場を決めた時去年の予選のことが 頭に浮かんだ。たまたま学校の掲示板に貼ってあった要項を見て、 経済に興味があったので同じクラスの三浦くんを誘ってこの大 会の地区予選に参加した。予選では決勝ラウンドで一つの凡ミス により勝ち上がることができなくて非常に悔しい思いをしたこ

とを覚えている。そして今年は、傾向を把握できたため少ない勉強時間で予選を勝ち上がることができた。 本戦は1日目がとにかく忙しかったことが印象に残っている。 その中でもプレゼン発表が自分の中でこれからに繋がる大きな 財産になったと思う。プレゼン準備は三浦くんと二人で中心にな る意気込みで臨んだのだが、自分達の班は3年生が3人もいて、正直この大会に懸ける思いに圧倒され何も言えない時間もあった。 しかし、言いたいことは言えたし県外の高校生と触れ合う貴重な 機会だった。2日目は第三ラウンドで敗退してしまい、次に進め なかったことに対してあまり悔いは残っていないが、白分が隹り 過ぎて簡単な問題を間違えたので相方には申し訳なさが残って

このチームは二人とも運動部に所属しているということが あって、言い訳かもしれないが満足に勉強時間はとれなかった。 でも隙間時間を活用したり、昼休みにエコノミカをする等この大 会に向けて対策をしたりと金融知力を高めた時間は掛け替えの ないものになった。ただ、学校ではそれなりのキャラを築いてい た二人にとって昼休みにエコノミカは周りの視線が少々痛かっ

- 最後に。この場を借りてスタッフ及びこの大会の関係者にお礼 を言いたいと思う。この二日間の為にどれだけ準備に時間を費やしたか出場者には計り知れません。この大会のさらなる発展を 祈っています。ありがとうございました。

鳥取大会代表 鳥取県立鳥取西高等学校 二年 三浦 和真

僕は、昨年、県大会で敗退した悔しさから、今年も再び参加し 念願の全国大会に出場させていただいた。昨年の敗因は、基礎事項の不徹底にあったと思う。「スタグフレーション」―――たったそれだけの言葉すら答えられなかったのを今でも覚えている。初 出場、1年生ということで緊張してしまい、思うように力を出し きれなかったことも敗因の1つだ。リベンジに燃えた今年は、対 策として基礎事項に重点を置き勉強し、落ち着いて県大会本番に

。 念願の全国大会出場権を得て、いざ東京へ。全国大会を勝ち抜 く自信はなかったが、同じ志を持ち地方大会を勝ち抜いてきた高校生たちと交流し、考えを深めたり、視野を広げたりすることを 楽しみにしていた。 1番心に残っているラウンドは、プレゼンテーションだ。生ま

れも育ちも全く違う、見ず知らずの4チーム8人のメンバーで、与 えられた職業の立場から2040年へ向けた見通しを立てるというものだった。自分のチームは3年生が多く、始めは意見を1つ言う ことにもためらいを感じていた。しかし、自分の多くはない知識 を総動員させて出した意見をメンバーが認めてくれたり、話し合いが軌道に乗ってきたりするにつれ、自分もグループの一員とし て、堂々と振る舞えるようになっていた。話し合いの中では、自分 と似た考えの人もいれば、自分が全く考えつかないようなアイデ アを出す人もいて、自分の未熟さを実感するとともに、広い世界 にふれ高揚感を味わった。多種多様な考えとは反対に、チームの 結束力は高まっていった。設定時間が短い中、最後は模造紙に走り書きだったが、なんとか書き終えた。しかしここからが正念場。 発表までの時間をフル活用し、何度も練習した。5分という限ら れた時間の中で、いかにうまく伝えられるか。要約って大切なんだなぁ、などと感じているうちに発表の時が来た。自分たちが考 え抜いたアイデアだ。各々が担当箇所を堂々と発表し、質問にも なんとか答えることができた。伝えたい、その一心で発表したし、 周りのメンバーからもその思いはひしひしと伝わってきた。発表

が終わったときの充足感は、苦労したぶん大きなものだった。 そのプレゼンで1位だったこともあり、自分は予選を5位で通 過したが、続くラウンドで敗退した。その後のラウンドを観戦し 週したが、続くファントで収返した。その後のファンドを戦戦した。 たが、到底自分が勝負できるレベルではなかった。自分が知らない言葉だらけだったにも関わらず、出場者の正答率は高く驚いた。

やはり自分はまだまだだと感じた。 自分がこのエコノミクス甲子園で得たものは何だろう。高揚感 に満ちた全国大会を経験できたことはもちろんだし、日本全国の

高校生と交流できたことは貴重な経験だった。しかしそれ以上に、 高校生と交流できたことは貴重な経験だった。しかしそれ以上に、 社会を見る目が変わったことが、自分としては大きく感じる。少 し知識を身に付けただけでも、ニュースなどへの関心はまるで進 うし、理解しながらニュースに触れることで自分の考えも持てる ようになった。しかし、経済に興味のある自分がこう感じるなら、 興味のない人はどうだろう。エコノミクス甲子園で学べることは どれも、今の社会を自立して生きていくためには必要不可欠なも のだと思う。だから、自分たち高校生はもっとを融や経済につい で積極的に知っていかなければからないと思った。それと同時 て積極的に知っていかなければならないと思った。それと同時 に、学生が金融や経済に触れる機会をもっと増やしていくべきだと感じた。自分にその機会を与えてくれたエコノミクス甲子園の 存在、そして学生スタッフの方々を始めとしてこの大会を支えてくださった人には感謝している。また、同室の方、プレゼンのメン バーを始めとして、出場した高校生の皆さんにも、たくさんお世話になったし、たくさんの考えに触れる機会をいただいた。そして、昨年、この僕をエコノミクス甲子園に誘ってくれて、共に戦っ てきた親友には本当に感謝している。ありがとう。お世話になった全ての人に感謝して、これからも金融経済のみならず、あらゆる面で自立した人間として社会を生き、担っていけるよう努力を

島根大会代表 島根県立松江商業高等学校 三年

私がエコノミクス甲子園に出場したのは、学校の先生から勧め られたからでした。その時に初めてエコノミクス甲子園という大 会のことについて知りました。島根県予選は出場者数の少なさか

るのでは、これであった。 もか奇跡的に全国大会へ出場することになりました。 移動日は1日中歩き回ってやっと宿舎に到着しました。そこで 最初の驚きがありました。みんな移動で疲れているはずなのに早 押しクイズを始めたり消灯時間ギリギリまで勉強していたことです。他県の代表の方達の意識の高さはみならわなければと思い

2日目はいきなり筆記テストで動揺しました。その後のロイヤ ルホールディングスの社長の講演がありました。私は経営につい て学んだのはこれが初めてでしたが、利益の大きさにも法則性みたいなのがあることを知りました。やはり何事にも目標を立てて 計画的にすることが大切なんだなと感じました。その後にブループに分かれて行った2040年への経営戦略はとても楽しんで取り 組むことができました。私のグループは大手電機メーカーの社長 として戦略を考えました。ブレーンストーミングやSWOT分析を利用しながら案を出しました。その時に他のメンバーがこれから はこういったことがあるからこんな事が必要になってくるのではと、私が思いもしなかった考えをいくつも出していて、とても勉強になりました。また、商工会の会長や市長など、異なる立場か るこういった事を考えるのは面白いなと思いました。その後発表がありようやく解放されると思いきやエコノミカの対戦があり ました。事前に徹夜でルールを覚え相方と練習したのですが、不調で全敗でした。しかし他の出場者や学生すたっふの方と交流で き楽しおことができました。

そして迎えた本番、早押しの反応の速さに圧倒され、頭が真っ 白になって答えが思いつかなかったり運悪く結局誰も答えられ

日になって合えか思いつかなかったり埋悉く結局離も合えられなかった問題を選んでしまったりしました。不甲斐ない結果で応援してくれた方には申し訳なかったです。 私は高校3年生ですがエコノミクス甲子園に出場していたのはほとんど1・2年生でした。しかし、学年関係なくとでも努力していて尊敬しました。私は進学せず就職しますが、金融知力は必 要なことだと思うのでこれからもそれについて勉強し続けたいと思いました。また、様々な立場から経営戦略を立てたように自 分の地元でもそこに合ったこれからを考え行動し貢献できたら

予選のときから運営などお世話になりました。皆さんのおかげでとても楽しむことができました。これからも頑張って下さい。

島根大会代表 島根県立松江商業高等学校 三年

私がエコノミクス甲子園に出場しようと決めたきっかけは学 校の先生に出場してみないかと誘われたためでした。それまでは このような大会があることもしらず、経済に関しても正直あまり

興味関心がありませんでした。 地方大会当日は前日まで定期試験があったため、勉強不足で 自信は全くありませんでした。しかし、島根県大会は参加者が少なかったのもありますが、ある高校と接戦の末なんと優勝してし まったのです。悔しがる対戦チームの姿を見て、負けてしまった チームのためにも全国大会では精一杯の誠意を見せなければならないと思いました。そしてなにより、地方大会を通して経済に 関する興味関心が強くなり、もっと勉強してみたいという気持ち

が沸いてきました。 そして私は全国大会出場が決まってから経済についていただ い教材をもとに少しずつ勉強を始めました。初めは知らない単語 ばかりが並んでいて挫折しそうにもなりましたが、ふとテレビで ニュースを見ていて自分が勉強した経済のことについてビック アップされ、その話されている内容が理解できたときは嬉しくて たまりませんでした。勉強を進めていくと同時に経済を学ぶこと の楽しさを知ることができたと思います。 そして大会当日。私のこの大会での目標はニューヨークとま

ではいかなくとも、自分が勉強したことを十分に発揮し、大会を 楽しめたらよいと思っていました。しかし、まわりは頭の良さそ うな人たちばかりで本気でみんなニューヨークを目指し、休憩時間にも関わらず黙々と勉強する姿には非常に意識の高さを感じ ました。大会では私はやはりまだまだ周りに比べたら勉強不足で、 ました。大会では私はやはりまだまだ周りに比べたら勉強不足で、 結果は予選敗退。周りの凄さに圧倒されてばかりでとても悔しく かったです。ですが、私が目標としていた勉強したことを自分な りに十分に発揮すること。そして、大会を楽しむことは達成でき たのではないかと思っています。3日間共に頑張った出場者の皆 さんとは仲良くコミュニケーションもとれましたし、何より大会 自体を楽しむことができました。このような大会を開催して下 さった金融知力普及協会のみなさんをはじめスタッフのみなせ成 オープ・アーフ・2〜2円 平側に関わったオペアの姿さんとは感 ん。そしてエコノミクス甲子園に関わったすべての皆さんには感

謝の気持ちでいっぱいです。 また、島根県大会はまだまだエコノミクス甲子園の知名度が低いのが現状です。なので、これから回を重ねていくごとにもっともっと経済に興味関心のある人が増えて、いつか島根県大会出場者が優勝、ニューヨーク行き決定!…なんてなる日が来ることを願っています。私は現在高校三年生で4月から就職し、社会人と なります。スタッフとして直接エコノミクス甲子園に恩返しする 事はできませんが、何らかの形でまたエコノミクス甲子園に関わ り、協力する事が出来たらいいと思います。 ありがとうございました。

岡山大会代表 倉敷市立精思高等学校 三年 岡本 秋星

エコノミクス甲子園全国大会に出場して、私は2つのものを手 に入れました。

のニュース、過去問題などを活用して経済・金融の知識を得ることが出来ました。また、私の通っている精思高校は平成25年度・26年度と金融・金銭教育研究校として、日々の授業のなかで金 融教育を実践してきました。このような恵まれた環境の中で、全 国大会という目標に向かって学ぶことができ、結果として将来役 に立つ金融知力を高めることができたと思います。

2つ目は、新たな交友関係です。全国大会2日目に行われたプ レゼンテーションでは、初めて知り合った他校の生徒と協力して 4時間という短い時間の中で意見を出し合い、2040年に向けた戦略を練る、という初めての経験をしました。はじめは中々打ち解けることができず、準備が捗りませんでした。しかし、徐々に 方、力を出しきった時の達成感などを仲間たちと共有することが できました。 また、スタッフの方とも3日間を通して交流を図ることができ

ました。大会終了後もSNSなどを活用して、交流を更に深めています。エコノミクス甲子園全国大会は、全国大会経験者がスタッ フとして大会運営や、問題作成などに取り組んでいます。その為、 仲間意識が非常に強い事が特徴です。このような良い関係が築け ているからこそ、素晴らしい全国大会が開催できるのだと思いま す。私も大学に進学した暁には、スタッフとして大会運営の一助 となりたいと考えています。

最後になりましたが、地方大会から全国大会まで準備や運営、 または協賛して頂いた全ての方々のおかげで、一生の思い出に残る体験をすることが出来ました。ありがとうございました。

岡山大会代表 倉敷市立精思高等学校 三年

私たちはエコノミクス甲子園全国大会に定時制高校として初めて出場することができました。私は大会を通じて、ペアを組ん

のに口鳴することができないたの知め八五 - 四回さい、 フェール た岡本君に頼りきりで、勉強不足を痛感しました。 全国大会では、まずバレンタインブレゼントとして筆記問題を 配られた時は、かなり精神的攻撃を受けました。問題の離易度は

予想以上に高く太刀打ちができませんでした。 その後のプレゼンクイズは、この全国大会の中で最も苦戦しま した。プレゼンに向けて限られた時間の中で資料を完成させなければいけないにもかかわらず、グループになってから、しばらく無言の状態で作業が進みませんでした。しかし、ペアを組んだ岡 本君が話題を切り出し、順調に話し合いが進み、制限時間直前に 何とか完成して、とても安堵しました。あまり個人的には役に立 てませんでしたが、この活動を機に他県の選手との交流ができ、 通常の高校生活では味わえない貴重な体験ができました。

そして3日目の本選では、ニコニコ生放送があると聞いていたこともあり、とても緊張した状態で、早押しクイズに臨みました。 他県の選手は目にもとまらぬ速さで解答し、私たちは解答を口に する間もなく終了してしまいました。その後の敗者復活でも善戦 はしましたが、決勝ラウンドには進むことができませんでした。 最多出場の岡山県代表として出場したにも関わらず、目標が達成できなかったのは残念ですが、少しでも金融や経済について勉 強する機会が持てたこと、そして世界が広がったことが私にとって大きな財産となりました。この大会を運営してくれるスタッフの方々の皆さま、ありがとうございました。

広島大会代表 修道高等学校 二年

予選の約一か月前に政治経済の先生にエコノミクス甲子園を 紹介されて、出場することを決めました。しかし、当時の僕はチャレンジ精神が豊富なだけで、新聞やニュースを見る習慣がなくて 以上の19相呼が最高はたいで、新闻でニュースを見る首頂がなく 現在の総理大臣の名前も怪しく、「金融知力ゼロ」どころか、今日本で何が起こっているかも全く分かっていませんでした。しかし、申し込んだ以上、なんとかしなければなりません。その日から新聞を読み始めたり、政経の教科書を読みこんだりと自分なりに頑 張ってみたところ、ペアの三浦の力もあって全国大会に進めるこ

全国大会では驚かされることばかりでした。まず、2日目のプ レゼンのレベルの高さ。作っている間の話し合いも「こんな案も あるのか」と感心しているばかりで何もできず、自分の無力さを 痛感しました。3日目に最初に行った早押しでは、対戦相手は押 すのが早いだけでなく、答えも正確で、手も足も出ず終わってしまいました。この影響もあり、予選落ちしてしまいました。なんと か敗者復活戦で残ることができたのですが、第3ラウンドの「タ イムイズマネー」でテンパってしまって、敗退。ふがいない結果に 終わり悔しかったのですが、とても楽しく、貴重な体験ができた と思っています。 最後に、スタッフの皆さん、中でも気にかけてくださった山根

先輩、藤井先輩、もみじ銀行の前川さん、去年の広島代表としてア ドバイスをして下さった白部さん、中本さん、本当にありがとう ございました。

そして一緒に戦ってくれたペアの三浦、本当にありがとう。

広島大会代表 修道高等学校 二年

私たちが、この大会を知ったのは、学校での紹介があったから です。そして地方大会で運良く優勝し喜んだものの、青くてあつい本3冊をわたされこれで勉強するよう言われ、そこからもう全 国大会のレベルの高さを思い知らされました。

国人長のレベルの高さを思い知らされました。 一日目、わくわくしてたのは、宿舎に着くまでで、その後は、知らない人と相部屋だったりと何かと緊張してしまいました。そして二日目、僕たちは、エコノミカを持参して早くしたいと思いましたが、その前に、筆記にプレゼンに前夜祭とあたふたして疲れ 果でました。その後、エコノミカで4勝しましたがどうやら、結果 に関係なく、プレゼンでなかなかうまくいかず、この大会で一番 疲れた日となりました。三日目、遂に本番やっと本番と気合いを いれ挑みましたが、早押しが二間ともとれず、他のクイズもあまり出来ず、うまくいきませんでした。そして昼食後ステージに呼 ばれ、予選通ったと思えば、実は予選敗退し、敗者復活戦で上に行くも、タイムショックのようなクイズで敗退といろいろありました。しかし自分が全国レベルで戦えたのは嬉しかったし、やっぱ り全国はちがうとも思いました。三日間で貴重な体験ができ、知

識もえられよかったです。 最後に、自分より頑張っていた相方の村上、もみじ銀行の前川 さん、大会スタッフの方々本当にありがとうございました。

山口大会代表 山口県立宇部高等学校 三年

【出来れば、三年連続の全国大会出場と行きたいところなのですが、受験も控えていまして、第九回への参加は厳しい模様でございます。ただただこれだけが心残りです。】 去年の感想文にはこう書いておりました。

去年の感想又にはこう書いくおりました。 どんな心境の変化でしょうか。白々しいにもほどがありますね。 ですが、三年かけたなりに得たものもあったように感じます。 今まで二年間ポスターセッションでもあまり言いたいことがう まく伝えられず、得点に結びつかないことが多かったのですが、 三回目にしてようやく自分の意見をうまく整理して伝えること ができるようになりました。そこに自分の三年間での成長を感じ

また、おそらく一番多くの人の印象に残ったであろう第三ラ ウンドでは、パートナーとバラバラになってのクイズに挑み、プレッシャーのかかる戦いを強いられました。確かにこのラウンド こそが経験、知識においてアンバランスな私たちのチームにとって鬼門ではありました。しかし、このラウンドで、自分自身の力を示し、全国を勝ち抜いたチームを破ったことは、互いに大きな自 信になったと思います。 そして何より、地元に閉じこもっていては決してあり得なかっ

たたくさんの出会いがございました。

たたくさんの出会いがございました。 こうしたことは経済とは無関係なのかもしれませんが、私に とっては一番大事な収穫だったと思います。 もちろん経済の勉強だってちゃんと役に立っていますよ。家選 びやローンの組み方といった具体的なところは当然のこと、より 広い範囲つまり為替や株価の変動にアンテナを張るといったと ころまで勉強が活かせているつもりです。 まあ、こういったマクロな視点がしっかりと見据えられるよう

にたるにはまだまだかかりそうではありますが. これからはこの楽しい経験を後輩たちに体験してもらうお手 伝いが出来ればいいなと思います。

山口大会代表 山口県立宇部高等学校 二年 望月 沙夜加

私はこのエコノミクス甲子園をとおして、とてもいい経験、そ していい思い出になったと感じています エコノミクス甲子園に出るようになったきっかけは先輩に誘

エコノミクス甲十國に出るようになったきっかけば无難に誘われたからなのですが、私自身、経済に興味があるというわけではなかったので少し迷いました。しかし縄田先輩と末武先輩がつくりだしてきた宇部高校の新しい伝統を絶やすわけにはいかないと思い、出場を決心しました。もともと興味のない分野なので 勉強も思うようにうまくいかず、地方大会では足をひっぱりましたが、全国大会では先輩が受験勉強を犠牲にしてまで来ているの

たが、予選落ちだけは免れないという思いで参加しました。 しかし全国大会のレベルはやはり高く、筆記試験のときからあまり自信がなく、不安でいっぱいでした。午前中の早押し問題な どで得点がなかったのもあり、ますます予選落ちを覚悟しました。 だから予選通過が発表されたときは本当に嬉しかったです。同時 に、次のステージではどのような問題がでるのかや、得点できなかったらどうしようなどの不安が再びこみあげてきました。私が 緊張や不安で弱気になっているときは、経験豊富な先輩がいつも 元気づけてくれました。とても心強かったです。 終わってみて、思うように解答できたかというと、やはりでき

なかったです。しかし、先輩も到達したことのない5位という結果に終わってとても嬉しく思います。1人じゃ決して到達できない結果でいまでも夢じゃないかと考えるときがあります。

い給果でいまでも夢しゃないかど考えるとさかあります。 ここまでこれたのも先輩のおかげなので、せっかくの宇部高校 の伝統を、次は私が継承していく番だと感じます。エコノミクス 甲子園の知名度をどんどん上げて、後輩たちにも出場してほしく 思います。来年度の大会には出られませんが、10周年節目の年な のでなり、された人でも、アルトのと、第1、7で1 のでどのような大会になるのか今から楽しみです。

徳島大会代表 徳島市立高等学校 一年

私は、友人(県外)の紹介でこのエコノミクス甲子園の存在を知りました。何にでも参加したい性格なので、経済についての知識 はほとんどなかったけれど軽い気持ちで県大会に出場しました。 まさか優勝できるとは思っていなかったので優勝が決まった ときは嬉しかったですが、同時に県代表としてのプレッシャーも

感じました。 1日目の筆記試験では自分の勉強不足と全国レベルの壁の高 さを感じました。ロイヤルHDの菊地社長のお話しでは、普段聴く 機会のほとんどない企業の経営戦略についてのお話しを伺うこ とができ、とても貴重な経験になりました。プレゼンの製作では 東京、島根、愛媛の高校生と交流を深めることができ、また素晴ら しいアイデアに感心させられました。

しいアイデアに懸心させられました。 二日目の早押しクイズや「風説の流布クイズ」は思っていたより順調に進みました。しかし、境上で一回戦敗退を告げられた時はとても悔しかったです。しかし、僕が一番悔しかったことは敗 者復活戦で答えられた問題を答えられなかったことです。大会の 少し前にテレビで見ていた上に、正解していたら二回戦に進めていたかも知れない問題だったのでとても悔しかったです。このように勉強不足を感じることが多かったのでもっと、しっかり勉強

して、できれば来年も出場したいです。 このエコノミクス甲子園は僕にとって大きな経験になりまし た。ありがとうございました。

徳島大会代表 徳島市立高等学校 一年 細川 善規

私は、相方に誘われて地方大会に参加しました。正直、そこまて 乗り気ではありませんでした。だから、優勝が決まったときは、もちろん嬉しかったですが、それより"まさか""やってしまった"と 思いました。全国大会に代表として出ることにプレッシャーを 感じたからです。しかし、そんな気持ちは、ロイヤルHDの菊地社 長の講演を聴いたことで変わりました。各会社の役割分担やリス ク分散の方法を知ったとき感動しました。企業がここまで緻密な 計画を立てていることに驚きました。また、東京オリンピックへ の戦略について質問させて頂いたことは、良い経験になりました。 また、菊地社長の「オリンピック後に経済は成長する。」という話 は、興味深いものでした。今大会の中で一番記憶に残ったのは、や はりプレゼンクイズでした。一つの目標に向かって班員全員が積極的に話し合った事は、良い思い出です。まだ1年生なので、来年 も全国大会に出場したいとも思いますが、正直なところ、1回出場しただけでも十分満足できました。企画して下さった皆さん、 有難う御座居ました。

有難つ御座店ました。 P. S. 何個か、これからの大会に向けて意見があります。(言うのは簡単で…すみません。) 一つは、早めに負けてしまった人が少し飽きてしまうこと。何か参加できるイベントがあればなぁ…と思いました。二つ目は、プレゼンクイズの配点の差が大きかった。プレゼンの評価には好 みなども関わってしまうので、もう少し配点が小さくても良いか な、と思いました。

食け惜しみみたいで、すみません。楽しかったです。

香川大会代表 香川県立高松高等学校 二年 吉峰 広貴

私と相方久保は小学校からの付き合いで中学で別れたものの 高校で再会し同じヨット部に入部した。中学で別れたといっても 高校で再会し同じヨット部に人部した。中学で別れたといっても 塾などで日々を共に過ごし、出会ってから10年、他の誰にも負け ないほどの深い絆が出来上がっているだろう。そしてそれをさら に深いものにしてくれたのがそう、エコノミクス甲子園である。 高校1年生の時、私が誘うと父保も同じことを考えていたもと く意気投合。しかし、資料が届いたのはいいものの全く知識を知らないただの素人であった私はどれを読んだらよいのかわからず一番薄い[Jリート]の資料を読み始めた。そこには投資信託、株 式、証券会社、複合型…。何もわからず雰囲気で捉えたまま時が流れる。大会が近くなると焦りを感じ始め、他の勉強そっちのけで 経済の勉強へ。すべての資料を読み漁り、学校の教科書、資料集と 経済の勉強へ。すべての資料を読み漁り、学校の教料書、資料集と 読んだ。しかし、内容を深く理解しておらず、いざ本番になった時 には予選こそ1位だったが決勝ステージで敗退。その時チーム名 は流行にあやかって「半沢もどき」であったのだが本当に「もど き」のまま終わってしまった。 その悔しさを乗り越え高校2年。今回は長い時間をかけて取り

組み、時事的なことも日々蓄えていき、大会前日はお泊まり勉強会もした。そして地方大会。同学校のライバルと競りながらも無

会もした。そして地方大会。同学校のフィハルと競りなからも無事地区大会優勝。無事を国進出を果たした。 果たしたまではよかった。そこから全国に向けての勉強をし出したのは2月入ってからである。燃え尽き症候群とは言えないが地区大会優勝で満足してしまったのだ。焦りに振り、授業中も塾中もずっと経済の勉強をやり、途中アイドルのライブへ行ったり はしたがほぼ毎日経済と触れ合った。といってもたったの二週間 だけだが。そして当日。宿舎に収容された私と相方はそこを不気 ないたか。というは、日本の日本の大学といった。 はな雰囲気を覚えた。不安なまま14日は筆記クイズ、講演プレゼンを終え、私は「これは予選敗退や・・・」と思った。それもそのはず。周りはクイズ部ばかりであったからだ。中には高校生クイズ

瞬間喜びが溢れ、周りの通過者と抱き合った。落ちたと思っていた30秒前とは大違いだった。また、安心感と共に運営に怒りも 感じた。しかし、予選通過を果たすことができたのは本当に嬉し

った。 そして第3ラウンドへ。

これは基本的な知識をいかに正確に覚えているか、またいかに 落ち着いて答えることができるかを問われるものであった。どの ような問題が出るのか不安しかなかったが、いざやってみると直前に覚えたことや高1の時にやったことなど私に対してのプレゼント問題のようであった。3問間違えたが。相方の久保も終え、

手応えを掴んだまま準決勝進出者発表へ。 ……高松高校。私と久保は普段抱き合ったことがなかったが

「高松高校」と聞いた時ばかりはぎゅっと抱き合った。 これはNY行けるぞ、と思ったのも束の間、準決勝で2間連続間 違えてしまう。完全な知識不足であった。その後は少しずつでは あるがポイントを重ねることができたが決勝進出には手が届か なかった。

るが、しかし、全力を出し切っての結果であるため悔いは一切なく、 逆にここまでこれたことの驚きしかなかった。またいつも相方の 久保に頼りっきりだった私も今回はきちんと貢献することがで

|41 **\T**\T









全国4位これは今後の人生において誇れるものであり、また自分にとってのモチベーションにもなる。今まで頑張ってきた努力 は無駄ではかかった.

な17歳が感じることができたことが幸いである。こんな幸せ者 にしてくれた周りの人たちに感謝したい。

そして大人になって何かしらの恩返しをしたい。 ありがとうございました。

香川大会代表 香川県立高松高等学校 二年

帰るまでが遠足などとよく言ったものだが、今回も帰るまでが エコノミクス甲子園というように自宅への帰着報告にて幕を閉

は東京に来てからが始まりなのかもしれない。が、僕にとってエコ甲全国大会は地方大会が終わり教材を渡されたその時から始

まっていた気がする。 思えば、教材をもらった当日は意気込んで、「アドバンスド」3 冊+「インフレ時代の投資入門」の4冊を全て手に取った。 ただそれから一ヶ月半、いつの間にか4冊の本は僕の部屋の片隅でホコリを被っていたのだ。

このままでは自分だけじゃなく一緒に組んでいるペアに迷惑 がかかってしまう!そう思った僕はとりあえず真面目に勉強してみる事にした。それから日々だんだんと日経新聞をスラスラと 読めるようになったり、池上彰を介せずとも経済ニュースがすんなり入ってきたりという具合で自分の視野が広がって行ってい るのを実感できた気がする。そして何よりも良かったのは父と父の仕事について会話できるようになった事だ。父はM&Aの会社を経営している。今までは漠然とした知識しか無かった僕に対し て父もあまり多くは語らなかった。ただ会話できるようになった 今、父の会社の存在意義について考えさせられ、また、仕事の大変 さにも気付け、新しい父を発見、そして改めて尊敬する事ができ

・ 世の中を見る大切な目線として1つ経済というものを高校生 のうちに気付くきっかけをくれたこの大会は本当に財産だと思

これから大人になっても経済金融知力をもってして世の中で 戦っていかなければいけない。 そういう意味合いならば、最初に大会は帰着報告にて幕を閉じ

たと言ったが、一生大会は続くのかもしれない。

愛媛大会代表 松山西中等教育学校 二年 计 健太郎

1日目は移動が長く、かなり疲れました。2日目は筆記クイズか ら始まりました。教科書の勉強担当と時事担当で役割を分けていたので、一人ずつ個別に解く形式だと聞かされたとき少々焦って しまいました。その後ロイヤルホールディングス社長の菊地唯 大さんのお話を拝聴しました。第一線で活躍しておられる方のお話を拝聴出来たことは非常に良い体験であったと思います。「日 本で一番質の高い食をホスピタリティ企業を目指して」という目標を立て、それに基づいて一貫した経営をなさっていたのが印象的でした。その次はプレゼンの作成でした。同じチームのメン バーとは勿論面離も無く、最初は堅苦しい雰囲気でしたが、次第 に打ち解けていきました。プレゼンの作成はかなり難航しました がメンバーの意見が上手くまとまり、最終的に満足出来るものが 完成しました。プレゼンの発表は前夜祭で行われました。前半・後 半で違うメンバーがブレゼンを行い、僕は後半に参加しました。 メンバーみんなで協力し上手くやれたと思います。 3日目は早押しクイズから始まりました。二間中一間解答出来

ました。次の風説の流布クイズではほとんどのチームと20点程 の差が開き、ここが勝負の分かれ目であったと思います。その後 予選落ち、敗者復活戦でも敗北して、僕らの敗退が決定しました。 全体を通して思ったことは、周囲のレベルがかなり高いこと、それから出場選手がただの頭でっかちではなく他の面(トークカや 応用力等)でも優れていたことです。また、そのような友人が出来 たこともこのエコノミクス甲子園に出場してよかったことの一 つです。最後に、運営に携わった方々やお世話になった学校の先 生方に感謝の意を申し上げます。

愛媛大会代表 松山西中等教育学校 二年

私は中等教育学校4年生のときにこの「エコノミクス甲子園」 を知りました。もともと経済に興味があった私は4年生で地方大会に出場しましたが結果は決勝ラウンド4位という悔しい結果 になってしまいました。そこで、去年の雪辱を果たすために今年 も地方大会に出場し、他校のチームと接戦になりながらも優勝し、 全国大会出場を果たすことが出来ました。

全国大会出場を果たすことが出来ました。 大会1日目は途中から公欠扱いで学校を抜けて羽田空港へ。到 着して休む暇もなく地下鉄に乗り、全国大会の会場にたどりつき ました。すぐに大学生のボランティアの方から2日目の予定や注 意事項の連絡を受け、その後、エコノミカの競技に参加しました。 2日目は早朝から筆記テストがありました。実は私達はペアで1 つの問題を解くと予想していて、相方が時事問題を担当し、私が 経済の専門用語を担当していたのですが、まさかの、個人で解く 形式だったので私達のチームは相当悲惨な結果となってしまいました。その後すぐにプレゼンが始まり、私は全国大会の出場者の金融知力のレベルの高さを思い知らされました。なんとかして みんなの足を引っ張らないようにと必死で発言しましたがすべて空回りに終わり非常に悔しい思いをしながら、エコノミカ大会 と前夜祭を過ごし、長かった2日目が終了しました。3日目は、予選のプレゼンの順位発表があり、あまり良い結果ではなかったの で挽回しようと思ったのですが、あの風説の流布クイズで大きな 大流回りよりた。いたので、からの人はいかがいかが、かった人ではな 失敗をしてしまいました。敗者復活戦でも予想以上の難問が出て 答えることが出来ず、予選ラウンドでの敗退が決定しました。 今回、私たちのチームの結果は悔しいものとなりましたが、全

国大会で仲良くなった友達と連絡先を交換するなどして交流を 広めることができて、とても良い経験となりました。来年も是非 参加したいです。

高知大会代表 高知県立高知小津高等学校 二年

エコノミクス甲子園に参加したきっかけですが、担任の先生の 勧めでした。経済学に興味を持っており、大学もそれを目指していましたので、直ぐに参加を決めました。地方大会では、参加チー 人が少なかったこと、二人の息がぴったりであったことにより、 初参加でしたが、優勝することが出来ました。 全国大会ですが、1日目、会場に到着したときに、空気が違うの

を感じました。自分たちが来るのは場違いではなかったのかと

同室になった富山県の二人とLINEを交換して、親睦を深める ことが出来ました。 二日目、プレゼンクイズでは、いきなり顔も知らない高校生た

ー日も、ノレセングイスでは、いきなり朗も知らない高校生たちと議論を始めました。プレゼンは凄く苦手意識があり、やはりあまりしっかりと参加はできませんでしたが、自分の欠点を見つめ直せる良い機会となりました。今では良い思い出です。 三日目の全国大会では、相方が早押しでポイントをとってくれ

ましたが、ボードクイズで痛恨のミスを叩き出し予選敗退....非

常に残念でした。 大会では悔しい思いをしましたが、やはり思い出は全国の高校 大会では博しい感いをしまったが、やはり思い田は至園の高校 生とのふれあいでした。このようなことは学校行事ではあまり経 験できないことであって、意識を変えて「もっと頑張らなければ ならないな!」という気持ちになりました。二日目の夜にあった エコノミカ大会、学生スタッフ、鬼のような方々がたくさんおら れて、ボコボコにされました……。ちゃんと練習しておけば良かっ

最後になりますが、この大会に参加させて頂いて、貴重な体験 ができたことを本当に感謝しています。三日という短い期間の中で、少し成長した自分を見れたような気がしています。この場 をお借りして、大会主催者の方々、スタッフの方々、スポンサーの 方々、そして四国銀行の方々、本当にありがとうございました。

高知大会代表 高知県立高知小津高等学校 二年

今回エコノミクス甲子園に出て、私はたくさんのことを学ぶこ

とができました。 初日のオリエンテーションのプレゼン大会では、初対面の人と 何かを作ったり発表することがどれだけ難しいかや、意見がぶつ がり合う中でより「よいもの」を作り出していくことの大変さな ど、自分が今まで体験したことのなかったことを学べるよい機会 となりました。新しい見方を知ることで、今まで自分が見ていた 視野が一気に広がっていくことを実感できました。 2日目の全国大会当日、私たちのチームは残念ながら予選敗退

2日目の全国大会当日、私たちのチームは疾念なから予選取退 になってしまいましたが、負けから得るものはとても多く自分達 が如何に無知であるかや、如何に慢心していたかを知り、また来 年!という新しい目標を作ってくれました。自分たちもそこそこ 勉強はしていたつもりだったんですが、全国のレベルは高く次挑 お時のいい日標となりました。

む時のいい目標となりました。 それに、エコノミカも学校の人だけでやるよりも、違う県の人 とやる方が面白くて新しい戦術が学べました 笑 ちなみに、僕は詐欺カードを多用して相手をイラつかせ、相手 のアセットがたまってきたら共産党宣言で自分もろとも潰すと

いう汚い歌いをしてました。 最後になりますが、こういった機会を設けてくれた協会の方や 銀行員の方へのお礼とともに感想とさせていただきます。ありが とうございました!また来年!

福岡大会代表 福岡県立筑紫丘高等学校 二年

学年末考査の真っ最中で、テスト勉強も大会への勉強も中途半

端という悩ましい状況下でのスタートとなった。 大会のすべてのスケジュールがサプライズだったが、僕にとって最もうれしいサプライズは、ロイヤルホールディングスの菊地 社長の講演会だった。世界経済の現状や日本の動向について知り、 何より具体的な経営戦略の立て方を学ぶことができた。

もっとも、本業であるクイズでは良い成績を残せなかった。当 日問題を解いている最中も、充分に事前学習できなかった悔しさ をかみしめていた。リベンジしたいが、来年はもう出場できない。 その代わりに、この大会で得られた貴重な経験と(未回収のものも含めた)知識を、これからの生活に活かしていきたい。

最後に、素敵なプログラムを組んで下さった大会関係者の皆さん、ありがとうございました。今後も多くの後輩たちがこの大会に挑み、かけがえのない経験をしてくれることを願います。

福岡大会代表 福岡県立筑紫丘高等学校 二年 岡本 健太郎

今回はこのような大会に参加させてくださりありがとうございます。正直、大会前は参加するのにあまり乗り気ではありませ んでした。実際この全国大会は、相方が非常に頑張ってくれたお かげで出場できたので、私では足手まといになるのでは、と思っ ていたからです。しかし、大会が終了して振り返ってみると、とて も良い収穫が出来たと思っています。 さて、この大会を通して私は2つのことを学ばさせていただき

さく、この大変を通しく私はどうのことを学はさせていたださました。1つ目は仲間の大切さです。プレゼンテーションクイズの際、最初は会議は滞ってしまい、締め切りに間に合うのかと不安になっていました。しかし、そのうちの一人が発言したことにより、進まなくなっていた会議は一気に加速していき、なんとか締め切りギリギリにまとめ上げることができました。結果はあま り良くなかったものの、とても有意義な時間を過ごせたと改めて

2つ目は金融知力の大切さです。この大会前にくださったテキ

ストをザーッと見てみましたが、これから一人暮らしをしていく 私たちにとって大事になってくる金融機関の仕組みや経済の仕 組みが詳しく書かれていました。金融や経済という分野は今の私 たちにあまり馴染みないものではありますが、未来の私たちには 必要不可欠なものであります。この大会前に覚えきれなかったこ とは、受験後にまたテキストを読み返して、さらに暗記していき

っ。 最後に、来年からの後輩が私たちの記録を塗り替えっていって

長崎大会代表 精道三川台高等学校 一年

地方大会をなんとか1ポイント差で勝ち抜き、全国大会出場。 全国大会は先が予想できず楽しめました。 1つ目は運営さんがしかけるドッキリです。例えば、大会1日 目ではバレンタインデーなのでチョコのプレゼントがあります と言われたのに、筆記の問題が出てきました。運営のスタッフさ と言われたいに、単記の问題がは、さました。連宮のスタップさん方気がきくなと思いましたが、世の中そんなに甘くないですね。 2日目では予選を突破したとして増上に呼ばれたチームが実は 予選を突破できなかったチームでした。これにはかなり驚かされましたが、ぬか喜びさせて可哀想だったので、良くないと思いま

また、クイズだけでなく、いろいろな種類のアクティビティが あって、面白いなと思いました。プレゼンは他県の高校生と交流 できる貴重な機会でした。自分たちはまともな意見を出せません でしたが、他県の方にリードしてもらい、プレゼンテーションは 上位に入ることができました。散々だった筆記試験をカバーし 予選を突破できたのはこのおかげです。エコノミカは、最初、教育 用のカードゲームなんだからおもしろくないだろうと思ってい ましたが、全国大会でいざやってみると、かなり楽しめてはまっ

最後に、貴重な経験をする機会を与えてくださってありがと 取ばに、真重なは狭くする職者を与うによった。 うございました。経済に関して深く勉強し、全国の高校生から刺激を受けることができました。今年得た教訓を活かして、来年、 ニューヨークへの切符を目指して頑張りたいと思います。

長崎大会代表 精道三川台高等学校 一年

今回のエコノミクス甲子園は、今までにない体験をたくさん することができました。特に、他県の人との交流を深められたことがとてもいい思い出になりました。そしてその交流を強く感じ たのは相部屋の人とプレゼンテーションで同じ班になった人たちです。相部屋の人たちとは、すぐに話せるようになり大会や自分たちの学校について就寝時間ギリギリまで盛り上がっていま した。プレゼンテーションにおいても一緒にご飯を食べたりする 中で仲良くなり、プレゼンの作成に取り掛かることができまし た。そこで、みんなのレベルの高さに驚きまだまだ動強不足だと 実感しました。そのせいでなかなか発言できなかったのが残念です。でも、時間ギリギリまで作り続けた時間は、とても有意義でし す。でも、時间キリキリまで作り続けた時间は、とくも月息報でした。僕たちが20位以内に入ったのもプレゼンでいい成績を残せたからだと思います。自分達としても、学校としても初めての大会だったのでこのような順位にしてくれた近のみんなのおかげです。もう一つ今回の大会で思うことがあって、こんな思い出、経験をさせてくれた相棒の栗野に感謝したいと思います。栗野自 身も言っていたけどなんとなく自分を選んでくれたことに感謝 しています。理系に進むつもりで経済なんで勉強するとは思って いなかった自分に知識、経験、全国の友達をくれました。まだまだ 知識はないけど来年に向けてもっと勉強して切磋琢磨し合える くらいになりたいと思います。そして、全国を目指します!

最後にスタッフの皆さん、一緒に戦いあった皆さん、そして相棒の栗野、本当にありがとうごさいました。

宮崎大会代表 宮崎県立宮崎西高等学校 三年

エコノミクス甲子園を涌して経済を学び、金融知力を身につけ るうち、最も変わったのは、「お金」に対する感覚でした。お金は勤労の対価。でも、それだけではない。社会の血液として、信用を運 ぶ役割。人々の間を巡りその生活を成り立たせる役割。不条理に 思えていた銀行や株式の仕組みをお金の本質を学ぶにつれて、理 解できるようになることで、価値観が開けていきました。また、経済とは、人々の生活の姿そのものであると実感すると同時に、複 雑なシステムのそれぞれが、営みをよりよくする叡智の結晶であ

るとも感じました。 ラウンドの中で、特に印象に残っているのは、「プレゼンクイ ズ]です。私たちは、他のチームと協同して「地方の商工会議所の 会長」の立場から2040年に向けた戦略を求められ、特産工業の貧 は、 はと医療の協調や特産品の鮎のブランド化、対内施策として高齢者による託児所や習い事教室を開くことで高齢者・若年層のどちらにも住みよい町作りを提案しました。このラウンドでは、様々 なチームと交流を深めるともに、建設的な話し合いを行うことができ、殺気立って競うような大会の様子を予想していた私は、 驚くと同時に、単なるクイズ大会に留まらない、エコノミクス甲

子園を楽しむことができました。 また、学生スタッフの方々が、忙しなく大会を運営なさってい た姿も、とても印象的で、社会で生きる金融知力を伝え、私たちを 見守ってくださっていたすべての方々に、深い感謝の念がわきま

宮崎大会代表 宮崎県立宮崎西高等学校 三年

優勝のために知識以外で必要なことは、チームーワーク、コミュニケーション力、度胸、この3つだと私は思いました。チー ムワークとはペア2人での役割分担も指します。エコ2日間では、 筆記、早押し、プレゼン、論述など多様な能力が問われます。私た ちの場合、知識は2人で共有し、私は論述、相方は早押しとお互い

の得意分野の力を出せた点が良かったと思っています。また、プ レゼンでは初対面の8人で4~5時間かけて案を練らなければ なりません。いかに自分の意見を主張し、いかに相手のアイデア を引き出すかといったコミュニケーション力が大切だと思いました。最後に度胸については、ラウンドが上がるごとに必要となるものです。大勢の観衆を前に、どれだけ落ち着いて普段の実力 を出し切るか、という力も勝つためには必要だと思います。準備の段階で、教材を読み込みプラスαの知識も蓄えて自信をつけ、相方とアウトブットの練習を積んだことで度胸も身につけられ

たのかなと感じました。 エコ甲を通して、私は多くの仲間と、将来に生かせる金融知力 を得ました。2日間、時に協力し、時に敵として共に戦った友人は他では中々得られない仲間だと思います。また、これから大学生、 社会人になる過程で、契約をしたりお金について考える場面は多 社会人になる過程で、契約をしたりお金について考える場面は多くあります。そんな時、今回得た知力を生かして乗り切っていければと考えています。 エコ甲に関わってくださった全ての方々に本当に感謝してます。そして最後に…NY行ってきます!

鹿児島大会代表 鹿児島県立鶴丸高等学校 二年

私は友人に誘われて軽い気持ちで出場したので、相方のおかげ で全国大会への切符を手にしたときは驚きと不安でいっぱいで した。先輩がつくってくださった過去問と事前学習教材で勉強し ましたが、エコ甲が終わった今、自分の学習態度のいたらなさる 反省しています。なぜなら、経済は幅広く、奥深い。そして、全国の

高校生はすざい! 二日目、この日一番印象的だったのは、筆記試験(難)、大変興味 深い講演の後に行われたプレゼンです。藤島・高松・諏訪清陵と共 に「地方新聞社の社長」になったつもりで2040年に向けたプ ランを考えました。豊かな個性、発想力、恐ろしいほど切れる頭脳、 特技など全員何かすごいものを持っていて、全国大会のレベルの 高さを感じます。[新聞の配達技術×宅配]というブランを目玉に した超地域密着型新聞という方針で面白いプレゼンとなりまし た。それからエコノミカ大会、宿泊部屋でのご当地トークなど、たくさんの人と交流し、かけがえのない仲間をつくることができた 一日だったと思います。

ー日だったと思います。 三日目。まず出場チーム紹介を兼ねた早押しクイズでレベルの 高さに驚かされました。第二ラウンド「風説の流布クイズ」の後、 たいへん心臓に悪い予選突破者発表で予選三位通過だったこと を知り、いけるかもと思いましたが、第三ラウンド、悔しい結果に

終わり、自分の無知を痛感しました。 今回エコノミクス甲子園に参加してとても貴重な経験をする ことができました。金融知力普及協会、鹿児島銀行、学生スタッフ、 出場した皆様、本当にありがとうございました。大学生になった ら学生スタッフとしてエコ甲に関わっていけたらと思っていま

鹿児島大会代表 鹿児島県立鶴丸高等学校 二年

僕が第九回エコノミクス甲子園に出場しようと思ったのは、やはり先輩の影響としか言いようがありません。振り返ると、先輩 に勧誘されてなんとなく出場した昨年度の地方大会。学校の名に 恥じないようそれなりに取り組んだものの、あえなく敗退。一方 で、先輩は優勝し全国大会へ進出しました。そして全国大会でも て、元単は関係り生国人会で地口しました。そして主国人会でも 好成績を収めた先輩の姿を見て、僕には知識がまだまだ足りない のだと悟りました。そういうわけで、当初は今年度の地方大会に は出るつもりがありませんでした。しかし、先輩から何度も出る ように言われ、出場を決意しました。そして迎えた地方大会、時間 のない中詰め込んだ知識で驚いたことに優勝。まったく想定もし でいなか。 でいなかった全国大会出場が決定しました。 全国大会1日目、朝から難問の筆記試験、講演、午後にはプレゼ

ンテーション、エコノミカ大会と、先輩から聞いていたものの、予想以上に大忙しでとても疲れました。筆記試験では、もっと勉強 しておけばよかった、と自分の無知を実感。プレゼンテーションでは周りの人がどんどん話を進めてくれて、ほとんど何もするこ とができませんでした。やはり全国はレベルが違うな、と思わさ れた一日でした。 全国大会2日目、ネットの放送や会場で知り合いや親戚に見ら

れるなか、最後の戦いを迎えました。最初の早押しクイズでは、出題されるのではないかと舞台裏で相方が話していた問題が出た にもかかわらず、他チームが押すのがとても早くて答えること にもかかわらす、他ナームが押すのかとくも早くく含えること ができませんでした。また、続く風製の流布クイズでは、あまり他 チームと 差のない結果で終わりました。ここまでで大した活躍 ができていなかったため、次のラウンドで高校の名前が呼ばれな かったたき、そんなものか、と思い、発量に顔向けできないな、と 思いました。しかし、そのラウンドは敗者復活戦というまさかの 展開で、これには驚きとともに救われたような気持ちがしました。 続いての三択クイズでは手元の選択肢のABCがよく分からなく なって悔しい結果になりましたが、その先うまくやれた気もしなかったので、特に気にはなりませんでした。

今回の全国大会を通して、自分の無知を実感するとともに、同 世代にすごい人たちがいるという事実が実感できました。結果は思わしくなかったものの、貴重で楽しい体験をすることができた ことはとても良かったと思います。先輩が僕にこの世界を教えてくれたように、僕も後輩に金融知力を普及し、この世界を伝え ていきたいと思いました。

沖縄大会代表 昭和薬科大学附属高等学校 二年

当日まではまだかまだかと思っていましたが、あっという間の 3日間でした。スタッフの皆様、ありがとうございました」とで いです!水谷さん、色々ご迷惑をおかけしてすみませんでした。 お蔭様で楽しく参加できました、ありがとうございました。

ここからは少しばかり反省したいと思います。まず、大会では

知識不足を痛感しました。地方大会とは異なり、流石全国大会の ことだけありレベルが高かったです。日経を読んだりしてましたが、基礎的なことから難解な問題まで幅広くありもっとやってお くべきだったと試験中に落ち込んでしまいました。来年も受験に 全格があれば参加したいですが、論述力は必須です!様々

な場面で必要となります。勉強面以外では、ルームメートと仲良 くなるために地元土産を持参することをオススメします。 あと、スタッフの皆さんあまりいじめないでください。ディス

カッションのテーマ、さすがに25年後は将来設計難しすぎます。 来年のみんな、スタッフの意地の悪い問題に負けずに頑張ってく ださい!(笑)

沖縄大会代表 昭和薬科大学附属高等学校 二年

「ふるさとへ向かう最終に 乗れる人は急ぎなさいと…♪ 学校のセンター模試を早退して大急ぎで那覇空港へ向かい、航 空便への搭乗を終えて落ち着いたところに、機内オーディオから 中島みゆきさんの「ホームにて」が流れた。

同曲は駅のホームに於ける都会からふるさとへ帰る人々の郷 おや慕情が描かれている。 対して私はふるさとから都会へ向けて今し方発ち、優勝への希

望と敗退への不安を綯い交ぜに抱いていた。 このタイミングで「ホームにて」を聴いたことに私は違和感を

禁じ得なかったが、機内オーディオをクラシックチャンネルに切り替えて学校配布の政治経済に関する資料集やプリントを漫ろ 読みし始めると、二時間半ばのフライトはそれほど長く感じられ ず、羽田空港に着いた頃にはそのような違和感も既に立ち消えて

一息を入れる間もなく十八時十五分のリムジンバスに乗り、混 み合う盛りの首都高速を通り抜けて新宿に至ったのが十九時 三十分。タッグを組む大城や今回の道中に於いて御引率を頂いている沖縄銀行の宮城さんとともに同地にて夕餉を喫し、宿舎 こ二十一時前に到着した。学生スタッフから翌日の予定について 概ね説明を受け、その後風呂に入るなどして就寝の支度を整え、 二十三時半に消燈した。

二十三時半に消燈した。 私と相部屋に宿す次第となった長野代表の小野くんと由井く んはとても気さくで、一緒に愉しく過ごせそうに感じられた。 翌朝は六時過ぎに起床して七時過ぎに朝節を喫し、身支度を終 えると直ぐに筆記試験が執り行われた。この試験というのは個人 戦で問題形式も四択記号式や用語記入式、論述式、計算式等様々 で内容も難しく、四十分という時間制限もあり、満足に解答でき

洛胆の感に浸る自しなく続いくはロイヤルボールティングメ 社長の菊地性夫さんによる御講演があり、その会社経営等につ いて貴重な御話を拝聴することができて良い機会となった。 ランチ休憩の後は全国四十チーム、ハ十人の代表が四チームハ 人ずつの一グループ×十に割り振られ、地方の産業に携わるある 職業の方になりきって行うプレゼンテーションの準備をするこ とになった。私と大城は京都の森くん、藤森くん、新潟の本間くん、 思想と、生衆の大になり、この半した。 甲斐くん、静岡の溝口さん、長谷川さんとともにGグループとし て地方新聞社社長の立場で二〇四〇年への経営戦略を立てたが、 社が所有しているニューヨークや東京、大阪、福岡の支局や映画、 テレビ製作資本の活用を巡って対立があり議論は難航したが、進 備時間終了間際に何とか資料を完成させられ、安堵した。

・ 明から開かれた大会前夜祭のレセプションパーティーに於いてその頑張った成果を発表する次第となったが、残念なことに十 チーム中九位という決して望ましくない結果に終わり、とても残

土曜日最後の行事としてはエコノミカという経済用語に関す るカードゲームをして他都道府県の代表と交流をすることがで きた。私は全敗してしまったが、束の間の息抜きができて楽し

スプルース その晩は前日にも増して優勝への希望と敗退への不安がひどく感じられてあまり眠れなかった。 日曜日は宿舎内にあるイイノホールに於いてエコノミクス甲

子園全国大会が開かれた。第一次ラウンドとして早押しクイズ 「ロチームずつで二間を争うものであったが、私の順番で出題さ れたクイズは二問とも学校で使用する政治経済の教科書に記述

されている程度であったためにボタンの押し合いに負けてしま い、点を得られなかった。 第二次ラウンドは前日にプレゼンテーションを行ったチーム に分かれて解答が複数あるクイズを解いたが、これもあまり芳し

い結果を残せなかった。 以上の結果から勿論予選通過はかなわず、最後の頼りであった

数者復活もうまくいかなかった。 その後は心機を一転して気丈に準々決勝乃至決勝を応援しな がら拝見した。準々決勝のタイムショックを模したクイズ、準決 勝の経済分野別のクイズは解答を存じ上げていた問題が多く見

勝い経済が到かいソイスは併合を行していていた问題が多く見られただけに少々悔した感じられた。 長野代表の小野くん、由井くんの二人は健闘し、準決勝進出、八位という結果を接し、素晴らしかった。優勝したのは宮崎代表の お二人で、予選から成様子を伺う限り、早押しのキレ、重箱の隅ま でも網羅する知識、決勝に於いて披露された闊達としたお話しぶ り等どれを取っても秀でており、その結果も妥当であった。

閉会するや否や、私たちを含む遠方から来た各地の代表の生徒 は貸し切りバスに乗り込み、首都高速を羽田空港へ急いだ。車中 に於いては各地の代表がそれぞれ今大会の結果を悔やんでいたり、御同伴の地方行員さんがそれを慰めていたり、次大会への決 意を新たにする生徒の姿もあった。私や大城も宮城さんや、昨年 度の沖縄大会でご一緒し、現在は学生スタッフとして大会の運営 に携わられている濱元さんに励まされて、来年も出場したい気分

羽田空港に於いては機内に荷物を預け入れたり、家族や知人へ 渡す土産を買ったり、夕餉を喫す等して動作が多く、慌てる次第 となったが、無事に東京を発つことができた。

機内で茶を飲みながら平静を取り戻した頃に、オーディオから またあの曲が不意として流れ出した。 「ふるさとへ向かう最終に乗れる人は急ぎなさいと…♪ 大城はやはり疲れもあって熟睡していたが、私は思わず聴き

入ってしまった。今大会に於いて去来した愉しさや悔しさが綯 い交ぜに思い返されるとともに、良くも悪くも大会が終わったことを改めて実感し、その余韻に浸っていた。

「気を取り戻すと、私は既に那覇空港に降り立っていた。 ネオンライトでは燃やせないふるさと行きの乗車券を握りし

。 追伸、私は学校の授業やセンター試験「政治経済」の対策程度ま でしか勉強しませんでしたが、好成績を残されたい方はそれ以上 の内容、差し当たって申し上げると経済学の専門書や事前配布の 資料を読み込むべきであると思いました。ちなみに私は書店にで 六百円程度で手に入る就職試験対策用の時事問題の本を持参し ていたのですが、付け焼き刃でも大いに役立ったのでお薦めしま

また、今大会に参加するに当たって御厚配を賜った水谷さんを また、ラハスエー参加するに当たっていまた場づた小百さんとはじめとする運営陣の方々や、微笑みが素敵な宮城さんをはじめとする沖縄銀行の行員の方々に文面を以て謝辞を申し述べたい と思います。 ありがとうございました。

インターネット大会代表 京都府立洛北高等学校 二年 森 慎太郎

エコノミクス甲子園については中学生の頃から知っていまし たが、京都予選が開かれていないことも知っていて、京都予選さ えあればしっかり勉強して出るのになあと思っていました。昨年 は今年とは別の相方を誘うところまでして、ネット予選が別の用 事と被って出場できず。今年も出場を見送るつもりでしたが、参 がだけしてみようとネット予選にエントリーしました。いざ二人で知恵を絞ってどうにか解答した結果、幸運にも全国大会に進出することができ、ここで僕の中では既に目標が達成されていまし 。ですので、全国大会にはとにかく楽しもうと思って臨んでい

1日日. 筆記クイズとプレゼンクイズではともに良いところか なく(後から確認したところ筆記の個人点は悪くなかったようで したが)、2日目に非凡な成績を残さないと足切りを回避出来な いなと感じました。ちなみにエコノミカ大会は全勝でした。(ス ターターデッキで!)

・ ノーテライミ: / - 2日日, いよいよホールでのクイズです。早押しクイズは得意 な部類なのでなんとか2問とも正解せねばと意気込むものの結 局1問も正解できず。足切り回避は無理だなあと感じました。続 、ての風説の流布も平凡な結果に終わり、僕は敗退を確信してい

・ 結局僅たちはそこで助退になっていたわけですが、助者復活が 稲局僕たちはてこで奴略になっていたれりですが、3x11を174 あり、そこで幸運にも復活することができました。一度敗退した おかげでたくさんクイズができるようになったと考えるとこれ はこれで良かったなと思っていました。 続いての3択クイズでは、健闘したものの予選順位差で敗退と

なりました。クイズが楽しい形式だったので良かったです。 以降のラウンドはとてもハイレベルで、進めていても太刀打ち できる感じでは無いなと思いました。

エコノミクス甲子園の全国大会は本当に楽しかったです。来年 は後輩を送り込むので、ぜひ京都予選を開いて欲しいなと思いま

インターネット大会代表 京都府立洛北高等学校 二年 藤森 健人

僕がエコノミクス甲子園を知ったのは、森くんに誘われたとき でした。理系だったので経済を勉強したことはほとんどなく、送 付された教材を読んで、初歩から学びました

おそらく、この大会に誘われていなければ、僕は大人になるま で、金融・経済について何も知らないままだったと思いますし、実際、そんな状態に対して何も感じていませんでした。でも、この大 会に備えて一通り勉強して、高校生のうちから金融・経済を勉強 しておくことの重要性がよく分かりました。何か問題が起こって から、それがどういう仕組みなのか、どうすれば解決できるのか 勉強を初歩から始めているようでは遅い、という当たり前のこと

- ネット大会で優勝したことが分かったときは、素直に嬉しか。 です。そこから、新たに送付された教材を読んで、全国大会に備

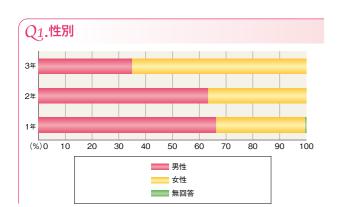
えました。 そして全国大会。大会中はかなりのハードスケジュールで、常に手・足・頭のどれかを酷使していたような気がします。それでも、他校の人と交流する時間は多く、ライバルでありながら、楽しく仲良く過ごすことができました。結果は、よかったとは言えませんが、貴重な体験ができたことを誇りに思います。この大会に出場して分かったことは、文理を問わず金融知力は必要だということです。僕が金融・経済について無知なまま将来を迎えるのを防いでくれた、エノミクス甲子園に関わるすべての人々に感謝したいと思います。

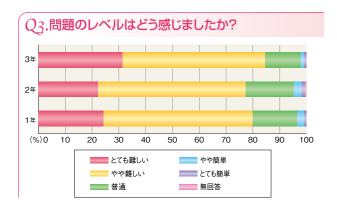
の人々に感謝したいと思います。

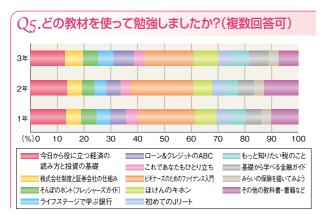


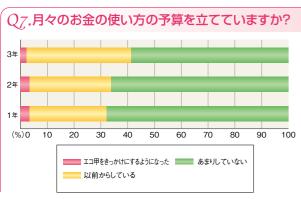
参加者アンケート Participant Questionnaire

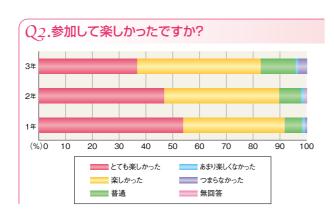


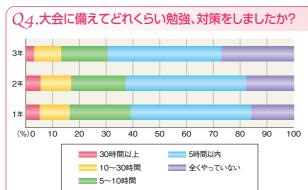


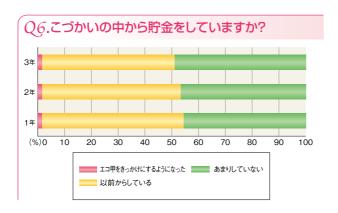


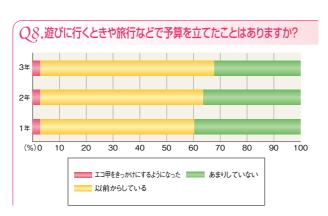




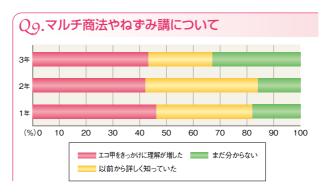


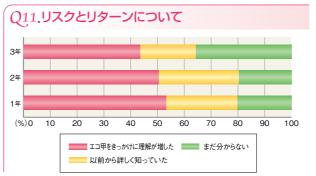


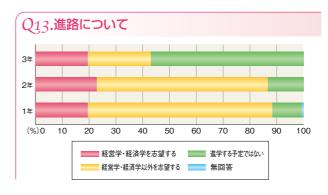


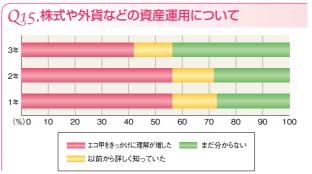


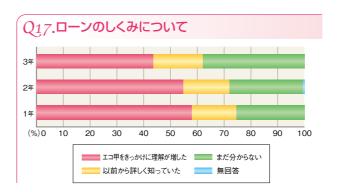
// 参加者アンケート Participant Questionnaire

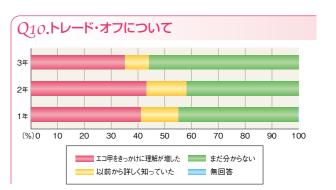


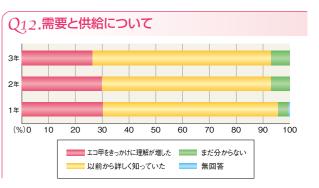


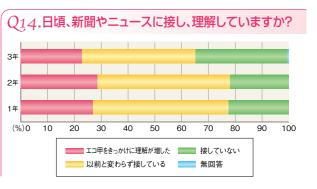


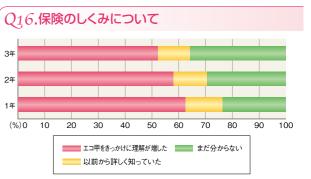


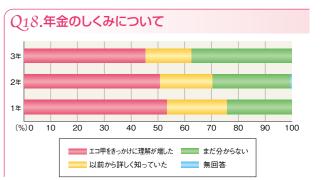








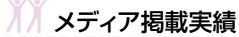




145 XX

事前学習教材







エコノミクス甲子園では各企業・団体様から寄贈していただいたテキストを、事前学習教材として 無料で参加生徒に送付しております。

事前学習教材の内容から何題かクイズが出題されるので、生徒たちも大会前にしっかりと勉強してくれています。

単純にテキストを配布するよりも高い学習効果を上げています。



今日から役に立つ、経済の読み方と投資の基礎 (作成:金融知力普及協会 寄贈・シティバンク銀行) シティバンク銀行ホームページ http://www.citibank.co.jp/



ビギナーズのためのファイナンス入門 (作成・寄贈・金融広報中央委員会)金融広報中央委員会ホームページ http://www.shiruporuto.jp



これであなたもひとり立ち (作成・寄贈:金融広報中央委員会)金融広報中央委員会ホームページ http://www.shiruporuto.jp



■ ライフステージで学ぶ銀行 (作成・寄贈:全国銀行協会)

(作成・寄贈:全国銀行協会) 全国銀行協会ホームページ http://www.zenginkyo.or.jp



■ ローン&クレジットのABC (作成・寄贈:全国銀行協会) 全国銀行協会ホームページ http://www.zenginkyo.or.jp



そんぽのホントフレッシャーズガイド

(作成・寄贈:日本損害保険協会) 日本損害保険協会ホームページ http://www.sonpo.or.jp



株式会社制度と証券市場のしくみ (作成・寄贈:日本証券業協会) 日本証券業協会ホームページ http://www.jsda.or.jp



ほけんのキホン

(作成・寄贈:生命保険文化センター) 生命保険文化センターホームページ http://www.jili.or.jp



█ 初めてのJリート

(作成・寄贈:不動産証券化協会) 不動産証券化協会ホームページ http://www.ares.or.jp



■ もっと知りたい税のこと

(作成・寄贈:財務省) 財務省ホームページ http://www.mof.go.jp



基礎から学べる金融ガイド (作成・寄贈:金融庁) 金融庁ホームページ http://www.fsa.go.jp



■ みらいの保険を描いてみよう!

(作成・寄贈:日本少額短期保険協会) 日本少額短期保険協会ホームページ http://www.shougakutanki.jp

大会名	取材(TV)	取材(新聞)	取材(その他)
北海道 渡島·檜山 地区予選		函館新聞	函館市企画部 国際・地域交流課
北海道十勝地区予選	帯広シティケーブル	十勝毎日新聞社 北海道新聞社	
北海道 上川・留萌・宗谷・ オホーツク地区予選		北海道新聞	北海道経済
北海道 釧路·根城 地区予選		釧路新聞 北海道新聞	
北海道 石狩·空知·後志· 胆振·日高地区予選		北海道新聞社 日本金融通信社	
北海道	北海道テレビ放送 (HTB)	北海道新聞 釧路新聞 十勝毎日新聞 ニッキン 日本経済新聞社	
青森		東奥日報	
秋田		秋田魁新報社	
山形		山形新聞	
福島		福島民報社福島民友新聞社	
茨城	イバキラTV	茨城新聞	
栃木	とちぎテレビ	下野新聞社	
群馬	群馬テレビ	上毛新聞社	
千葉	チバテレビ	千葉日報	
新潟		新潟日報	ニッキン
富山	北日本放送 富山テレビ チューリップテレビ	北日本新聞富山新聞	
石川		北國新聞社北陸中日新聞社	
福井	福井放送福井テレビ	福井新聞	
山梨	テレビ山梨	山梨日日新聞読売新聞	
長野		長野日報	

大会名	取材 (TV)	取材(新聞)	取材(その他)
岐阜	N H K ぎふチャン (岐阜放送)	読売新聞 中日新聞 朝日新聞 岐阜新聞	
静岡		静岡新聞	ニッキン
三重	東海テレビ 三重テレビ ZTV(CATV)	中日新聞	
奈良		奈良新聞	
鳥取	日本海ケーブルTV	日本海新聞社	
島根		山陰中央新報 日本経済新聞 読売新聞	
岡山		山陽新聞	瀬戸内経済レポート
広島	テレビ新広島		広島エフエム放送
山口	KRY TYS YAB	山口新聞 毎日新聞 読売新聞	
徳島		徳島新聞	
香川		四国新聞社	香川経済レポート社
愛媛	愛媛 C A T V テレビ愛媛		
高知	高知ケーブルテレビ	高知新聞	
福岡		日本金融通信社	
宮崎	MRT 宮崎放送 NHK 宮崎CATV	宮崎日日新聞 読売新聞 夕刊デイリー	
鹿児島		ニッキン 南日本新聞 読売新聞	
沖縄	沖縄テレビ	沖縄タイムス	







Special Thanks (順不同)

内閣府の皆様 文部科学省の皆様 金融庁の皆様 財務省の皆様

マニュライフ生命保険株式会社の皆様 シティバンク銀行株式会社の皆様 シティグループ・ジャパン・ホールディングス株式会社の皆様

ピットクルー株式会社の皆様 ポールトゥウィン・ピットクルーホールディングス株式会社の皆様 パインブリッジ・インベストメンツ株式会社の皆様

ラッセル・インベストメント・グループの皆様

株式会社一休の皆様 I-Oウェルス・アドバイザーズ株式会社の皆様 ファイブスター投信投資顧問株式会社の皆様

オリックス株式会社の皆様 オリックス野球クラブ株式会社の皆様 ロイヤルホールディングス株式会社の皆様 日本ファイナンシャルアカデミー株式会社の皆様

日本証券業協会の皆様 金融広報中央員会の皆様

一般社団法人全国銀行協会の皆様 一般社団法人日本損害保険協会の皆様

公益財団法人生命保険文化センターの皆様 一般社団法人不動産証券化協会の皆様

一般社団法人日本少額短期保険協会の皆様 サンメッセ株式会社の皆様

フォスター・フォーラムの皆様 三井住友アセットマネジメント株式会社の皆様

代表取締役社長

杉浦 和也様

ファイブスター投信投資顧問株式会社

代表取締役社長

篠原 直人様

マニュライフ生命保険株式会社 取締役代表執行役社長兼 CEO ギャビン ロビンソン 様



ピットクルー株式会社 代表取締役会長 小西 直人様



金融広報中央委員会 事務局 主任企画役



アサヒビール株式会社

株式会社NTTドコモ

オリックス株式会社 株式会社経済法令研究会

代表執行役 森田 均様



ラッセル・インベストメント株式会社 代表取締役副会長 加藤 正純 様



明治大学 ディレクター(政策研究)研究員 政治経済学部 教授 亀井 善太郎 様 加藤 久和 様



執行役員

浅井 鈴美子様

ラッセル・インベストメント株式会社

インプリメンテーション ポートフォリオ マネージャー

鹿子木 亨紀 様

大杉 昭英 様



サンメッセ株式会社

マニュライフ生命保険株式会社 コーポレートデベロップメント シニアマネージャー 中山 浩志様



株式会社 一休 社長室長 大橋 広樹 様



理事長 金子 昌資



認定NPO法人金融知力普及協会





認定NPO法人金融知力普及協会



専務理事 神山 孝雄





田中 達郎様

オリックス野球クラブ株式会社

認定NPO法人金融知力普及協会

野中 ともよ

玉川 民平様

執行役員

シティグループ・ジャパン・ホールディングス株式会社 SMBC日興証券株式会社 公益社団法人日本証券アナリスト協会

日本証券業協会 三井不動産株式会社

各地方大会、全国大会でのボランティアの皆様

ボランティアスタッフ

木原 健太郎	御手洗 伸	廣瀬 哲	津山 隼	宮川 輝	澤田 昂大	船越 大雅	横山 友亮
岡辺 公志	遠藤 優	又吉 康雅	中原 大	山口 哲郎	仲川 英歩	松岡明宏	帶包彩加
亀岡 孝展	尾崎 眞史	井上 ちひろ	沼 大地	飯田 希	鉢木 英理菜	松田 直晃	谷 勇磨
小林 大城	北島 拓也	内田 葵	浜田 浩考	岩﨑 翔大	濱元 貴大	松原 尚生	中村 翔太郎
佐々木 翼	白石 宏輔	甲斐 寛之	宝蔵 蓮也	小川 夏	比嘉 将大	宮城 佳祐	又吉 康紀
西川 陽之	中村 賢史	篠原 美紗	松本 悠哉	金玄鎬	藤井 俊秀	山根 有輝也	渡邊 幸輝

ユークレイル・エイト

エコノミクス甲子園は、高校生の金融経済リテラシーを高めるという理念にご賛同いただいた、 各社様のご支援により成り立っています。

感謝の思いを込め、ここにご協賛をいただいた各社をご紹介いたします。

プラチナスポンサー

Manulife マニュライフ生命

ゴールドスポンサー







シルバースポンサー









